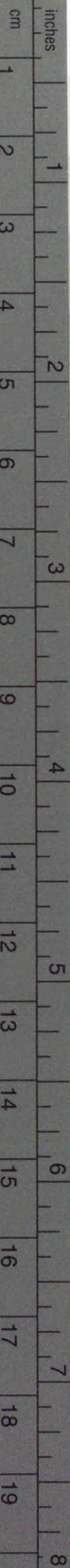


Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak

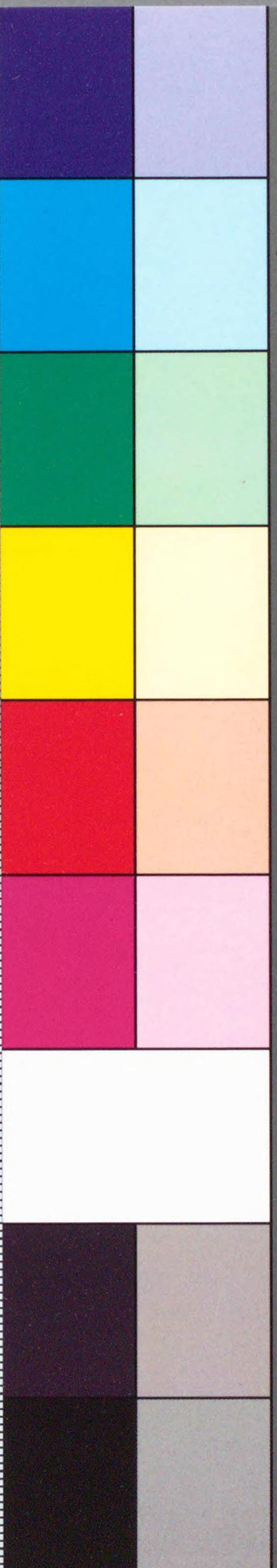
A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



Kodak Color Control Patches

© Kodak, 2007 TM: Kodak

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black



317.934  
D91d

00698816

年 一 月

(代 騰 寫)

獨逸國土地開拓官廳ニ關スル法律

農 林 省 農 務 局



328.934

b91d

(611.24)



698816

寄贈

村上電太郎

庚

# 獨逸國土地開拓官廳ニ關スル法律

## 目次

第一編 土地開拓官廳ノ組織及權限	一頁
第一章 土地開拓官廳ノ組織	一
第一節 開拓局	一
第二節 土地開拓局	三
第三節 州廳及州委員會	九
第四節 高等土地開拓局	一〇
第二章 土地開拓官廳ノ權限	一一
第二編 開拓局ノ訴訟手續	一八
第一章 總則	一八
第一節 開拓局出頭上ノ資格、當事者能力、訴訟能力	一八
第二節 共同利益ニ係ル事件ノ共同訴訟	二〇



第三節	訴訟代理人及保佐人	二二
第四節	送達	二七
第五節	召喚、期日及期間	三五
第二章	整理手續	四六
第一節	總則	四六
第二節	事件關係ト法律關係ノ確定	四九
第三節	證據調	六〇
第一款	證據調ニ關スル總則	六〇
第二款	實地檢證	六二
第三款	人證	六二
第四款	鑑定證	七一
第五款	書證	七四
第六款	宣誓履行ノ手續	七八
第七款	證據保全	七九
第四節	測量及地價ノ評價	八一

第五節	調停案ノ作成及提示	八五
第六節	假處分	八九
第七節	調停手續中ノ懈怠處分	九〇
第八節	調停ノ實施	九三
第九節	契約書ノ作成	一〇三
第十節	調停手續ノ終結後ニ於ケル共同事件ノ代表及管理	一〇九
第三編	仲裁々判官廳ニ對スル訴訟手續	一一四
第四編	強制執行	一二四
第五編	訴訟費用制度	一二六
第一章	費用ノ支辨義務	一二六
第二章	費用ノ算定及徵收	一二九
第三章	職員ノ給與、鑑定人及證人ニ對スル報酬	一三九

附 錄

普魯西ニ於ケル土地開拓官廳ニ關スル法律



第一章	官廳及其ノ權限	一四三
第二章	訴訟手續	一四九
第三章	費用	一五二
第四章	特殊ノ地域ニ對スル規定	一五三
第五章	附則及經過規定	一五四

獨逸國土地開拓官廳ニ關スル法律



# 獨逸國土地開拓官廳ニ關スル法律

一九一九年六月三日發布  
同 十月一日施行

## 第一編 土地開拓官廳ノ組織及權限

第一條 土地負擔及地役權ノ解除、共有地ノ分割及耕地整理ニ關スル法律ハ土地整理官廳トシテノ土地開拓官廳ニ依リテ運用サルルモノトス爾今特別委員會及總括委員會ハ開拓局及土地開拓局ト改稱ス當事者ノ申立ニ依リ土地開拓官廳ハ地代農地ノ創定ヲモ仲介スルコトヲ得

第二條 土地開拓官廳ハ農林（兼國有地管理）大臣ノ管下ニ屬シ州知事之ヲ監督ス

## 第一章 土地開拓官廳ノ組織

### 第一節 開拓局

第三條 開拓局ハ第一審ノ土地整理官廳トス

農林大臣ハ一定ノ地方管區ニ開拓局ヲ設立シテ其ノ所在地ヲ指定シ局長ヲ任命ス

第四條 開拓局長ハ以下ノ規定ニ依リ他ノ官廳ニ委託スルモノヲ除キ一切ノ事務ヲ掌理ス



局長ハ第二一五條ノ規定ニ依リ他人ノ立會ヲ以テ裁決スルトキノ外自己ノ全責任ヲ以テ獨立ニ事務ヲ裁決ス

局長ハ第二一五條ノ場合ノ訴訟ニ於テハ當事者ノ立會ヲ經テ第一審ノ裁決ヲ爲ス權限ヲ有ス  
開拓局長カ未タ農事鑑定人タル資格ヲ賦與セラレサルトキニ於テ訴訟起リタルトキハ農事鑑定人ノ立會ヲ以テ之カ鑑定ヲ爲サシムヘシ

第五條 土地開拓局總裁ハ簡單ナル事務又ハ其ノ一部ノ裁決ヲ他ノ官吏又ハ市町村吏ニ其ノ長官又ハ市町村長ノ同意ヲ經テ委任スルコトヲ得右ノ官公吏ハ受任事務ノ裁決ニ付キ開拓局長ト同等ノ權限及責任アルモノトス

第六條 土地開拓局總裁ハ國家、社團並ニ公共營造物カ地味ノ改良又ハ造林ノ爲沼地其ノ他ノ不毛地ヲ取得スル目的ヲ以テ提起セル訴訟ノ審理ヲ該土地ノ管轄開拓局長又ハ其ノ他ノ開拓局長ニ委任スルコトヲ得此ノ場合前記開拓局長カ受託事項ノ解決上爲ス審理ハ調停訴訟ノ審理ニ關スル規定ノ方式ニ則リテ行ハルモノトス

第六條(a) 土地開拓局總裁ハ新植民地ノ設定又ハ現在ノ過小農場ノ擴張及改良(獨逸國植民法第一條第一項)ヲ目的トスル土地開拓局管内ノ土地ノ取得ヲ目的トスル訴訟ノ審理ヲ他ノ開拓局長又ハ土地開拓局官吏ニ委託スルコトヲ得當該土地ノ解放ハ受託官吏之ヲ表示スルコトヲ得

受託官吏ノ公證セル契約及審理ハ裁判所ニ關スル規定ノ手續ニ依リテ行ハレ且受託事件カ植民地事件タルコトヲ明示セル場合ニ於テハ其ノ契約及審理ハ公正證書及裁判所ノ審理ト同様ノ效力アルモノトス

第七條 土地開拓局總裁ハ開拓局長及開拓局ニ屬スル官吏ノ主務長官タルモノトス  
開拓局長ハ開拓局ニ屬スル凡テノ官吏ノ主務長官タルモノトス但シ開拓局ニ屬スル高等文官及ヒ測量官吏ニ對シテハ懲戒權ナキモノトス  
測量及耕作上ノ監督ヲ測量官吏ニ委任セルトキハ測量官吏ハ此ノ事務ニ從事スル開拓局官吏ノ主務長官タルモノトス但シ其ノ懲戒權ナキモノトス

第八條 開拓局長ハ第二一三條乃至第二一五及第三九三條第一項ニ規定セル裁決ヲ爲ス場合ニ於テハ獨立權ノ行使ヲ妨ケラレサル範圍内ニ於テ上級審議官應ノ指令及委託ニ應スルモノトス

## 第二節 土地開拓局

第九條 土地開拓局ハ左記ノ箇所ニ設立ス

- 一 東普魯西州全圓及之レニ隣接スル西普魯西州ノ一部ニ對シテハ「ケートニヒスブルヒ」ニ
- 二 「ブランデンブルク」州、「ボンメルン」州及伯林全圓爾余ノ「ノイシュタット」地方(西プロイセン)獨逸内地部、「シユロトカウ」フラトウ「ドイツチユクロトネ」シユナイデミユトル「コル



- メル」ツアルニカウ」フイレーネ」シユエーリン」メゼリツツ」ボムスト」フラウシユタツト」  
 (國境地方)ノ各郡ノ一部又ハ全圓ニ對シテハ「フランクフルト」(オーデル河畔)ニ  
 三 上「シユレージエン」州及下「シユレージエン」州全圓ニ對シテハ「ブレスラウ」ニ  
 四 「ザクゼン」州全圓及獨領「シユマルカルデン」郡ニ對シテハ「メルゼブルヒ」ニ  
 五 「ハンノーヴァー」州全圓ニ對シテハ「ハンノーヴァー」ニ  
 六 「シユレスウイッヒホルシユタイン」州全圓ニ對シテハ「シユレスウイーク」ニ  
 七 「ウエストフアーレン」州全圓ニ對シテハ「ミュンステル」ニ  
 八 獨領「シユマルカルデン」郡ヲ除ク外ノ「ヘッセンナツソウ」州ニ對シテハ「カッセル」ニ  
 九 「ライン」州全圓及「ホーエンツォレルン」地方ニ對シテハ「デュセルドルフ」ニ

第十條 土地開拓局ノ事務ハ左記各號ヲ除クノ外自己ノ全責任ヲ以テ總裁之ヲ裁決ス

一 第十三條ニ規定セル合議制取扱事務

二 仲裁々判所ニ依リテ解決スル若干ノ事務

第十一條 土地開拓局總裁ニハ顧問及補佐官ノ外參事官ヲ附屬セシメ總裁ノ委任ニ基キテ事務ヲ裁決シ總裁ヲ代理ス特殊ノ場合ニ限り農林大臣ハ別ニ代理ヲ指定スルコトヲ得  
 土地開拓局總裁ハ内閣之ヲ任命シ參事官、顧問及補佐官ハ農林大臣之ヲ任命ス

第十二條 左記各項ハ土地開拓局總裁ノ職務權限ニ歸屬ス

第一イ 一八五四年二月十三日發布ノ職務行爲及服務行爲ノ訴追ニ對スル爭議ニ關スル法律(法令全書八六〇頁)ニ依リ總括委員會ニ委任スル事務

第一ロ 一八七九年八月一日發布ノ裁判所ト行政官廳ノ權限爭議ニ關スル規則(法令全書五七三頁)ニ依リ總括委員會ニ委任スル事務

第一ハ 一九〇四年八月十日發布ノ東「プロイセン」、西「プロイセン」、「ブランデンブルグ」、「ボムメルン」、「ボーゼン」、「ザクセン」、「ウエストフアーレン」各州ニ於ケル新植民地設定ニ關スル法律(法令全書二二七頁)ニ依リ總括委員會ニ委任スル事務

第二 左記各號ノ單獨裁決事項

- 一 地代農地カ開拓局長ノ仲介ニ依リ設定セラルル場合ノ手續ノ開始竝ニ停止ノ認可(法令全書二七九頁、一八九一年七月七日發布布地代農地設定獎勵法第一二條)事件ノ簡單ナル場合ハ土地開拓局總裁ハ開拓局長ニ委任シテ獨立ニ手續ノ開始竝ニ停止ヲ行ハシムルコトヲ得
- 二 地代銀行ヲ經テ地代農地ノ地代ヲ免除スルノ認可及必要ナル住宅竝ニ農地用建物ノ完成ヲ見タル上地代農地ノ設定ニ必要ナル資金貸付ノ認可(法令全書二七九頁、一八九一年七月七日發布布地代農地設定獎勵法第一條以下)



- 三 一八九一年七月七日發布ノ地代農地ノ自作廢止、地代農地ノ分割及其ノ一部讓渡ニ關スル認可並ニ同法第六條第四號ニ依ル元金銷却ニ關スル認可
- 四 一八九六年六月八日發布ノ地代農地及植民農地ノ一子相續ニ關スル法律(法令全書一二四頁)第七條及第八條ニ依ル自作廢止、一子相續地ノ分割及其一部ノ讓渡ニ關スル認可
- 五 一子相續ニ係ル相續地ヲ分割スル場合相續協定地代ヲ地代銀行ニ引受ケシムルノ認可(法令全書一二四頁、一八九六年六月八日發布ノ地代農地及移民農地ノ一子相續法ニ關スル法律第二二條以下)
- 六 契約カ公ノ官廳ノ仲介ヲ經ルト否トニ拘ラス共有地ノ分割、耕地整理及町村使用地ニ關スル契約ノ認可及開拓局長ノ仲介ヲ經タル地代農地設定契約ノ認可(法令全書二七九頁、一八九一年七月七日發布ノ地代農地設定獎勵法第一二條)土地開拓局總裁ハ州廳及州委員會カ國有地等ノ管理地ニ關シ締結スル契約ノ認可權ニハ變更ヲ與フルヲ得ス
- 七 土地改良地代ノ優先權付與ニ關スル認可、定嗣相續地若ハ世襲地ノ相續人及男系親ノ承諾ヲ經サル地代ノ登記ニ關スル認可、一八七九年五月十三日發布ノ土地改良銀行設立ニ關スル法律第一六條第一項(法令全書三六七頁)ニ掲クル鑑定人ノ指定ニ關スル認可
- 八 一八七五年六月二十四日發布ノ土地整理事件ニ關スル法律第二條第二號、第三號及第三條(法

令全書三九五頁)及一八九一年七月七日發布ノ地代農地設定獎勵法第一二條第四項第三號(法令全書二七九頁)ニ依ル土地整理費用ノ平等負擔額ノ決定ニ關スル認可

九 六百「マルク」以上ノ價額ニ關スル無害證明書ノ發行認可

一〇 耕地整理、共有地分割、解除又ハ收用ニ關スル訴訟費用カ六百「マルク」以上ナルトキハ其ノ割當ニ對スル認可又ハ無害證明ヲ發行スルトキ確定セル賠償額ニ關スル認可

一一 一八八七年四月二日發布ノ土地整理手續ニ依ル共有地事件ニ關スル法律第四條及第五條(法令全書一〇五頁)ノ場合ニ於テ六百「マルク」以上ノ賠償額ノ割當、物的處分、費用ノ割當ニ關スル認可

前記第九號乃至第十一號ノ認可ニ關スル開拓局長ノ裁決ハ目的物ノ價額カ六百「マルク」以下タル證明書ヲ付スルトキ土地開拓局總裁ノ認可ヲ得サル故ヲ以テ無効トスルヲ得ス

第十三條 一八五二年七月三十一日發布裁判官ニ非サル官吏ノ職務犯罪、轉任及退職ニ關スル法律ニ規定セル總括委員會ニ對スル委任事務ノ懲戒處分ニ就キテハ土地開拓局ニテ開催スル聯合裁判ニ於テ裁決スルモノトス右ノ裁判ニハ相當ノ構成員ト相當ノ官職ニアル構成員ト列席スルモノトス表決權アル構成員ハ少クトモ三名以上タルコトヲ要ス

第十四條 仲裁々判所ハ判事資格アル裁判長又ハ其ノ代理及六名ノ被選構成員ヲ以テ構成ス裁判長及



其ノ代理ハ土地開拓局總裁ニ附屬セル顧問ノ内ヨリ内閣之ヲ任命ス裁判構成員及其ノ六名ノ代理人ハ所有地ノ面積ヲ參酌シテ六年間州議員ニ選舉セラルル資格アル州ノ公民ニシテ農業事務ノ經驗アル者ノ内ヨリ州參事會員及農業會議所理事カ其ノ各半數宛ヲ選定ス代理人ノ召集ト共ニ事務規定ヲ定ムルモノトス

裁判長又ハ其ノ代理及四名ノ裁判所構成員ノ列席スル仲裁々判所ハ決議能力アルモノトス裁決ハ過半數ヲ以テ之ヲ決シ可否同數ナルトキハ年長者之ヲ決ス

第十五條 選舉（第一四條第一項）ハ被選舉權ニ關スル條件ノ終止スルト同時ニ其ノ效力ヲ失フ之ニ該當スル場合ノ發生セルヤ否ヤハ農業會議所理事若ハ州參事會員之ヲ裁決ス裁決ニ對スル抗訴ハ二週間以内ニ上級行政裁判所ニ提起スルモノトス農業會議所理事若ハ州參事會員モ訴訟ノ權利アルモノトス前記ノ訴訟ハ停止的效力ナキモノトス最終ノ裁判ニ到ラスシテ補缺選舉ヲ爲スヲ得ス

第十六條 裁判所構成員ハ二年毎ニ其ノ三分ノ一ヲ解任シ新タニ選舉ヲ行ヒテ補充ス此ノ場合事情ノ如何ニ拘ラス解任者ハ新選任者ノ就任スル迄ハ留任スルモノトス初メ二年後若ハ四年後ノ解任者ハ抽籤ニ依テ之ヲ定ム解任者ハ再選セラルルコトヲ得

裁判所構成員及ヒ代理人カ任期ニ達セスシテ辭任スルトキハ補充員ヲ選定ス但シ此補充員ハ前記ノ辭任者カ就任セシ期間ノ滿了スル迄就任スルモノトス

第十七條 裁判所ハ裁判所構成員及ヒ其ノ代理人ニ宣誓ヲ行ハシム宣誓ニ於テ衷心ヨリ一八五一年五月七日發布ノ裁判官服務違反罪ニ關スル法律（法令全書二一八頁）及ヒ一八五六年三月二十六日發布ノ法律（法令全書二〇一頁）ノ規定ニ服従スヘキモノトス

懲戒裁判所ハ高等土地開拓局ヲ以テ之ニ宛テ檢察代表者ヲ所長ニ任命ス

第十八條 仲裁々判所ノ構成員及ヒ其ノ代理人ニハ第四等官吏ニ對スル現行法律上ノ規定ニ依ル日當ト旅費ヲ支給ス

仲裁々判所ノ收入ハ國庫ニ繰入レ負擔上一切ノ支出費ニモ之ヲ充當スルモノトス

### 第三節 州廳及州委員會

第十九條 州廳及州委員會ハ顧問又ハ他ノ適當ナル者ヲシテ仲裁手續ニヨリ其ノ所轄財産管理ニ關スル調停ヲ行ハシムル權限ヲ有ス調停カ右ノ官廳ノ直接審理ニ依リ仲裁手續ヲ以テ行ハルル限り固有ノ契約認可權ハ右ノ官廳ニ歸屬ス調停カ土地開拓官廳ニ繫屬スル場合ニモ契約認可ノ權限ハ州廳及州委員會ニアルモノニシテ是等ノ官廳ハ土地開拓官廳ノ裁決ノ爲拘束セラルルコトナク獨立ニ直接審理ヲ爲スモノトス

州廳及州委員會ハ其ノ認可スル契約ヲ審查スルトキハ總テ土地開拓官廳ノ爲ス審查ト同様ノ手續ニ依ルヘキモノトシ前記ノ官廳カ法律上ノ手續ニ依テ締結セル契約ニ對スル認可ハ土地開拓官廳ノ認



可ト同様ノ效力ヲ有ス

第二十條 州廳カ官有地ノ地代解除ニ關シ交付スル一方的解除證書ニ關シテ八一一年三月十六日發布ノ訓令（法令全書一六一頁）ヲ適用ス之ニ該當セサル場合ニハ解除證書ハ契約ノ形式ヲ以テ發行シ且署名スヘシ

#### 第四節 高等土地開拓局

第二十一條 高等土地開拓裁判所ハ爾今高等土地開拓局ト改稱シ農林大臣ニ屬ス高等土地開拓局ハ其ノ所在地ヲ伯林トシ一名ノ總裁及全部農事鑑定人タル資格ヲ有スル五名以上ノ局員ヲ以テ編成スルモノトス

前項ノ職員ノ過半數ハ判事又ハ高等文官ノ資格ヲ具ヘ一八五一年五月七日發布ノ裁判官服務違反及強制的轉任竝ニ退職ニ關スル法律（法令全書二一八頁）ト一八五六年三月二十六日發布ノ裁判官ノ服務違反ニ關スル法律改正ニ對スル法律（法令全書二一〇頁）ヲ遵守スヘキモノス  
局長及構成員ハ內閣之ヲ任命ス

農林大臣ハ臨時ニ必要アリト認メタル場合ニ於テ局員トナルニ必要ナル資格アル者ノ内ヨリ補佐官ヲ増員スルコトヲ得

補佐官ハ其ノ指定期間中常任構成員ト同等ノ權利義務ヲ有ス但シ裁決ニ當リテ會議ノ多數表決ニハ

加算セラレサルモノトス補佐官ハ懲戒事件ヲ裁決スルトキハ之ニ加ハルコトヲ得ス

第二十二條 高等土地開拓局ハ總裁ヲ入レテ少クトモ裁判官五名ノ構成員ヲ以テ裁決ス各構成員ハ合議ニ當リ事件ノ何タルヲ問ハス表決權アルモノトス裁決ハ過半數ヲ以テ決シ可非同數ナルトキハ裁判長之ヲ決ス

第二十三條 高等土地開拓局ハ第三審ノ土地整理訴訟及第四二七條ノ場合ニ於ケル抗訟ノ裁判ヲ管轄ス又農林大臣ノ管轄ニ屬スル簡單ナル事件ノ抗告ノ裁決モ高等土地開拓局ニ委任セララルコトヲ得  
第二十四條 高等土地開拓局ハ開拓局及土地開拓局ノ裁判ニ屬スルモノト同種類同範圍ノ事件ヲ獨立ニ判決スル權限ヲ有ス此場合ニ於テ鑑定人ノ意見ハ單ニ既存ノ一般原則ニ準據シテ徵スルモノトス

第二十五條 高等土地開拓局ハ農業警察及國家財政ニ影響スル利權ノ保護ニ付キ開拓局及土地開拓局ト同等ノ權限及ヒ義務アルモノトス高等土地開拓局ハ社團及公共營造物ノ財産ニ關スル權利ヲ有シ國家ニ屬スル庇護權ヲ關係監督官廳ニ引渡シ如上ノ權利ヲ保護セントスル場合ニ限り之ヲ關係監督官廳ニ通知スル權利ヲ有ス

## 第二章 土地開拓官廳ノ權限



第二十六條 開拓局及土地開拓局ハ其ノ管轄區域内ニ係争中ノ土地アルトキハ第五條ノ規定ヲ侵スコトナク之カ事件ヲ裁決ス

地役權若ハ土地負擔ノ解除ニ關スル訴ハ承役地ノ状態ニ依テ裁決ス  
土地カ數箇ノ管轄區域内ニアルトキ又ハ何レノ管轄區域ニ屬スルカ明確ナラサルトキハ開拓局ノ管轄ニ付テハ土地開拓局總裁カ其ノ管轄開拓局ヲ指定シ土地開拓局ニ付テハ農林大臣カ管轄土地開拓局ヲ指定ス

前項ノ規定ニ依リ一局カ管轄ヲ有スト認メラレタルトキハ此規定ヲ爾餘ノ局カ管轄ヲ有スル同様ノ事件ノ訴訟手續ニモ準用ス

第二十七條 土地開拓官廳ハ土地開拓官廳ニ繫屬スル事件ヲ調停スル場合ニハ主要ナル調停事件ノミナラス既定ノ調停ニ依リ從來ノ状態ヲ繼續シ得サル如キ他ノ總テノ法律關係ヲモ處理スルモノトス  
此場合左記各號ノ事項ハ土地開拓局官廳ノ權限ニ屬ス

- 一 調停ヲ成立セシメ當事者ヲ和解セシムルニ要スル總テノ職權上ノ確定命令
- 二 争議ノ解決但シ手續ノ外ニ訴訟カ存在シ通常裁判所ニ繫屬スヘキ法律關係ニ關スル争議事項ハ之ヲ除ク

三 調停契約及地代農地契約ノ承認

#### 四 強制執行ノ命令

第二十八條 土地開拓官廳ハ單ニ當事者カ調停ノ申請ヲ爲シタル場合ニ調停ヲ行フノミナラス土地開拓局官廳ノ權限内ニ於テ締結セル總テノ契約ノ審理認可ヲ爲シ其ノ契約書ノ修正ニ必要ナル處理ヲ命シ其レカ爲ニ生スル争議ヲ解決スル權限ヲ有スルモノトス

第二十九條 土地開拓官廳ハ當事者相互竝ニ當事者ト第三者トノ間ノ問題ニシテ其ノ主要事件ト直接ノ關係ヲ有セサルモ土地分割計畫ノ修正、境界ノ改正、灌漑及排水設備ヲ容易ナラシムル等主要事件ノ調停ノ結果ニ重要ナル關係ヲ有スル事件ノ仲介ヲ爲スコトヲ得

主要ナル調停事件ノ直接關係者ニ對シテハ審理上直接關係ナキ事件ニ關シ應訴ヲ強フルコトヲ得ス  
本項ハ附帶行爲ノ直接參加者トシテ事件ニ關係スル第三者ニモ適用ス  
前項ノ附帶調停ヲ爲スヤ否ヤニ就キ訴訟當事者ニ意見ノ相違ヲ生セルトキハ當事者數ノ四分ノ一（表決權ニ依ル）ノ同意アルトキハ之ニ着手スルコトヲ得

土地開拓官廳ノ管轄ニ關スル前掲ノ規定、直接當事者間ノ訴訟手續、非當事者ノ立會ニ關スル手續及土地開拓官廳ノ管轄ニ屬スル主タル事件ノ調停ノ爲ニスル訴訟ノ裁決等ニ關スル全訴訟手續ハ前項ノ場合ノ審理ニ合併セララルル附帶調停行爲ニモ適用スルモノトス

第三十條 土地開拓官廳ハ當事者双方ニ對シ合法公正ニ事件ヲ調停スル義務ヲ有スルノミナラス本法



ニ依ル調停ニ關與セシメラレサル登記濟債權者、定嗣相續者竝ニ世襲相續者ノ利益ヲモ職權ヲ以テ保護ス可キモノトス職務上ノ關與ハ相互ノ權利カ杆格スル場合及一方ノ權利カ明確ニ縮少セラルル虞アル場合ニモ開始ス

第三十一條 事件ニ參加セシメラレシ第三者ト土地所有者ノ間ニ其ノ共通又ハ特殊ノ利益ニ關スル調停ニ付訴訟起リタルトキハ土地開拓官廳ハ爾餘ノ總テノ調停事件ト同様ニ裁判ヲ行フモノトス

前項ノ外更ニ土地開拓官廳ハ承役地又ハ受權地ノ供託所ニ賠償金及償却金供託ノ可否、供託金ノ利用及投資方法ヲモ決定スルモノトス

第三十二條 左記各號ハ土地開拓官廳ノ權限ニ屬ス

- 一 濟清金ノ合法的使用ノ爲ニハ其レヲ以テ如何ナル登記濟債權者ニ辨濟スヘキヤノ決定但シ土地カ完全所有權ノ下ニ所有セラルルカ定嗣相續地及世襲財產地等トシテ所有セラルルヤ又ハ所定ノ金額カ供託セラルルトヲ問ハサルモノトス
- 二 右ノ場合登録債權者ト第三者トノ訴訟若ハ其ノ相互ノ間ニ發生セル訴訟ノ裁決但シ紛争カ債權ノ設定順位若ハ優先順位ニ關スルトキハ之ヲ通常裁判所ニ委託ス通常裁判所ハ又登記濟債權者ニ供託賠償金ヲ分配スル權限アルモノトス

第三十三條 土地開拓官廳ハ農業警察竝ニ財政ニ關スル調停事件ニ關シ國利ヲ保護シ殊ニ國家其ノ他ノ公共營造物ニ歸屬ス可キ公租及地租又ハ市町村稅ノ精確ナル決定ニ努ムルモノトス但シ調停ヲ爲スニ必要ナル公課ノ分賦ヲ爲ストキハ政府ト協定シテ之ヲ定メ租稅分課ノ現行ノ原則ヲ基準トシ且政府ノ認可ヲ經テ效力ヲ生スルモノトス

第三十四條 調停ニ關係アル社團及公共營造物ノ財產ニ關スル上級監督權ハ土地開拓官廳ニ屬セス普通ノ監督官廳ハ國庫及ヒ所轄營造物ニ管理セラルル總テノ土地及領主權ニ關シテ國庫及其ノ所轄營造物ヲ代理シ直接管理人、財務官又ハ特定代理人ヲ監督指揮ス此場合監督官廳ハ個人及其ノ特定代理人ヨリ土地開拓官廳ニ提起セラルヘキ總テノ事件ニ對シテ責任アルモノトス

第三十五條 管轄權ヲ有スル普通ノ監督官廳ハ市町村ニ於ケル調停ノ際ニ市町村財產及私有物ニアラサル社團財產ヲ縮少セサル様監督スヘシ

土地開拓官廳ハ町村財產カ町村ノ調停ニ繫屬シ或ハ町村財產カ他ノ調停ニ關係ヲ有スル場合ニ其ノ財產カ個人ノ所有ニ屬スルヤ或ハ町村財產ニ屬スルヤニ關シテ疑義アルトキハ町村財產保護ノ爲之レニ關シ監督官廳ニ通告セサルヘカラス

第三十六條 普通監督官廳ハ調停事件ニ關シテハ教會、教區其ノ他宗教的建物及其ノ職員、公立學校及其ノ教師、高等教育機關、寄附行爲ニ依ル營造物又ハ慈善團體等ノ權利竝ニ此等ノ施設ヲ維持スル



爲ニ定メラレタル基金ノ保護及代表ヲ爲スモノトス

第三十七條 土地開拓官廳ノ權限ニ屬スル事件カ通常裁判所ニ繫屬セシメラレタルトキハ直チニ其ノ一件記録ハ之ヲ土地開拓官廳ニ交付スヘシ右ノ事件カ裁判所ニ於テ既ニ確定判決ヲ下サレタルトキハ裁判所ノ決定ニ依リ全部終了シタルモノトス

第三十八條 調停及處理上特ニ留保セラレタル問題ニ關スル追加條件カ認可セラレ關係者ニ賠償金カ交付セララルトキハ再ヒ一般行政官廳ノ權限ニ移ルモノトス

第三十九條 左記各號ノ事項カ調停ニ洩レタルトキハ事件カ調停ヲ行ヒタル時ト同一ノ状態ニアルモノト看做シテ調停ノ完結後一箇年以内ニ更ニ一回ノ追加審理ヲ爲ス但シ既ニ調停濟ノ事項ハ追加調停ヲ爲スニ絶對的ニ必要ナル場合ニ限り之ヲ變更スルコトヲ得

一 調停ニヨリ隣接セル者ヨリ承認セラレタル人道及ヒ畜道

二 灌溉及排水用溝

三 家畜水飲場トシテノ流水ノ利用

四 粘土、砂土、泥炭ノ採取地

五 垣 籬

六 施肥ニ對スル賠償

## 七 費 用

第四十條 第三三九條、第三四〇條、第三四七條、第三五〇條、第三五一條、第三六二條、第三七五條及第三八一條ニ規定セル事件、施行細則ニ規定サレ又ハ追加修正ノ爲ニ保留セラレタル事件モ土地開拓官廳ノ認可セル契約ニ依リ更ニ處理セラルヘキモノトス

第四十一條 當事者ニ關スル他ノ事件ニシテ調停契約及其ノ追加契約ニモ調停調書ニモ特ニ更正ノ保留ヲ爲ササルモノハ土地開拓官廳ニ依リ追加調停ヲ行ハサルモノトス

第四十二條 調停成立後其ノ調停ニ關與セシメラルヘカリシ關係者ヨリ請求アリタルトキハ其ノ裁決又ハ調停ノ爲ニ土地開拓官廳ハ前記ノ當事者カ調停開始當時ニ提議シタル場合ト同様ニ之レヲ處理スルモノトス

第四十三條 當事者ハ公ノ官廳ノ調停ニ依ルコトナク自由ニ協定ヲ爲スコトヲ得但シ斯ル示談ニ依リ成立セル契約書ハ開拓局長ニ提出シテ認可ヲ受クルコトヲ要ス

第四十四條 解除ヲ爲スニ當リ權利カ特定ノ土地ニ從屬セサルトキハ權利者ヨリ交付サルル一方的解除證書ニテ足り然ラサル場合ニハ解除證書ハ契約ノ形式ニ從ツテ作成スヘキモノトス

第四十五條 調停カ土地開拓官廳ノ仲介ニ依ラスシテ示談ニ依リ又ハ州廳若ハ州委員會ヲ介シテ行ハレタルトキハ契約ノ認可後一箇年以内ニ土地開拓官廳ニ繫屬セシムル場合ニ限り右ノ調停ニ依リ裁



決セラレサル點或ハ其ノ後ニ生シタル紛議ニ關シテ土地開拓官廳ハ追加調停ヲ行フモノトス但シ此ノ事件カ認可セラレタル契約中ニ留保セラルルカ又ハ第三九條乃至第四二條ニ規定セル除外例ニ屬スル場合ハ此限リニ在ラス

## 第二編 開拓局ノ訴訟手續

### 第一章 總 則

#### 第一節 開拓局出頭上ノ資格、當事者能力、訴訟能力

第四十六條 權利能力アル者ハ當事者タル能力ヲ有ス

權利能力ヲ有セサル團體モ開拓局ニ訴訟セラルルコトヲ得

訴訟手續ヲ爲ス場合ニ於テハ右ノ團體ハ權利能力アル團體タル地位ヲ有スルモノトス

第四十七條 當事者自ラ開拓局ニ訴訟ヲ爲ス資格、訴訟能力ナキ當事者他人ニ依ル代理(法定代理人)及ヒ訴訟ヲ爲スニ必要ナル特別ノ授權ハ以上ノ諸條ニ於テ特別ニ規定セルモノヲ除キ民法ノ規定ニ依リ之ヲ定ム

第四十八條 契約ニ依リ義務ヲ負ヒ得ル者ハ當事者トシテ開拓局ニ訴訟ヲ爲ス能力ヲ有スルモノトス

婦人カ當事者トシテ開拓局ニ訴訟ヲ爲ス能力ハ妻タル場合ニ於テモ何等ノ制限ナキモノトス

第四十九條 訴訟能力アルモノカ調停手續ニ於テ保佐人ヲシテ代理セシムルトキハ右ノ訴訟ニ對シテハ訴訟能力ナキモノニ同シ

第五十條 民法ノ規定ニ依リ特別ノ授權ヲ必要ト爲ス訴訟行爲ニシテ一般的ニ訴訟ヲ爲スノ授權アリタルトキ又ハ右ノ授權ナクトモ一般ニ訴訟ヲ爲シ得ルモノニアリテハ特別ノ授權ナキ場合ニ於テモ有效トス

第五十一條 外國人ニシテ其ノ國法ニ於テハ訴訟能力ヲ認メラレサル者ト雖モ調停場所ニ適用サルル法律ニ依リ其ノ能力ヲ付與サルルトキハ當事者トシテ開拓局ニ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第五十二條 開拓局長ハ當事者能力、當事者ノ開拓局ニ對スル訴訟能力、法定代理人ノ資格及訴訟ヲ爲スニ要スル授權ノ瑕疵ニ關シテハ職權ヲ以テ調査スヘシ

當事者若ハ其ノ法定代理人ニシテ瑕疵アル場合若シ訴訟遲滯ノ爲當事者ニ重大ナル損害ヲ來ス虞アルトキハ右ノ瑕疵ヲ除去スル條件ヲ以テ訴訟ヲ爲スコトヲ得終結裁決ハ瑕疵ヲ除去スル爲ニ定ムル期間ノ滿了後初メテ之ヲ言渡スコトヲ得

第五十三條 開拓局ニ對スル訴訟能力ナク且法定代理人ナキ當事者カ訴訟セラレタル場合ニ於テ遲滯ノ爲重大ナル損害ヲ來ス虞アルトキハ開拓局長ニ於テ法定代理人ノ定メララルルマテ當事者ニ特別代



理人ヲ指定スルモノトス

第五十四條 民法第九二八條ニ依リ前所有者カ其ノ權利ヲ拋棄シ未タ所有者ニヨリテ取得セラレサル土地ノ權利ニ關シテ土地開拓局ニ訴訟セラルルトキハ開拓局長ハ新所有者カ登記セラルルマテ訴訟上其ノ所有權ヨリ生スル權利ヲ保護シ及土地開拓局ニ對スル訴訟上ノ義務ヲ負フヘキ特別代理人ヲ選任スヘシ

第五十五條 市町村若ハ其ノ他ノ社團竝ニ公共營造物ノ財産ヲ代理スル官廳ノ職員カ自己ノ私有財産及ヒ個人的利益ニ關スル調停ニ參加シタルトキハ開拓局長ハ之ヲ前記官廳ノ監督機關タル國家官廳ニ通告スルコトヲ要ス右ノ國家官廳ハ代表者ノ個人的利益ト其ノ職務上ノ義務ト背戾スルコトナキヤヲ調査シ若シ背戾スルトキハ改メテ他ノ關係ナキ個人及官廳ヲシテ前記ノ社團及ヒ公共營造物ノ代表ヲ命セサルヘカラス

第五十六條 (削除)

第二節 共同利益ニ係ル事件——共同訴訟

第五十七條 總テノ開拓局ノ管轄事件及ヒ其ノ調停訴訟ニ於テ共同利益ノ分有者ハ其ノ問題カ第三者ニ對スル其ノ利益ノ擁護ニ關スル時ニ限り持分ノ面積ヲ考量シテ多數決ニ從フモノトス但シ此ノ場合ニ於テハ其ノ事件カ字句本來ノ意味ニ於ケル共同ノ權利(例ヘハ共有牧場役權)ニ關スルト又ハ

單ニ多數ノ當事者カ同時ニ同一狀態ニ於テ關係スルモノタルトニ依テ區別ヲ設ケス

第五十八條 或少數ノ者カ全般ノモノニ反對シテ訴訟ヲ提起スル場合ニ於テ爾餘ノ者ハ其ノ反對者カ共同耕作ヨリ脫退シ或ハ共同關係ニ惡影響ヲ及ボス場合ニ於テハ之ニ對シテ異議ヲ唱フルコトヲ得

第五十九條 共同利益關係者ノ一人カ調停ノ訴エヲ爲シタルトキハ其ノ調停ニ關係ナク共同關係ニ於テ殘サルル如キモノノミ共同利益トシテ第五七條ノ規定ニ依リ取扱フモノトス

第六十條 共同利益事件(第五九條)ニ關シ一般公告ヲ以テ當事者ノ出頭ヲ求メタル場合ハ出頭當事者ヲ以テスル多數票決ハ出席者ノ數ニ關係ナク缺席當事者ヲモ拘束ス右ノ公告ヲ爲ササルトキハ當事者三分ノ二以上ノ列席アルニアラサレハ其ノ票決ニハ效力ナキモノトス

第六十一條 第五七條乃至第六〇條ノ規定ハ第三四條、第三五條及第三六條ニ掲クル法人ニシテ其ノ土地カ直接又ハ間接ニ國家ノ管理ヲ受クルモノニ對シテモ之ヲ適用ス右ノ場合ニ於テ開拓局長ハ第三三條乃至第三六條ノ規定ヲ參照セサルヘカラス

第六十二條 數人カ訴訟事件ニ對シテ共通ノ權利ヲ有シ又ハ同一ナル事實上及法律上ノ理由ニ依リ權利ヲ有シ義務ヲ負フトキハ共同訴訟人トシテ訴訟シ又ハ訴訟セラルルコトヲ得

第六十三條 同種類ノ權利及義務又ハ事實上及法律上根本的ニ同種ノ原因ニ基ク權利及義務ニ關スル



訴訟事件ニ於テモ亦數人カ共同訴訟人トシテ連帶的ニ訴訟シ又ハ訴訟セラレルコトヲ得

第六十四條 共同訴訟人ハ民法ノ規定、獨逸民事訴訟法中ノ仲裁々判手續ニ關スル規定又ハ其ノ第五七條乃至第六〇條ニ特別ノ規定ナキ限りハ其ノ一人ノ行爲カ他ニ對シ利害ヲ及ホササル範圍ニ於テ各別ニ相手方ニ對立ス

第六十五條 共同訴訟人全體ニ對シテノミ裁決シ得ル如キ繫争事件又ハ他ノ理由ニ依リ共同訴訟ヲ必要トスル如キ繫争事件ニ於テ共同訴訟中ノ或者カ期日若ハ期間ヲ懈怠シタルトキハ其ノ懈怠セル共同訴訟人ハ懈怠セサル共同訴訟人ニ依テ代理セラレタルモノト看做ス

懈怠シタル共同訴訟人ト雖モ其ノ後ノ訴訟手續ニハ立會ハシム可キモノトス

### 第三節 訴訟代理人及保佐人

第六十六條 當事者ハ原則トシテ自ラ指定期日ニ出頭スルノ義務ヲ有ス

第六十七條 左記各號ニ掲クルモノハ開拓局長ノ命令ニ依リ代理人ヲ委任セサルヘカラス

- 一 社團ニ關スル利益又ハ社團ノ代表スル利益ニ關シテハ其ノ事件ニ關係アル社團ヨリ
  - 二 市町村及社團又ハ五名以上ノ成員ヲ有スル團體ノ各成員ノ共同利益ヲ保護スル場合
  - 三 當事者カ五名以上ニ上リ其ノ多數カ共通關係ヲ有スル其ノ他ノ事件
- 以上各號ニ該當セサル場合ニ於テモ當事者カ已ムヲ得サル故障アル事ヲ證明セルトキニ限り代理人

ヲ許可ス

第六十八條 調停ニ關スル土地カ強制管理ニ屬スルトキハ土地金融組合又ハ裁判所指定ノ管理人若ハ強制管理ノ權限アル官廳ノ指定シタル特別管財人ノ何レカヲ立會セシム此特別管財人ハ事件ニ關係スル債權者ノ要求如何ヲ問ハス其ノ權利ヲ防衛スルモノトス右ノ管財人カ怠慢其ノ他ノ理由ニ依リ其ノ義務ヲ履行スルヲ得サルトキハ開拓局長ハ之ヲ前記管財人ノ上級官廳ニ通告シ其ノ管財人ヲ問責セシメ又ハ他ノ特別管財人ヲ任命セシムル權限ヲ有ス

第六十九條 公ノ官廳カ其ノ職員又ハ他ノ官吏ニ其ノ權利ノ保護ヲ代理セシムル場合ヲ除キ其ノ他ノ事件ニアリテハ代理人ハ實際ニ農業ニ從事スルモノタルヲ要ス

土地整理訴訟ニ於テ全當事者ヨリ選任スヘキ共同代理人及其ノ代表者ノ内ニハ各一名以上ノ大、中小土地所有者ヲ加フルヲ要ス

第七十條 個人的當事者ニモ一名ヲ限り代理人ヲ許可ス五名以上ヨリ成ル多數當事者及社團ハ三名以内ノ共同訴訟人ヲ選任スルコトヲ得但シ此共同訴訟代理人ハ約款ニ定メラルル其ノ代理權ヲ一致シテ表示スルコトヲ要ス表示ナキ場合ニ於テモ約款ニ依テ其ノ代理權ノ範圍ヲ認ムル語句アルトキハ其ノ代理權ニ效力ヲ有セシム此ノ代理權ニ反スル決定ハ他ノ當事者及ヒ相手方ニ對シテ法律上ノ効力ナキモノトス總テノ共同訴訟代理人カ出頭セサル場合ニ於テモ出頭代理人ニヨリテ認メラレタル



審理ハ授權者ヲ拘束スルモノトス 出頭訴訟代理人カ共同裁決ニ参加セサルトキハ 缺席手續ヲ執ル

第七十一條 個人的當事者或ハ共同利益（第六七條（ロ）、（ハ）項）ヲ有スル多數ノ當事者ニシテ訴訟代理人ニ代理セララルトキ當事者カ事件ノ促進上自カラ出頭スルコトヲ適當ト爲ス場合ニ於テ之ヲ出頭セシムルヤ否ヤハ開拓局長ノ裁量ニ留保セラルルモノトス

第七十二條 訴訟代理人及共同訴訟代理人ノ陳述ハ當事者ニ對スル尋問ノ爲ニ效力ヲ失ハス當事者ハ自ラ出頭スルカ地方事情竝ニ事件ニ通スル代理人ヲ出タシ又ハ其ノ他ニ必要ナル手續ヲ爲ササルヘカラス右ノ手續ヲ爲ササルトキハ 缺席手續ヲ執ル

第七十三條 開拓局長ハ審理ノ進行ヲ妨ケス又ハ合法有效ニ事件ヲ進捗セシムル見込アルトキハ資料ノ蒐集又ハ陳述ノ準備ヲ爲サシムル爲代理人ニ對シテ猶豫期間ヲ許與スルコトヲ得

第七十四條 訴訟代理人ハ委任狀ニ依テ其ノ代理權ヲ證明スヘキモノニシテ委任狀ハ之ヲ一件書類ニ添付スヘシ

私署證書ハ開拓局長ノ求メニ依リ裁判所又ハ公證人ノ認證ヲ受ク可シ但シ認證ヲ爲ス場合ニハ證人ヲ立會ハシメ又ハ調書ヲ作成スルコトヲ要セス

第七十五條 調停訴訟ニ對スル代理人ハ訴訟ニ關スル總テノ行爲ヲ爲シ上級審ニ出ツル訴訟代理人ヲ

選任シ和解ノ締結、訴訟ノ拋棄、相手方ノ主張シタル請求ノ認諾及相手方ヨリ辨濟ス可キ費用ノ領收ヲ爲ス權能ヲ有ス

第七十六條 調停訴訟ニ對スル代理權ノ法律上ノ範圍ニ關スル制限カ和解ノ締結、訴訟ノ拋棄又ハ相手方ノ出張セル請求ノ認諾ニ關スルトキハ他ノ當事者及相手方ニ對シ法律上ノ効力アルモノトス代理權ハ各個ノ訴訟行爲ニ付キ之ヲ付與スルコトヲ得

第七十七條 訴訟代理人ノ爲シタル訴訟行爲ハ當事者ニ對シ本人自ラ之ヲ爲シタルト同一ノ効力ヲ有ス事實上ノ陳述ニ付テハ出頭シタル當事者ヨリ即座ニ取消シ又ハ更正セサルトキニ限り此規定ヲ適用ス

第七十八條 訴訟代理權ハ委任者ノ死亡又ハ其ノ訴訟能力若ハ其ノ法定代理權ニ變更アリタル場合ニ於テモ消滅セサルモノトス

第七十九條 代理契約ノ解除ハ代理消滅ノ通知ニ依リ初メテ爾餘ノ當事者及相手方ニ對シ法律上ノ効力ヲ生ス

代理人自ラ辭任スル場合ニ於テモ委任者カ他ノ方法ヲ以テ其ノ權利ノ保護ヲ爲スニ至ルマテ其ノ授權者ノ爲行爲ヲ爲スヲ妨ケス

第八十條 調停訴訟ノ代理人ノ代理權ハ必ス之ヲ調査シ其ノ差支ヘナキモノハ訴訟ノ参加ヲ許シ瑕疵



アルモノハ却下シテ之ヲ更正セシムヘシ

第八十一條 訴訟代理ニ瑕疵アルトキハ訴訟進行中ト雖モ之レヲ問責スルコトヲ得

開拓局長ハ職務上代理權ノ瑕疵ニ關シ常ニ留意スヘシ

第八十二條 當事者ニ代リ特別ノ委託ヲ受ケサル事務管理人又ハ代理權ヲ付與セラレサル訴訟代理人トシテ代理行爲ヲ行フモノアルトキハ費用及損害ノ爲ニ保證ヲ爲サシメ或ハ保證ヲ爲サシムルコトナク假リニ之ヲ訴訟ニ加フルコトヲ得終結判結ハ當事者ノ承諾書提出ノ爲ニ定ムル期間ノ經過後初メテ事ヲ爲スモノトス終決決定ヲ爲ストキニ至ルマテ其ノ承諾書ヲ提出サレサルトキハ假ニ訴訟ニ參加セシメラレタル者ハ其ノ參加ニ依テ他ノ當事者カ負ハシメラレタル餘分ノ費用ノ賠償ヲ爲シ其ノ參加ニ依リテ生シタル他ノ當事者ノ損害ヲ賠償セサル可カラス

當事者カ口頭ニテ代理權ヲ賦與シタルトキ又ハ訴訟ヲ爲スコトヲ暗黙ノ裡ニ承認シタルトキハ判決ノ結果ニ服セサルヘカラス

第八十三條 當事者ハ開拓局ニ對シ當事者トシテ訴訟スル能力アル保佐人ト共ニ出頭スルコトヲ得保佐人ノ陳述ハ當事者カ即座ニ之ヲ取消シ又ハ更正セサルトキニ限り當事者自ラ之ヲ陳述シタルモノト看做ス

第八十四條 開拓局長ハ保佐人カ開拓局長又ハ共同訴訟人ニ對シテ虛偽ノ陳述、不當ノ請求ヲ爲シ陋

劣ナル言ヲ弄シ秘密ニ煽動ヲ爲シ又ハ不穩當ナル行爲ヲ爲シテ其ノ自身ニトマルト連座セル當事者ニ對シテ行フトヲ問ハス苟クモ事務ノ進行竝ニ其ノ公平ナル調停ヲ阻礙スルト認メタルトキハ其ノ出頭ヲ拒否スルコトヲ得

第八十五條 地土開拓局長ハ職業的代理人又ハ保佐人ヲ拒否スルコトヲ得前項ノ命令ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

本條ノ規定ハ辯護士及土地開拓局總裁ノ命令ニ依リ土地開拓官廳ニ出頭スルコトヲ許可サレタル者ニハ適用セス

第八十六條 開拓局ノ管轄ニ屬スル總テノ調停ニ於テ夫ハ現在ノ夫婦共有地及其ノ他ノ共有財産又ハ妻ノ持參財産ニ屬スル土地及其ノ權利ニ關シ妻ヲ代理ス

#### 第四節 送 達

第八十七條 送達ハ職權ヲ以テ之ヲ爲ス

第八十八條 開拓局長ハ送達ノ施行ヲ管理ス

第八十九條 開拓局長ハ送達ヲ施行スル爲裁判所吏員ノ外ニ宣誓ヲ爲シタル使丁及其ノ他ノ官吏ヲ使用スルコトヲ得

第九十條 送達ヲ爲スニ當リテ正本ノ送達ヲ必要トスル場合ニハ正本ヲ交付シ其ノ他ノ場合ニハ送達



ス可キ書類ノ認證濟贖本ノ交付ヲ爲スモノトス

右ノ贖本ノ證明ハ開拓局長之ヲ爲ス

第九十一條 開拓局長又ハ其ノ指定セル官吏ハ送達スヘキ書類ノ送達ヲ受ク可キ者ノ名宛及事件番號ヲ記入セル封書ニ入レ職印ヲ以テ封緘シタル上宣誓セル使丁又ハ他ノ吏員ヲシテ送達セシムルカ又ハ郵便ヲ以テ之ヲ送達スヘシ

封皮面ノ事件番號ハ記録ニ書留メ置クヲ要ス

第九十二條 當事者ニ爲ス可キ送達ハ訴訟能力ナキ者ニ對シテハ其ノ法定代理人ニ之ヲ爲ス官廳、地方團體、社團又ハ其ノ資格ニ於テ訴ヘ又ハ訴ヘラルルコトヲ得ル團體ニアリテハ其ノ代表者ニ宛テ送達スルヲ以テ足ル

法定代理人及代表者數人アルトキハ送達ハ其ノ一人ニ爲スヲ以テ足ル

第九十三條 現役陸海軍下士卒ニ爲ス送達ハ其ノ直屬指揮官（歩兵中隊長、騎兵中隊長、砲兵中隊長等）ニ之ヲ爲ス

第九十四條 送達ハ總代理人竝ニ商業ヲ營ムニ依リ生シタル訴訟ニ付テハ支配人ニ之ヲ爲スヲ以テ當事者本人ニ爲シタルト同一ノ效力ヲ生ス

第九十五條 當事者カ獨逸國內ニ居住セス又ハ獨逸國在住ノ訴訟代理人ヲモ選任セサルトキハ開拓局

長ハ送達書類ヲ受取ルヘキ送達代理人ヲ指定スルコトヲ當事者ニ命スルコトヲ得但シ右送達代理人ハ調停ニ係ル土地ノ所在スル州ニ居住スル者タルヲ要ス

第九十六條 指定期間内ニ書面ヲ以テ送達代理人ヲ決定セサリシトキハ命令直後ノ審理ノ際ニ開拓局長ノ前ニ於テ之ヲ指命スヘシ之ヲ指命セサルトキハ後日之ヲ指定スル迄送達ヲ委任セラレタル官吏ハ其ノ交付スヘキ書類ヲ當事者ノ名宛ニテ其ノ住所ニ郵送スルコトニ依リテ爾後ノ送達ヲ爲スコトヲ得郵便送達ハ書類カ配達不能トシテ戻リ來ル場合ト雖モ郵送ニ付スルト同時ニ效力ヲ生シタルモノト看做ス

郵便送達ハ當事者ノ請求アルトキハ「書留」ヲ以テ之ヲ爲ス但シ其ノ郵税ハ當事者ノ負擔トス

第九十七條 送達ハ指定ノ訴訟代理人ニ之ヲ爲ササル可カラス

但シ本規定ハ當事者自身ヲ召喚スル場合ニハ之ヲ適用セス

第九十八條 送達ハ訴訟代理人ノ所在不明ナルトキハ送達代理人ニ送達代理人ナキトキハ相手方本人ニ對シテ之ヲ爲ス

第九十九條 送達ハ送達ヲ受ク可キ者ニ出會シタル總テノ場所ニ於テ之ヲ爲スコトヲ得

其ノ者カ其ノ場所ニ住所又ハ事務所ヲ有スル場合ニ住所又ハ事務所以外ニ於テ爲シタル送達ハ其ノ受取方ヲ拒マレサルトキニ限り效力ヲ有ス



第百條 送達ヲ受ク可キ者在宅セサルトキハ其ノ住居ニ於テスル送達ハ其ノ家族ニ屬スル成年以上ノ者又ハ其ノ家族ニ於テ働ク成年以上ノ雇人ニ之ヲ爲スコトヲ得  
前項ノ者其ノ家ニ在ラサルトキハ其ノ送達ハ同一ノ家屋ニ住居スル家主又ハ支配人ニ之ヲ爲スコトヲ得但シ此等ノ者カ書類ノ受取方ヲ受諾シタルトキニ限ル

第百一條 前條ノ規定ニ依テ送達ノ目的ヲ達シ得サルトキハ其ノ送達ハ書類ヲ送達スヘキ地方ノ所轄區裁判所書記課、其ノ土地ノ郵便局、市町村長若ハ警察署長ニ預ケ置キ其ノ旨ヲ住家ノ戸口ニ告示シ尙出來得可クンハ二名ノ隣人ニ口頭ヲ以テ其ノ旨ヲ傳言セシムルノ方法ニ依ルコトヲ得

第百二條 特殊ノ營業所ヲ有スル營業者ニ送達ヲ爲ス場合本人其ノ事務所ニ在ラサルトキハ其ノ事務所ニ在ル營業使用人ニ之ヲ爲スコトヲ得

送達ヲ受ク可キ辯護士、公證人又ハ執達吏其ノ事務所ニ在ラサルトキハ其ノ送達ハ該事務所ニ在ル使用人又ハ書記ニ之ヲ爲スコトヲ得

第百三條 送達ヲ受クヘキ官廳、地方團體、社團又ハ團體ノ法定代理人若ハ代表者カ成規ノ執務時間ニ事務所ニ居ラス又ハ支障アリテ自ら受取り得サルトキハ其ノ送達ハ事務所ニ在ル職員又ハ傭人ニ之ヲ爲スコトヲ得

法定代理人又ハ代表者ハ其ノ住居ニ於テ見出ササルトキハ其ノ者カ特別ノ事務所ヲ有セサルトキニ

限リ第一〇〇條及第一〇一條ノ規定ヲ準用ス

第百四條 第一〇一條、第一〇二條及第一〇三條第一項ニ掲ケタル者カ送達ヲ爲スコキ當事者ノ相手方トシテ其ノ訴訟ニ關與スルトキハ之ニ對シテ送達ヲ爲スコトヲ得ス

第百五條 法律上ノ理由ナクシテ送達書類ノ受取方ヲ拒ムトキハ交付スヘキ書類ヲ送達ノ場所ニ差置ク可シ

第百六條 當事者ノ陳述ニ依リ之ニ對スル呼出狀カ第一〇〇條乃至第一〇五條ノ規定ニ違背シテ送達セラレ當事者カ之ヲ收手セルコト露顯シタルトキハ其ノ送達ハ當事者カ其ノ陳述後ニ呼出狀ヲ受ケ取リタルトキニ於テ效力ヲ生シタルモノト看做ス

第百七條 夜間若ハ日曜日及ヒ一般祝祭日ニ於テ郵便送達ヲ爲シ得サルトキハ開拓局長ノ特別ノ命令ニ依ツテノミ送達ヲ爲シ得ルモノトス茲ニ謂フ夜間トハ四月一日ヨリ九月三十日迄ハ午後九時ヨリ午前四時迄十月一日ヨリ三月三十一日迄ハ午後九時ヨリ午前六時迄ノ時間ヲ指スモノトス

右ノ命令ハ送達ス可キ書類ニ付記スルカ送達ノ場合謄本ヲ以テ之ヲ通達スルヲ要ス  
本條ニ準據セサル方法ヲ以テセル送達ハ受領ノ拒絶セラレサル場合ノミ之ヲ有效トス

第百八條 多數關係人ノ代表者又ハ多數代理人中ノ一人ニ對シ正本若ハ謄本ヲ交付スル必要アル場合ニハ只一通ノ正本若ハ謄本ヲ送達スルヲ以テ足ルモノトス



多數關係人ニ委任セラレタル一人ノ送達代理人ニ對シテハ關係者ノ數ニ應シテ正本若ハ謄本ヲ交付スルモノトス

第九九條 送達ニ關シテハ證書ヲ作成スルヲ要ス

右ノ外送達ノ際ニ交付セラルヘキ封書ノ表ニハ送達ノ日附ヲ記入シ置クヘシ

第一百十條 送達證書ニハ左記各號ノ事項ヲ記載スヘキモノトス

- 一 送達ノ場所及時日
- 二 送達ヲ受クヘキ者ノ姓名
- 三 送達ヲ受ケタル者ノ姓名第一〇〇條、第一〇二條及第一〇三條ノ場合ニハ指示ノ人ニ送達スルヲ正當ナリトスル理由、第一〇一條ニ依ル取扱ヲ爲ス場合ニハ同條ノ規定ヲ履行シタル方法
- 四 受領ノ拒絶アリタル時ハ受領拒絶ノ事實並ニ手交スヘキ書類ヲ送達ノ場所ニ差置キタル事實
- 五 送達執行官吏ノ署名

右ノ外本證書ハ名宛及事件番號ヲ記シタル密封封書ヲ交付シタルコトヲ證明セサル可カラス

第一百十一條 送達證書ハ送達命令ヲ發シタル官署ニ交付スヘキモノニシテ郵便ニ依リ送達ヲ爲ストキハ送達證書ハ郵便配達夫ヨリ局員ニ交付シ局員ヨリ之ヲ前記ノ官廳ニ交付ス

第一百十二條 第九六條ノ規定ニ依リ郵便送達ヲ爲ス場合ニハ送達ヲ施行スル官吏ハ之ヲ發送シタル時

日及名宛ヲ記録ニ記入シ置カサル可カラス但シ送達證書ヲ作ルヲ要セス

第一百十三條 同一市町村内ノ多數ノ者ニ送達ヲ爲ストキハ廻覽ニ附スルコトヲ得コノ場合書類ハ送達ヲ受ク可キ人々ニ閱覽又ハ讀聞カセヲ爲シ其ノ認證謄本ヲ其ノ書類ニ指名セル者ニ預ケ置クモノトス此ノ認證謄本ノ市町村長若ハ廻覽セシメラルル者ノ一人ニ之ヲ預ケ置クコトヲ得

第一百十四條 第八九條、第九九條乃至第一〇三條、第一〇五條乃至第一〇八條、第一〇九條第二項及

第一一〇條ノ規定ハ廻覽ニ依ル送達ニモ適用ス

廻覽ニ依ル送達カ直接送達ヲ受クヘキ本人ニ爲サレサルトキハ送達ヲ施行スル者ニ對シ第一一三條ニ依リテ爲サルル送達書類ノ預ケ置ニ關スル通知書ヲ交付スルコトヲ要ス

第一〇一條ノ場合ニアリテハ第一一三條ニ掲クル預ケ置ハ住居ノ戸口ニ告知書ヲ貼付シ且ツ出來得ヘクンハ廻覽ヲ受ク可キ他ノ二名ノ者ニヨリ口頭傳達ヲ以テ之ヲ告知スヘキモノニシテ其ノ廻覽順序ハ之ヲ送達證書ニ之ヲ附記セサル可カラス

前記ノ告知書ノ受諾及ヒ受領ヲ拒マレタルトキハ單ニ拒絶セラレタル旨ヲ記入スヘシ

第一百十五條 外國ニ居住スル者ニ對スル送達ハ其ノ國ノ管轄官廳若ハ同國駐劄獨逸國領事又ハ公使ニ委囑シテ之ヲ行フ

第一百十六條 治外法權ヲ有スル在外獨逸人ニ對スル送達ハ同人カ獨逸國ノ派遣官吏ナルトキハ獨逸國



宰相ニ委囑シ聯邦國ノ派遣官吏ナルトキハ其ノ聯邦ノ外務大臣ニ委囑シテ之ヲ行フ  
獨逸國總領事ニ對スル送達ハ獨逸國宰相ニ委囑シテ之ヲ行フ

第十七條 外國駐屯軍人、動員軍人又ハ在役軍艦ノ乗組員ニ對スル送達ハ直屬司令部ニ委囑シテ行  
フモノトス

第十八條 所要ノ送達囑託書ハ開拓局長之ヲ發ス

送達ハ委囑セラレタル官廳若ハ官吏ノ送達ヲ行ヒタル旨ノ證明書ヲ以テ之ヲ證明ス

第十九條 當事者ノ居住カ不明ナルトキハ其ノ送達ハ公告ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得

國外居住者ニ對シテ送達ヲ爲ス場合ニ本法ノ規定ヲ適用シ得サルトキ若ハ其ノ效果ヲ認メ難キトキ  
ニモ公示送達ヲ爲スコトヲ得

送達場所カ裁判所構成法第一八條及第一九條ニ依リ裁判權ニ屬セサル人ノ住居ナル爲送達スルコト  
ヲ得サル場合ニモ本條ヲ適用ス

第二十條 公示送達ハ開拓局ノ掲示板ニ送達スヘキ書類ノ正本若ハ認證アル謄本ヲ貼付シテ之ヲ行  
フ

右ノ外書類ニ召喚ノ意味ヲ含ム場合ニハ開拓局ノ受訴ニ屬スル土地ノ所在州ノ公報ニ二回、獨逸國  
官報ニ一回之ヲ掲載スルモノトス

尙他ノ新聞紙ニ數回ニ亘リ此ノ召喚狀ノ掲載ヲ命スルコトヲ得

第二十一條 送達書類ニ召喚ノ意味ヲ含ムトキハ其ノ抄本ヲ最後ニ公報ニ掲載シタルトキヨリ一箇  
月ヲ經過シタル日ニ送達セラレタルモノト看做ス但シ公示送達ノ命令ヲ爲スニ當リ更ニ長期ノ期間  
ヲ定ムルコトヲ得

書類ニ召喚ノ意味ヲ含マサルトキハ其ノ書類ハ開拓局ノ掲示板ニ揭示シタルトキヨリ二週間ヲ經過  
シタル日ニ送達セルモノト看做ス揭示セル書類ヲ揭示ノ箇所ヨリ撤回スルコト早キニ失スルトキト  
雖モ送達效力ニ影響ヲ及ホササルモノトス

第五節 召喚、期日及期間

第二十二條 召喚ハ期日ヲ定メテ開拓局長之ヲ行フ

召喚ヲ爲スニ當リテハ其ノ調停事件ニ付少クモ其ノ概要ヲ知ラシム可シ

懈怠ニ伴フ法律的结果ニ關シテハ特ニ警告スルヲ要セス此ノ法律的结果ハ法律上ノ損失ヲ加フ可キ  
コトノ申告ヲ要セスシテ常ニ自然的ニ發生スルモノナリ

第二十三條 已ムヲ得サル場合ニ限リ日曜日及一般祝祭日ヲ召喚期日ト定ムルコトヲ得

第二十四條 繫屬事件ニアリテハ召喚狀ノ送達ヨリ召喚ノ期日マテ少クトモ三日以上ノ期間ヲ置ク

コトヲ要ス



第二百二十五條 開拓局長ヨリ召喚期日ノ言渡ヲ受ケタル者ニ對シテハ別ニ召喚狀ヲ發スルコトヲ要セス

第二百二十六條 召喚ノ地名及場所ハ召喚狀ノ中ニ開拓局長之ヲ指定スルモノトス

第二百二十七條 開拓局長、土地測量技師及其ノ調停事件ニ關與セシメラルル官吏若ハ専門家ニ對シテハ其ノ都度召喚ノ場所ヲ通知セサル可カラス召喚場所ハ普通通常裁判所若ハ地方官廳ノ事務室トシテ地方ノ事情ニ依リテ之レヲ許ササル場合ニハ關係者ノ都合ヲ斟酌シテ適當ナル召喚場所ヲ指定セサル可カラス

第二百二十八條 召喚期日ハ事件ノ呼上ヲ以テ開始スルモノトス

當事者ノ一方カ期日ノ終ルマテニ審理ニ與カラサルトキハ其ノ期日ハ其ノ當事者ヨリ懈怠サレタルモノト看做ス

第二百二十九條 開拓局長ノ定メタル期間ハ之ヲ定ムルニ當リ別段ノ定メ無キ限り期間ヲ指定セル書面ノ送達ト同時ニ開始シ書面ノ送達ヲ要セサルトキハ期間ノ言渡ト同時ニ開始スルモノトス

第三百十條 期間ノ計算ニ關シテハ民法ノ規定ヲ適用ス

期間滿了日カ日曜日若ハ一般祝祭日ニ當ルトキハ其ノ翌日ニ滿了スルモノトス  
時間ヲ單位トスル期間ノ計算ニハ日曜日若ハ一般祝祭日ヲ算入セス

第三百十一條 開拓局長ノ定ムル期間及法定期間ハ特別ノ事由アルトキハ之ヲ短縮又ハ延期スルコトヲ得但シ法定期間ノ伸縮ハ特ニ定メラレタル場合ニ限ル

一當事者ノ申立ニ依リ期間ヲ短縮又ハ延期セントスルトキハ其ノ理由ヲ明示セサル可カラス  
當事者全體ノ合意ニ依ツテ期間ヲ短縮若ハ延期スルコトヲ得ス

期間ヲ延長シタル場合ニハ其ノ都度別段ノ定メヲ爲ササル限り新期間ハ前期間ノ滿了日ヨリ起算スルモノトス

第三百十二條 期間ノ短縮若ハ延長ニ關スル申請ハ事前ノ審理ヲ行ハスシテ之ヲ裁決スルコトヲ得

前項ノ裁決ヲ爲スニ當リテハ爾餘ノ關係者若ハ相手方ノ意見ヲ徵スルコトヲ得

第三百十三條 召喚期間ハ短縮スルコトヲ得

第三百十四條 天災其ノ他ノ不可抗の事故ニ因リ當事者自身若ハ代理人ノミニテモ期日ニ出頭シ能ハサルコトヲ立證サル場合ノ外指定ノ期日ヲ延期スルコトヲ得ス

前項ノ理由ニ因リ期日變更ノ申請ヲ爲ストキハ期間ノ延長ニ關スル第一三二條ノ規定ヲ適用スヘシ

第三百十五條 期日ハ職權ヲ以テ之ヲ變更スルコトヲ得

第三百十六條 開拓局ノ當事者ニ對スル審理ハ召喚期日ノ事項ニ關スル一般的討議ヨリ始ム



然ル後開拓局長ハ審理事項ヲ決定シ其ノ事件ニ關スル一切ノ事項ニツキ當事者ヲ訊問セサルヘカラス

當事者ハ開拓局長ニ訊問セラレタル點ニ關シテ陳述ヲ爲ササル可カラス

第三百七條 審理ノ際ニハ書記ヲ立會ハシムルコトヲ得但シ書記ノ立會ノ有無ニヨツテ審理ノ效力ニ影響ヲ及ホスコトナシ

第三百八條 獨逸語ヲ以テ裁判用語ト爲ス

第三百九條 獨逸語能力ナキ者カ審理ニ參加スルトキハ通譯者ヲ立會ハシム外國語ヲ以テ附帶調書ヲ作成スルコトヲ得ス但シ開拓局長ニ於テ事件ノ性質上之ヲ必要ト認ムル場合ニ限り外國語ニヨル供述竝ニ陳述ヲ其ノ儘調書又ハ附屬書類ニ記録スルコトアルヘシ此ノ場合ニハ其ノ調書ニハ通譯者ニ認證セラレタル翻譯書ヲ添附セサル可カラス

參加人ノ全部カ外國語能力アルトキハ通譯者ヲ立會ハシメサルコトヲ得

第四十條 獨逸語能力ナキ者ハ其ノ常用國語ヲ以テ宣誓スヘシ

第四十一條 通譯者ハ誠實ニ且ツ良心ニ從ツテ通譯スヘキ旨ヲ宣誓セサルヘカラス

通譯者カ或事件ノ通譯ヲ爲スタメ一般的ニ宣誓ヲ爲シタルトキハ既ニ爲シタル宣誓ヲ引用スルヲ以テ足ルモノトス

第四十二條 宣誓ヲ了シタル書記ニ於テ通譯者ノ職務ヲ行フコトヲ得此ノ場合ニハ特別ノ宣誓ヲ爲スヲ要セス

第四十三條 鑑定人ノ拒否ニ關スル規定ハ通譯者ニ對シテ之レヲ適用シ採否ノ決定ハ開拓局長之ヲ爲ス

第四十四條 開拓局長ハ當事者ノ所持スル關係文書、家系圖、地圖、見取圖及其ノ他ノ書類ヲ提出スヘキコトヲ命スルコトヲ得

開拓局長ハ前記ノ提出書類ヲ其ノ指定スル期間中其ノ執務室ニ留メ置クヘキコトヲ命スルコトヲ得

開拓局長ハ外國語ニテ作成セル文書ニ對シテハ宣誓ヲ爲セル通譯者ノ譯書ヲ添附スヘキコトヲ命スルコトヲ得

第四十五條 開拓局長ハ適當ナル陳述ヲ爲ス能力ヲ有セサル當事者、訴訟代理人及補佐人ニ對シ爾後ノ陳述ヲ禁スルコトヲ得

前記ノ命令ニ對シテハ異議ヲ申立ツルコトヲ得ス

本條ノ規定ハ辯護士ニハ之ヲ適用セス

第四十六條 當事者、證人、鑑定人又ハ審理ニ關與セサル者ニシテ秩序維持ノ爲ノ命令ニ服セサル者



アルトキハ開拓局長ノ裁量ニヨリテ審理室ヨリ退出セシメ更ニ拘留ニ付シ又ハ二十四時間以内ノ檢束ヲ爲スコトヲ得

前記ノ裁決及其ノ理由ハ之ヲ調書ニ記録スルヲ要ス

第四百七條 口頭辯論ニ於テ不當ノ行狀ヲ犯ス當事者、證人、鑑定人又ハ審理ニ關與セサル者ニシテ場内ニ於テ不穩當ナル行爲ヲ爲スモノアルトキ開拓局長ハ刑事訴追ヲ留保シテ百「マルク」以下ノ罰金又ハ三日以内ノ拘留處分ニ付シ即時執行スルコトヲ得

第四百八條 開拓局長ハ審理ニ關與セシメラルル辯護人ニシテ場内ニ於テ不穩當ナル行爲ヲ爲ス者ニ對シテハ刑事訴追又ハ懲戒訴追ヲ留保シテ百「マルク」以下ノ罰金ニ處スルコトヲ得

第四百九條 前記ノ罰金刑ノ執行ハ開拓局長ニ於テ直接之ヲ爲ササル可カラス

第五百十條 第一四七條及第一四八條ニ依リ開拓局長カ裁決セル罰金刑ニ對シ抗告アルトキハ仲裁々判所ニ於テ終局的決定ヲナス

第五百十一條 審理ニ關與セシメラルル者ニシテ審理場ノ秩序維持上退席セシメラレタル者ニ對シテハ任意ニ退席シタル者ト同様ノ處理ヲ爲スコトヲ得

前項ノ規定ハ會テ退席又ハ出廷禁止ノ處分ヲ受ケタル者ニアラサル限り第八五條及第一四五條ノ場合ニモ適用ス

第五百十二條 審理ニ關シテハ調書ヲ作成スヘキモノニシテ調書ニハ左記ノ各號ヲ收録セサル可カラ

ス

一 審理ノ場所並ニ日時

二 調停事件ノ名稱

三 立會通譯者ノ氏名

四 出頭シタル當事者、法定代理人、訴訟代理人、補佐人其ノ他總テ列席シタル者ノ氏名

第一五四條第二項ノ場合ニハ通譯者ト協働セル書記ノ氏名ヲモ收録スヘシ

第五百十三條 審理ノ狀況ハ調書ニ記載スヘシ

調書ニハ總テノ問題ニ亘リ當事者カ同意シ或ハ反對シタル點若ハ疑問トシテ明瞭ナル陳述ヲ爲スコトヲ躊躇シタル點ヲ明記セサル可カラス

認諾證書カ受訴事項ニ就キ十分ノ憑據ヲ成ストキハ便宜上之ヲ採用スルコトヲ得但シ其ノ證書ノ認證謄本ヲ訴訟記録ニ綴込ミ置クヲ要ス

左記ノ事項ハ調書ニ採録シテ特ニ明確ヲ期セサル可カラス

一 開拓局長ノ責任ヲ以テ精確ニ完結ス可キ認諾、却下及和解

二 當事者ノ申立



- 三 喚問セラレタル證人及鑑定人ノ供述
- 四 檢證ノ結果
- 五 開拓局長ノ裁決(命令、處分)
- 六 裁判ノ言渡

附録トシテ調書ニ添附シタル書類若ハ附録トシテ調書ニ記入シタルモノハ調書ニ採録シタルモノト同様ノ效力ヲ有ス

第一百五十四條 調書ハ當事者及ヒ其ノ他ノ關係人ニ之ヲ讀聽カセ若ハ閱覽セシメサル可カラス承認サレタル調書ニハ全關係人及開拓局長ノ署名ヲ爲ス

第六條ノ場合ヲ除キ書記カ審理ノ記録ニ關與シタルトキハ關係人ノ署名ヲ要セス

第五十五條 當事者カ調書ノ補充又ハ更正ヲ申立ツルトキハ調書ニ所要ノ追加ヲ爲スヲ要ス如上ノ申立ナクシテ當事者カ承認ヲ拒否シタルトキハ當事者ハ審理ニ與ラサリシモノト看做シ此顛末ヲ調書ニ記載スルヲ要ス

第五十六條 第一五四條第二項ノ場合ヲ除キ當事者カ自カラ承認セル調書ノ署名ヲ拒否スルトキハ拒否ノ理由ヲ訊問セサル可カラス

開拓局長ハ署名ヲ拒以シタル當事者ニ對シ假令署名ヲ拒否スルモ調書ハ其ノ者ニ對シテ證據力ト羈

束力ヲ有スルモノナルコトヲ說示セサル可カラス

本條ノ規定ヲ適用シ調書ノ承認及署名拒否ノ理由ハ之ヲ調書ニ記録スルコトヲ要シ斯ル場合ニモ其ノ調書ハ署名ノ拒否ニ拘ラス證據力ト羈束力ヲ有ス

第五十七條 開拓局長ハ關係人ニシテ聾、盲、啞其ノ他ノ言語ニ不自由ナル者アリト認ムルトキハ宣誓ヲ爲セル書記又ハ二名ノ證人ヲ立會ハシメサル可カラス

第五十八條 當事者カ無學者ナルコトヲ供述スルトキハ其ノ旨ヲ調書ニ記載スルヲ要シ開拓局長ハ讀聽セ及承認ニ當リテ證人ヲ立會ハシメサルヘカラス第一五七條ノ場合ニ於テハ此ノ立會ヲ要セス其ノ他宣誓ヲ爲セル書記カ立會ハシメラルル場合モ亦之ニ同シ

調書ハ立會人ノ署名ヲ必要トス

第五十九條 開拓局長ハ關係人ニシテ啞其ノ他言語ニ不自由ナル者又ハ文字ヲ解セサル者アリト認ムルトキハ記録ノ作成ニ當リテ通譯者ヲ立會ハシメサル可カラス

前項ノ場合調書ニハ開拓局長カ其ノ當事者ノ言語不自由ナルコト及文字ヲ解セサルコトヲ確認シタル旨ヲ明記セサル可カラス其ノ調書ハ通譯者ニ依テ承認セラレ署名セララルルヲ要ス

前項ノ場合ニハ證人若ハ宣誓ヲ爲セル書記ノ立會ヲ要セス

第六十條 左ニ掲クルモノハ記録作成ノ際ニ宣誓ヲ了セル書記又ハ證人トシテ關係スルコトヲ得ス



- 一 當事者自身及其ノ代理ノ行爲ヲ爲ス者
  - 二 當事者ノ配偶者若ハ前配偶者
  - 三 當事者ノ直系血族或ハ傍系ニ親等ニ當ルモノ若ハ姻戚關係ニアル者
  - 四 當事者ノ代理人トシテ(二)及(三)號ノ如キ關係ヲ有スル者
- 第百六十一條 左ニ掲クル者ハ記録ノ作成ニ當リ宣誓ヲ爲セル書記若ハ證人トシテ關與スルコトヲ得ス
- 一 記録中ニ自己ノ利益ニ關スル處分ヲ記載サレ居ル者
  - 二 記録中ニ自己ノ利益ニ關スル處分ヲ記載サレ居ル者ト第一六〇條(二)及(三)號ニ掲クル如キ關係ニアル者
- 本條ニ於テ除外サルルモノカ關與スルトキハ其ノ記録カ本條第一項ノ(一)、(二)號ニ掲クル者ノ利益ニ關スル處分ヲ目的トスル限リ其ノ記録ヲ無効トス
- 第百六十二條 開拓局長ト第一六〇條(二)、(三)號ニ掲クル關係アル者ハ記録作成ニ當リ宣誓セル書記若ハ證人トシテ關與スルコトヲ得ス
- 第百六十三條 左記各號ノ者ハ記録ノ作成ニ當リ證人トシテ關與スルコトヲ得ス
- 一 未成年者

- 二 公權喪失ノ宣告ヲ受ケタル者ハ其ノ公權剝奪ノ期間
  - 三 刑法ノ規定ニ依リ證人トシテ宣誓、訊問セラルル能力ナキ者
  - 四 僕婢或ハ助手トシテ開拓局長ニ雇傭サルルモノ
- 第百六十四條 記録ノ作成ニ立會ヒタル者ハ記録ノ讀聞カセ、承認及ヒ署名ノ際ニモ立會ハサル可カラス
- 第百六十五號 當事者カ聲ナルトキハ其ノ請求ナクトモ調書ヲ閱覽セシメ調書ニハ其ノ旨ヲ記録スルヲ要ス
- 當事者カ聲ニシテ文字ヲ讀ムカヲ有セサルトキハ其ノ者ニ意志ノ疏通ヲ計リ得ル受託者ヲ立會ハシムヘシ調書ニハ開拓局長ニ於テ當事者カ受託者ヲ理解シタルコトヲ認メタル旨記録スルヲ要ス
- 此ノ調書ハ受託者ヨリモ承認セラレ署名セラレサル可カラズ宣誓ヲ爲セル書記、立會ヒ中ノ證人若ハ關係者モ亦受託者タルコトヲ得
- 第百六十六條 口頭供述ノ爲規定シタル様式ノ遵守ハ調書ニ依ツテノミ之ヲ證スルコトヲ得此ノ様式ニ關スル調書ノ内容ニ對シテハ偽造ノ證明ニ限り之ヲ爲スコトヲ允ス
- 第百六十七條 開拓局長ニ依テ爲サル審理及契約ハ夫レカ調停事件ノ解決ヲ目的トスルモノナルト



キハ裁判上ノ調書及記録ノ效力ヲ有スコノ效力ハ當該事件ノ性質上及普通法ノ原則ニ依リ裁判上ノ記録ヲ必要ト爲スノ故ヲ以テ無効タラシメラルルコトナシ

## 第二章 整理手續

### 第一節 總 則

第六十八條 土地整理調停ノ申請ハ總テ開拓局長ニ宛テ之ヲ爲ス

調停ノ請申アリタルトキハ普通調停ノ場所ニ於テ審理ヲ行フモノトス

第六十九條 左ノ場合ニ於テハ開拓局長ハ法律上調停手續ノ執行ヲ爲スコトヲ得ス

- 一 事件ニ開拓局長自ラ關係アルトキ又ハ其ノ事件ノ關係者ト共同權利者、共同義務者若ハ償還義務者タル關係ヲ有スルトキ
- 二 開拓局長ノ妻ノ事件ナルトキ婚姻ノ既ニ解消シタルトキ亦同シ
- 三 開拓局長ト直系ノ親族、姻戚又ハ養子ノ關係ヲ有スル人又ハ三等親ノ傍系親族若ハ二親等内ノ姻戚ノ關係ヲ有スル人ノ事件ナルトキ姻戚ノ關係ヲ生シタル婚姻ノ既ニ解消シタルトキ亦同シ
- 四 開拓局長カ一方ノ訴訟代理人若ハ補佐人トシテ委任サレタル事件又ハ當事者ノ一方ノ法定代理トシテ出頭スル權限ヲ有シ若ハ有シタル事件ナルトキ

五 開拓局長カ證人若ハ鑑定人トシテ審問ヲ受ケタル事件ナルトキ

第七十條 開拓局長カ法律ニ依リ其ノ職務ノ執行ヨリ除斥セララルトキ竝ニ偏頗ノ處置ヲ爲ス虞アルトキハ之ヲ忌避スルコトヲ得

偏頗ノ虞アル爲ノ忌避ハ開拓局長ノ公平ナル態度ヲ疑フヘキ十分ナル理由アルトキニ之ヲ爲スコトヲ得

關係者ハ總テ忌避ノ權利ヲ有ス

關係者カ忌避ノ理由ヲ知悉シツツ之ヲ主張スルコトナク審理ニ入り或ハ審理ノ申請ヲ爲シタルトキハ偏頗ノ虞アリトシテ開拓局長ヲ忌避スルコトヲ得ス

第七十一條 忌避ノ申請ハ開拓局長ニ之ヲ爲ス可キモノニシテ開拓局長ノ面前ニ於テ之ヲ陳述スルコトヲ得此ノ場合ニハ之ヲ調書ニ採録セサル可カラス

忌避ノ理由ハ之ヲ確證スルヲ要シ當事者ハ宣誓ニ代ル可キ保證ヲ爲スコトヲ得ス之レカ確證ヲ得ル爲ニハ開拓局長ノ證言ヲ引用スルコトヲ得

開拓局長ハ忌避ノ理由ニ關シテ職務上意志表示ヲ爲ササル可カラス

當事者ノ審理ニ入り若ハ動議ノ提出ヲ爲シタル後ニ偏頗ノ虞レアル爲開拓局長ノ忌避ヲ爲スニハ忌避ノ原因カ夫レ以後ニ生シタルカ又ハ夫レ以後ニ至リテ關係者カ之ヲ覺知シタル旨ノ確證ヲ爲ササ



ル可カラス

第七十二條 忌避ノ申請ニ關スル裁決ハ土地開拓局總裁之ヲ行フ

第七十三條 忌避ノ申請ニ關スル裁決ハ豫メ準備的口頭審理ヲ行ハスシテ之ヲ爲スコトヲ得

其ノ申請ヲ正當ト認ムル裁決ニ對シテハ上訴ヲ爲スコトヲ得ス其ノ申請ヲ不當ト爲ス裁決ニ對シテハ抗告ヲ爲スコトヲ得

第七十四條 忌避セラレタル開拓局長ハ忌避申請ノ完結スル迄ハ猶豫ス可カラサルモノノミヲ處理セサル可カラス

第七十五條 土地開拓局總裁ハ忌避ノ申請ナキ場合ニ於テモ開拓局長ニ忌避ノ理由タルヘキ事情アルコト明白ナルトキ又ハ他ノ事由ニ依リ法律ニ依ツテ除外セラルヘキ嫌疑ヲ生シタルトキニハ之ニ付裁決ヲ爲ササル可カラス

第七十六條 土地開拓局總裁ハ開拓局長カ除外若ハ忌避セラレ又ハ一時的支障ノ爲職務ヲ執リ得サルトキハ之カ代任者ヲ任命スルモノトス

第七十七條 一旦開始セル調停ハ中斷スルコトナク續行ス可キモノナレトモ事件關係ヨリ見テ之ヲ必要トスルカ又ハ不可抗的故障ヲ生シタル場合ニ限り他ノ關係者ヲ召喚スル爲及經營ヲ續行スル爲ニ審理ヲ延期スルコトヲ得故ニ開拓局長カ審理ノ完結ヲ宣言スル迄ハ各當事者ニ在リテハ別段ノ書

面ヲ以テスル催告ヲ受ケストモ召喚狀ニ明示セラレタル期日ノミナラス該期日ノ繼續ト看做スヘキ後日ニ於テモ出頭スルノ義務ヲ負フヘシ

## 第二節 事件關係ト法律關係ノ確定

第七十八條 開拓局長ハ調停事件ノ全般又ハ各部分ニ亘リ事件ノ經過中ニ處理サルル問題ニ關シ事實上自ラ配慮セサル可カラス

第七十九條 開拓局長ハ

- 一 事件關係及法律關係ニシテ調停ニ關係アルモノハ總テ之ヲ明ニセサルヘカラス
- 二 前號ノ場合ニ生スル争點ニシテ調停官廳ノ權限ニ屬スルモノハ第二一五條以下ノ規定ニ依テ論議裁決スヘシ但シ

- 三 同事件ノ圓滿ナル解決ヲ計ル爲最後ニハ當事者ニ對シテ場所及當事者相互ノ事情ニ適スル提議ヲ爲シ又ハ合法的ニシテ正當ナル總テノ協定ヲ支持スルコトニ努メサル可カラス
- 四 必要ナル場合ニハ調停ノ遂行ニ當ラサル可カラス

第八十條 開拓局長ハ當事者間ノ關係及其ノ耕地ノ關係ニ付當事者ノ一般の審問ヲ爲シ必要アル場合ニハ更ニ耕地ニ關スル檢證ヲ爲シタル後原告及爾餘ノ當事者ニ就キ其ノ希望及ヒ申請ヲ聽取セサル可カラス



第八十一條 開拓局長ハ共同訴訟代理人（第六七條）ト更ニ重要ナル共通事故即チ特ニ評定種別及評定價值ノ決定、道路網及ヒ溝渠網ノ設計並ニ調停ヲ行フ場合ニ考量スヘキ原則ニ付商議スルヲ要ス

前項ノ審理ニハ測量事務及開拓事務ニ從事スル測量官吏ヲ參考人トシテ立會ハシム可シ

第八十二條 開拓局長ハ調停ニ立會ハシメラルル私人ニ其ノ權能ノ保護ヲ委任スルコトヲ得之カ爲ニ開拓局長ハ單ニ事件及法律ニ關スル知識ヲ有セサル當事者カ之ヲ知ラサル爲ニ自己ニ不利益ナル意志表示ヲ爲シ又ハ狡詐ニ陷レラレサルヤウニ注意ヲ爲シ若ハ當事者ニ於テ理解シ得サル如キ事項ニ關シ正當ナル諭示ヲ與フ可キモノトス

第八十三條 開拓局長カ協定カ明カニ不當ナルカ又ハ其ノ他ノ理由ニ因リ虛偽又ハ秘密的附帶契約ノ存在ノ疑アル場合ニハ出來得ル限り事件ノ真相ヲ探查シ且ツ當事者ヲシテ新ニ實際ノ事情ニ適應スル協定ヲ締結セシムルコトニ努メサル可カラス

第八十四條 當事者ノ希望及ヒ申請ヲ判定スルニ當リテハ單ニ其ノ認可ノ可能性ヲ考查スルノミナラス表示サレタル目的以上ニ良好ナル目的及大ナル目的ヲ達成セラレサルヤ否ヤヲモ考量セサル可カラス若シ之カ可能ナル場合ニハ當事者ニ對シ其ノ申請ノ内容ヲ擴張シ又ハ其ノ狀態ヲ改善スル機會ヲ捕捉セシムル爲ニ適當ナル諭示ヲ爲ササル可カラス

第八十五條 調停ノ申請ニヨリ（告發）一般ニ處理ノ方針ヲ決定サルモノナレトモ尙當初ニ於テ法規上若ハ便宜指定サルル事件ハ全範圍ニ亘リ當事者ノ任意的陳述ニツキ調査ヲ行ハサル可カラス

第八十六條 開拓局長ハ調査ヲ行フニ當リテモ當事者ノ陳述ノミニ限ルコトナク調停ニ關係ヲ有スル事實關係並ニ法律關係ニ關スル總テノ資料ヲ最モ簡捷ニ蒐集スル爲實地ノ檢證、證書及記録ノ閱覽又ハ關係地方ノ事情ニ精通スル者ノ訊問ヲ爲ス等各方面ノ材料ヲ利用セサル可カラス

第八十七條 次ニ開拓局長ハ調停ニ關係アル事實關係及法律關係ヲ調査スル爲ニ各當事者ノ全般的審理ニ移ラサル可カラス

其ノ審理事項ハ次ノ如シ

- 一 當事者及其ノ所有關係ノ調査
- 二 爭點ノ整理
- 三 農場及農地ノ附屬物ニ關スル尋問
- 四 地方稅及公共團體稅ニ關スル調査
- 五 村落耕地ノ上ニ存スル共同權關係及境界ノ調査
- 六 申請ニ關スル明確ナル説明



第八十八條 開拓局長ハ職權ヲ以テ總テノ當事者ヲ規定通りニ事件ニ關與セシムルヤウ配慮セサル可カラズ茲ニ謂フトコロノ當事者トハ單ニ最初ニ整理ニカケラルル者ノミナラス調停ニ依リテ其ノ權利ヲ變改セラルル如キ總テノ者ヲ指ス

第八十九條 開拓局長ハ關係者ノ申請ナキ場合ト雖モ調停ニ立會ハシム可キ未知ノ關係者アルコトヲ認ムルトキ若ハ關係者ノ身分ニ關シテ即時ニ解決シ難キ疑念ヲ生スルトキハ公告ヲ爲ス權限ヲ有ス

第九十條 前條ノ公告ハ其ノ事件ニ關係アリト認メラルル者ニ調停ノ開始ヲ告示シテ調停案提示ノ際ニ立會ヲ爲スヤ否ヤヲ指定ノ期日マテニ届出シムルコトヲ目的トスルモノニシテ本公告ハ第一二〇條ノ規定ニ從ツテ之ヲ行フ

第九十一條 調停契約書ニハ前條ノ公告カ如何ナル形態ニ行ハレ如何ナル結果ヲ生シタルヤ記載スヘシ

第九十二條 調停ヲ爲スニ當リテ關係土地カ定嗣相續地若ハ世襲地又ハ再買セラル可キ土地ニ於テ定嗣相續地ノ所有者カ相續資格アル卑族ヲ有セサルトキハ定嗣相續者、領主、世襲地承繼者又ハ再買權者ヲ立會ハシムルヲ要セサレトモ第一九三條ノ場合ヲ除外調停ノ開催ニ關シテハ之ヲ第一八九條及第一九〇條ノ規定ニ依リ公告スルヲ要ス

第九十三條 領主若ハ再買權者カ判明セルトキハ別ニ調停ノ公告ヲ行フヲ要セサレトモ開拓局長ハ右ノ者ニ對シ特ニ其ノ旨ヲ通知セサルカラス

定嗣相續地所有者ニ定嗣相續地承繼資格アル卑族ナキトキ第一九四條(イ)號ニ依リ届出ヲ待ツテ之ヲ事件ニ立會ハシメサル可カラサル如キ定嗣相續地承繼者カ判明セルトキハ世襲地及家族財團ノ後繼者ニ關スルモノト同様ニ前項ノ規定ヲ適用ス但シ指定サレタル定嗣相續地承繼者、後繼者及家族員カ土地登記簿ニ登錄サレ居ラサルトキハ公告及特別通告ヲ爲スヲ要セス

第九十四條 届出關係者中調停案提示日ニ召喚サルモノハ次ノ如キ者ニ限ル

- (イ) 定嗣相續地ニアリテハ領主及先順位承繼者若ハ多數ノ同順位承繼者若シ如上ノ者カ普魯西國外ニ居住シ若ハ普魯西國ニ定住セスシテ届出ヲ爲ササルトキハ此等ノ次位ニアル承繼者ニシテ普魯西國內ニ在住スル者

(ロ) 世襲地ニ在リテハ先順位承繼者

(ハ) 再買地ニ在リテハ再買權利者

(ニ) 前記各號ノ者ノ外直接關與權アリト主張スル總テノ關係者

第九十五條 第一九四條(イ)號ニ依リ召喚サル關係人ハ實物ニ對スル賠償ノ不足又ハ資本若ハ地代ニヨル賠償ノ確保ニ關スル限り異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得ス



其ノ他ノ問題ニ關シテ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得ス

第九十六條 第一九二條ニ掲クル關係人ニシテ公告ヲ爲スモ届出ヲ爲ササルトキハ不参加ノ儘決定サレタル調停ニ服ス可キモノニシテ如何ナル理由アルモ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

第九十七條 直接ノ關係者ハ届出ヲ爲ササル場合ニモ其ノ關係ノ權利ニ對スル賠償ヲ受ケタル他人々ニ對シテ賠償返還ノ請求ヲ爲スコトヲ得ルモ其ノ賠償ヲ受クルニ當リテハ調停ノ狀況ニ應ジテ調停案ヲ破壊スルコトナク且ツ之ニ基イテ施設サレタル經濟施設ニ損害ヲ及ホササル如キ方法ヲ選ハサル可カラス而シテ若シ之カ爲ニ自然物賠償ヲ不可能トスルトキハ現金若ハ地代ヲ以テ其ノ代償ヲ受ケサル可カラス

第九十八條 開拓局長ハ職權ヲ以テ當事者及其ノ代理人ノ資格ノ審査ヲ行ハサル可カラス

第九十九條 或ル調停事件ニ關シテ届出ヲ爲シタル當事者ニシテ所有權者トシテ土地登記簿ニ登記サレ居ルモノハ總テ有資格者ト認ム

第二百條 開拓局長ハ自己ニ繫屬スル事件ニ關シ所有者ノ登記ニヨル土地登記簿ノ更正ヲ土地登記所ニ請求シ所有權ノ證明ニ必要ナリト認ムル證書ノ提出ヲ所有者ニ請求スル權能ヲ有シ所有者若シ之ニ違背スルトキハ二百「マルク」以下ノ罰金ニ處スルコトヲ得

第二百一條 左記各號ニ該當スルトキハ土地所有權ノ取得ニ關シテ讓渡ノ届出ナキ場合ニ於テモ其ノ

資格ヲ認ム

(イ) 當事者カ問題ノ土地ヲ所有スルモノナルコトヲ所轄市町村役場ヨリ證明セラレタルトキ若ハ當事者カ所有權ノ取得ニ關スル公正證書ヲ提示シ得ルトキ

(ロ) 此ノ場合ニ於テ他ノ當事者カ其ノ資格ニ關シ異議ヲ申立テサルトキ

(ハ) 調停ニ關スル公告(第一八九條、第一九〇條)及土地登記簿ニ依リ明確ナル所有權承繼者ニ關スル通知ヲ爲シタル後契約締結ヲ行フマテ他ニ開拓局長ニ所有權ノ請求ヲ提起スル者ナキトキ

第二百二條 公告ニ指定セル期日ノ經過以後締結前ニ所有權者トシテ届出テ且ツ其ノ資格ヲ認メラレタルモノハ其ノ届出前ニ第二〇一條ニ依リ假リニ認知セラレタル土地所有者トノ間ニ決定セラレタル總テノ定メニ從ハサル可カラス

第二百三條 從物ノ調査ハ一般審理ノ際ニ單ニ一般的ニ行ハル可キモノニシテ枯草收穫ノ概量及當事者カ其ノ農場ノ從物トシテ山林ヲ所有スルヤ否ヤヲ調査スルト共ニ各農場ノ面積若ハ播付種子ヲモ調査セサル可カラス

第二百四條 公租及公課ノ調査ハ單ニ受領簿ノ檢閲ノミニ依ラス地方官廳ト商議シテ之ヲ爲スヘシ教會、寺院學校ニ關スル公課ハ當時ノ受領者及其ノ用益者及即チ「パトロン」(牧師推薦權者)及教會長老ヲ立會ハシメテ決定シ必要ナル場合ニハ之ニ關スル證書ヲ提示セシムヘシ其ノ他ノ公課ノ調査モ



亦同様ノ方法ニ依ル

第二百五條 開拓局長カ必要ナリト認ムルトキハ實地ニ村落耕地ノ自然的及經濟的狀態ヲ調査シ實地檢證ヲ反覆シ更ニ必要ナル處ニ於テハ必要ナル報告ヲ書類ニ記録シタル上權利關係ニ就キ主トシテ次ノ事項ヲ調査スルヲ要ス

(イ) 其ノ耕地カ曾テ調停ニ係リシコトアリヤ否ヤ及其ノ方法  
(ロ) 其ノ耕地若ハ其ノ一部ノ上ニ他國人カ地役權ヲ有スルヤ否ヤ或ハ隣接耕地ノ地役權カ全部或ハ一部其ノ調停事件ノ當事者ニ屬スルヤ否ヤ

(ハ) 如何ナル關係權利アリヤ  
(ニ) 疆界ニ關シテ疑問ナキヤ又ハ如何ナル程度ニ疑ハシキヤ

此ノ場合ニハ田畑、草地、牧畜場、森林、肥飼場トシテノ利用ノミナヲス其ノ土地ニ在ル泥炭等ニキツテモ顧慮ス可キモノニシテ曾テ調停ニ係リシコトアル場合若ハ他ノ目的ノ爲ニ測量サレタルコトアル場合ニハ圖面測量簿、分配契約書其ノ他重要ナル書類ヲ提出セシムルヲ要ス

第二百六條 第一八〇條以下ニ於テハ如何ナル場合ニ一般審理ヲ行フヘキヤノ一般のニ規定シタリシカ開拓局長ハ受訴事件ニ於テ更ニ如何ナル點ニ此ノ一般審理ヲ及ホス可キヤ又ハ場合ニ依ツテハ之ヲ省略シ得ルヤ否ヤ若ハ如何ナル點ニ關シテ之ヲ省略シ得ルヤヲ考慮セサル可カラス一般審理ニ於

テハ總テノ問題ニ關シ當事者カ如何ナル點ニ同意シ異議ヲ有シ若ハ疑ヒヲ有スルヤヲ明カニシ以テ明確ナル宣告ヲ下ス可ク配慮セサル可カラス

認諾證書カ受訴事項ニ關スル十分ナル證據トナル場合ニハ之レヲ引用スルコトヲ得然ルトキハ其ノ認證謄本ヲ一件書類ニ綴込ミ置クヲ要ス

第二百七條 一般審理ヲ終リタルトキハ當事者ノ提議ヲ明確精密ニ討究セサル可カラス

第二百八條 特ニ開拓局長ハ當事者ノ如何ナル請求カ事件ニ關係ヲ有スルヤヲ考慮シ之ヲ論議ニ付ス可キヤ破棄ス可キヤ若ハ一時留保ヲ爲ス可キヤヲ決定スル任務ヲ有ス而シテ更ラニ關與權ノ範圍及價值關係竝ニ補償金ヲ明ラカニスル爲ニ當事者ヨリ申立テラレサルモノニツキテモ如何ナル點ヲ承認若ハ決定ス可キヤヲ考究セサル可カラス

第二百九條 前條ノ判定ハ法律上ノ規定ニ基ツキ現在ノ權利關係及地方ノ事情ヲ考慮シテ獨リ開拓局長ニ於テ之ヲ決ス可キモノニシテ開拓局長ハ更ニ其ノ義務的裁量ニ從ヒ必要ナル處理ヲ行フ權利ヲ有ス

第二百十條 開拓局長ハ異論アル點若ハ疑問アル點ニツキテハ其ノ何レノ點カ土地整理ニ關係ヲ有スルヤヲ慎重ニ考究セサル可カラス開拓局長カ此等ノ點ノ全部若ハ一部ノ解決ヲ爲シ得サルトキハ總テノ點ニ關シ事件ノ性質及關係ヲ十分考察シ法律正義及調停事件ノ終局目的ニ合スル方法ヲ決定ス



ル爲重要ナル點ヲ一般調書ヨリ拔萃シテ本來ノ一爭點ト從屬的爭點ヲ明確ニシ當事者ニツキテ事件ノ内容、權利及利益關係ヲ詳細ニ聽取シ又ハ總テノ實際ノ事情ヲ考慮シ更ニ證據資料ヲ蒐集シテ努メテ事實ヲ明ラカナラシメサル可カラス

第二百一十一條 開拓局長ハ事件ニ關スル總テノ問題ニ付キ當事者ヲ審問シ或爭點ニ關シテ紛争ヲ生スル毎ニ之ヲ裁決セサル可カラス但シ各當事者ノ陳述ノ對象及裁決ニ附ス可キ點ヲ決定シ及之ニ對シテ當事者ニ應訴ヲ促カスコトハ一ニ開拓局長ノ職掌ニ屬スヘキモノトス故ニ當事者ハ原告トシテ他人ニ對抗スル必要ナク各當事者ハ開拓局長ヨリ審問サル點ニツキ應訴スヘキモノニシテ之ヲ拓否スルトキハ闕席手續ノ不利ヲ覺悟セサル可カラス

第二百一十二條 關與權及其ノ範圍、從物、疆界、給付竝ニ反對給付ニ關スル紛争及土地ヲ以テ賠償スルヤ地代ヲ以テ賠償スルヤノ問題ニ關スル紛争ハ夫レカ法律上ノ手段ニ訴ヘラレザルトキニ限り(第二一四條)直チニ上記ノ方法ヲ以テ裁決セサル可カラス之ニ反シテ補償ニ關スル紛争ノ裁決ハ法規上土地整理案ノ處分ヲ爲スマテ之ヲ延期スルヲ要ス但シ前者ニ屬スル紛争ト雖モ其ノ性質重要ナラサル場合又ハ和解ノ見込アルトキハ開拓局長ハ其ノ理性的裁量ニ依リ整理案審理ノトキマテ延期シテ合法公正ナル裁決ヲ下スコトヲ得開拓局長ハ又後者ニ屬スル紛争ト雖モ事件ノ關係上及事務ノ簡捷上適當ナリト認ムルトハ前掲ノモノトキ同時ニ即時ニ裁決スル權利ヲ有ス

第二百一十三條 開拓局長ノ面前ニ於ケル審理中ニ生スル當事者間ノ紛争ニシテ審理ノ遂行上之カ解決ヲ必要トスルモノニ對シテハ開拓局長ハ理由ヲ付シテ裁決ヲ下シ之ヲ其ノ紛争ノ當事者ニ通達セサル可カラス此ノ場合開拓局長ハ一切ノ審理及證據ヨリ得ラレタル自由ナル信念ニ從ツテ裁決スヘキモノトス而シテ此ノ裁決ニ對シテ法律的抗告ノ方法ナキトキハ開拓局長ハ終局的判決權ヲ有スルモノトス

整理ノ經過中ニ懈怠ヲ生スル場合ニモ本條ノ規定ヲ適用ス

第二百一十四條 第七條第二號ニ掲クル如キ紛争ニシテ和解ノ見込ナキ場合ニハ理由ヲ附シタル裁決ヲ以テ之ヲ法律上ノ手段ニ移ササル可カラス此ノ裁決ニハ之ニ關スル訴訟又ハ證據ノ提出ニ對シテ適當ナル期限ヲ付スルコトヲ要ス(特ニ土地無所有者ニ對シテ之ヲ適用ス)第二一三條第一項第二號ハ此處ニモ之ヲ適用ス此ノ裁決ハ通達ヲ爲スヲ要ス

指定ノ期間内ニ訴訟ヲ提起セス若ハ訴訟ノ繼續ヲ怠ルトキハ開拓局長ハ爭點ニ關シ必要ナル決定ヲ爲ス而シテ其ノ決定ハ其ノ事件ニ關シテ終局的效力ヲ有スルモノニシテ之ニ對シテハ法律的手段ニヨルモ其ノ要求ノ主張ニヨリテモ當事者ヨリ抗告スルコトヲ得ス此裁決ニハ懈怠若ハ遲滯ノ結果ヲ附記スルヲ要ス

第二百一十五條 換地處分ニ關スル紛争竝ニ從來ノ規定ニテ仲裁々判ニ付セラルル如キ事件若ハ共同施



設整理ノ際ニ生スル如キ事件ハ當事者ノ選出シタル共同訴訟代理人（第六七條第六九條第一項）ト協議シテ開拓局長之ヲ裁決ス此ノ裁決ヲ有效ナラシムル爲ニハ開拓局長ト共ニ少クトモ三名ノ構成員ノ列席ヲ必要トシ可否同數ナルトキハ開拓局長之ヲ決ス第二一三條第一項第二號ハ本條本項ニ之ヲ適用ス

提起セラレタル抗告カ採用セラルレハ其ノ土地協定ニ變更ヲ加ヘラルル如キ代理人竝ニ開拓局長カ其ノ參加ヲ偏頗ナリト認ムヘキコトヲ豫知シテ自ラ進ンテ自己ノ參加ヲ偏頗ナリト認ムル代理人ハ此ノ裁決ニ加ハルコトヲ得ス是レカ爲裁決不可能トナリ代理人ノ代表者ヲ立會ハシムルコトモ不能ニシテ又三名以上ノ代表者ヲ選定スルコト能ハサルトキハ開拓局長ニ於テ單獨ニ裁決ヲ爲ス審理ニ當リテ測量官吏（第一八一條第二項）ハ土地割當竝ニ道路網渠溝網及其ノ改良ニ關聯スル事件ヲ代表セサル可カラス

一八一七年六月二十日發布ノ總括委員會等ノ組織ニ關スル規則第一〇七條ノ規定（法令全書一六一頁）ハ本條ニ適用セス本規定ニ依レハ農業事件ニ關シテハ土地整理竝ニ審査ヲ委任セラルル委員ノ鑑定以外ニ他ノ鑑定人ノ鑑定ヲ必要トセス

### 第三節 證據 調 査

#### 第一款 證據調ニ關スル總則

第二百十六條 證據調ハ受訴開拓局長ニ於テ之ヲ爲ス第二二五條、第二二六條及第二七三條ノ場合ノ

證據調ハ他ノ開拓局長又ハ裁判所ニ於テ之ヲ行フコトヲ得

第二百十七條 當事者ハ證據調ニ立會フコトヲ得

第二百十八條 證據調ノ囑託ヲ受ケタル開拓局長又ハ判事ハ證據調ニ關スル審理書ノ原本ヲ囑託ヲ爲シタル開拓局長ニ送達スルヲ要ス

第二百十九條 外國ニ於テ證據調ヲ爲ス場合ニハ其ノ證據調ノ權限アル官廳ニ之ヲ囑託ス

獨逸國領事ニ依テ證據調ヲ爲シ得ルトキハ獨逸國領事館ニ之ヲ囑託ス

第二百二十條 外國官廳ニ證據調ヲ囑託スルトキハ開拓局長ハ舉證者ニ對シ囑託事項ヲ實行シ且之ヲ完結ス可キ旨ヲ指令スルコトヲ得開拓局長ハ又舉證者ニ對シ證據調ニ關シテハ外國ノ法律ニ準スル公文書ヲ提出ス可キコトヲ指令スルコトヲ得

前二項ノ場合ニ於テハ舉證者カ前掲ノ文書ヲ開拓局長ニ預ケ置クヘキ期間ヲ定ムヘキモノニシテ此ノ期間ノ經過後ニ於テハ此ノ文書利用ノ爲ニ訴訟手續ノ遲滯ヲ來タササルトキニ限り其ノ文書ヲ利用スルコトヲ得

第二百二十一條 受託開拓局長又ハ判事ハ受託後他ノ開拓局長又ハ裁判所ヲシテ證據調ヲ爲サシムルコトヲ便宜トスル理由ヲ生スルトキハ其ノ開拓局長又ハ裁判所長ニ證據調ヲ囑託スルコトヲ得此ノ



處分ハ之ヲ當事者ニ通告スルヲ要ス

第二百二十二條 受託開拓局長又ハ受託判事ノ面前ニ於ケル證據調中ニ争ヲ生シ證據調ノ續行上其ノ争ノ解決ヲ必要ト爲スニ拘ラス受託判事之ヲ裁決スル權能ナキトキハ受託開拓局長ニ於テ之ヲ裁決ス

第二百二十三條 當事者ノ一方又ハ双方カ證據調ノ期日ニ出頭セサルトキハ當事者ノ出頭ノ有無ニ拘ラス事件ノ性質ニ依リ之ヲ爲シ得ル程度ニ於テ證據調ヲ行フモノトス  
追加的證據若ハ證據調ノ補足モ之ヲ許ス

第二百二十四條 外國官廳ノ爲シタル證據調ニシテ受託開拓局ニ適用サルル法律ニ適スルトキハ外國ノ法律ニ照ラシ不完全ナル場合ニモ其ノ故ヲ以テ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

#### 第二款 實地檢證

第二百二十五條 開拓局長ハ實地檢證ヲ爲スニ當リ一人若ハ數人ノ鑑定人ヲ立會ハシムルコトヲ得  
受託開拓局長ハ他ノ開拓局長又ハ裁判所ニ實地檢證ヲ委任スルコトヲ得此ノ場合ニハ之ニ立會ハシムヘキ鑑定人ノ任命モ亦受託開拓局長若ハ裁判所ニ委託セラル

#### 第三款 人證

第二百二十六條 受託開拓局長ハ左記ノ場合ニ於テ他ノ開拓局長又ハ裁判所ニ證人ノ證據調ヲ委託ス

ルコトヲ得

一 事實ヲ捉ヘル爲ニ現場ニ付キ證人ノ訊問ヲ爲ス必要アリト認ムルトキ

二 所轄開拓局長ニ於テ證據調ヲ爲スニ重大ナル困難アルトキ

三 證人ニ於テ所轄開拓局長ノ面前ニ出頭シカタク差支アルトキ

四 證人カ所轄開拓局長ノ居所ヨリ遠隔ノ地ニ滞在スルトキ

第二百二十七條 官公吏ハ既ニ其ノ職ニ在ラサルモノト雖モ其ノ職務上秘密ニ附スヘキ事情ニ關シテハ其ノ服務監督官廳又ハ其ノ最後ノ服務監督官廳ノ許可アルニ非サレハ之ヲ證人トシテ訊問スルコトヲ得ス帝國宰相ニ在リテハ皇帝ノ許可ヲ要シ大臣ニ在リテハ各聯邦君主「ハンセ」自由市ノ元老院議員ニ在リテハ其ノ元老院ノ許可ヲ要ス

前記ノ許可ハ其ノ證言ノ舉示ニ依テ獨逸帝國又ハ各聯邦ノ安寧ヲ害スル虞アルトキニ限り之ヲ拒ムコトヲ得

前記ノ許可ハ受託開拓局長ヨリ之ヲ求メテ證人ニ通告スヘキモノトス

第二百二十八條 證人ノ召喚ハ開拓局長之ヲ爲ス

呼出狀ニハ左記各號ヲ記載セサル可カラス

#### 一 訊問事項



二 證言ノ爲ニ出頭スヘキ場所及期日竝ニ之ニ違背スルトキニ課セラレ可キ罰則ヲ併記セル召喚命令

第二百二十九條 現役陸海軍人（下士以下）ノ證人トシテノ召喚ハ軍衙ニ囑託シテ之ヲ行フ

第二百三十條 證人若シ正規ノ召喚ヲ受ケテ出頭セサルトキハ其ノ不參ニ因テ生シタル費用ヲ負擔セシメ且三百「マルク」以下ノ科料ニ處シ是ヲ納付セサルトキハ六週間以内ノ拘留刑ニ處ス而シテ之カ爲ニ告訴ヲ提起スルヲ要セス

再度出頭セサルトキハ更ニ前記ノ刑罰ヲ宣告シ證人ノ強制的引致ヲ命スルコトヲ得

此ノ決定ニ關シテハ仲裁々判所ニ抗告ヲ爲スコトヲ得

第二百三十一條 證人ノ不參ニシテ十分理由アリト認めラルル時ハ刑罰、費用負擔ノ言渡及強制引致ノ命令ヲ下スコトナシ後日十分ナル理由ヲ認めラルルトキハ證人ニ對シテ下サレタル命令ハ之ヲ取消スモノトス

證人ノ申告及申請ハ文書ヲ以テシ若ハ開拓局ノ調書ニ記録セシメ又ハ次ノ訊問日ニ口頭ヲ以テ爲スコトヲ得

第二百三十二條 帝國宰相、聯邦大臣、「ハンゼ」自由市ノ元老院議員、帝國最高官廳ノ高等官及各省ノ高官ハ其ノ所屬官廳所在地ニ於テ訊問シ他ノ地方ニ滞在スルトキハ其ノ滞在地ニ於テ之ヲ訊問ス

ヘシ

聯邦參議院ノ議員ハ參議院ノ所在地ニ滞在中ハ其ノ地ニ於テ獨逸立法議會ノ議員ハ其ノ會期中及其ノ議會所在地滞在中ハ其ノ地ニ於テ訊問スヘシ

前記ノ規定ニ依ラサルトキハ

帝國宰相ニ關シテハ皇帝ノ許可

大臣及聯邦參議員ニ關シテハ聯邦君主ノ許可

「ハンゼ」自由市ノ元老院議員ニ關シテハ其ノ元老院ノ許可

其ノ他ノ前掲ノ官吏ニ關シテハ其ノ直屬上司ノ許可

ヲ得ルヲ要ス

第二百三十三條 左ニ掲クルモノハ證言ヲ拒ム權利ヲ有ス

- 一 當事者ノ婚姻豫約者
- 二 當事者ノ配偶者及曾テ其ノ配偶者タリシ者
- 三 當事者ノ直系血族、直系姻族若ハ養子關係ニアルモノ又ハ三親等内ノ傍系血族又ハ二親等内ノ傍系姻族及曾テ二親等内ノ傍系姻族關係ニアリシ者
- 四 僧侶カ其ノ職務上打明ケラレタル秘密事實ニ關スルトキ



五 官廳、身分若ハ職業關係ニテ其ノ性質上秘密ニ付ス可キ事實若ハ法律上默秘ス可キコトヲ規定

サレタル事實ヲ打明ケラレタル者ニシテ默秘ノ義務アル事實ニ關スルトキ

第一號乃至第三號ニ掲クル者ニハ訊問前證言ヲ拒ム權利アルコトヲ提示スルヲ要ス

第四號第五號ニ掲ケタル者ノ訊問ニ於テハ假令證言ヲ拒マサルトキト雖モ默秘ノ義務ニ背反スルニ

非サレハ證言ヲ爲スヲ得サルコト明白ナル事實ニ及ホスコトヲ得ス

第二百三十四條 次ノ各項ニ關シテハ證言ヲ拒ムコトヲ得

一 其ノ訊問ニ答フルコトニヨリ證人若ハ之ト第二三三條第一乃至第二號ニ掲クル關係ヲ有スル者

ニ直接財産上ノ損害ヲ及ホス如キ訊問

二 其ノ訊問ニ答フルコトニヨリ證人若ハ第二三三條第一號乃至第三號ニ示サレタル證人ノ親族ノ

名譽ヲ毀損シ若ハ刑事裁判所ノ訴追ヲ招來スル危険アル如キ訊問

三 證人カ其ノ技術上ノ秘密若ハ職業上ノ秘密ヲ破ルニ非サレハ答辯スルコト能ハサル如キ訊問

第二百三十五條 證人ハ第二三三條第一號乃至第三號及第二三四條第一號ノ場合ニ於テモ左ノ各項ニ

關シテハ證言ヲ拒ムコトヲ得

一 法律的行爲成立ノ際證人トシテ召喚セラレタルトキハ其ノ法律行爲ノ成立及内容

二 家族ノ出生、婚姻又ハ死亡

三 親族關係ヨリ生スル財産事件ニ關スル事實

四 證人カ當事者ノ舊主又ハ代理人トシテ其ノ係争事件ニ關シテ爲サシメラレタル行爲

第二三三條第四號及第五號ニ示サレタル者ハ若シ默秘ノ義務ヲ免除セラレルトキハ證言ヲ拒ムコト

ヲ得ス

第二百三十六條 證言ヲ拒ム證人ハ拒否ノ理由トナル事實ヲ其ノ訊問ノ爲ニ定メラレタル期日前ニ文

書ヲ以テ開陳スルカ若ハ開拓局ノ調書ニ登記スルカ又ハ訊問ノ當日ニ之ヲ上記ノ調書ニ登記シ且立

證セサル可カラス

之ヲ立證スルニハ第二三三條第四號及第五號ノ場合ニ於テハ取り交ハサレタル職務上ノ誓約ヲ引證

スルコトヲ以テ足ル

證人ニシテ書面ニ依リ又ハ開拓局ノ調書ニ拒否ノ表示ヲ爲シタルモノハ其ノ訊問ノ爲ニ定メラレタル

期間ニ出頭スル義務ヲ有セス

當事者ハ開拓局長ヨリ證人ノ拒絶ニ付キ通知ヲ受ケ且之ニ關スル聽取ヲ爲ス當事者ノ陳述ハ之ヲ調

書ニ記載スルヲ要ス

第二百三十七條 拒否ノ法律上ノ適否ニ付テハ開拓局長之ヲ裁決ス

右ノ裁決ニ對シテハ仲裁々判所ニ抗告スルコトヲ得



第二百三十八條 證人若シ理由ヲ述ヘスシテ證言若ハ宣誓ヲ拒否シ又ハ申立テタル理由カ法律的ニ正當ナラスト言渡サレタル後證言又ハ宣誓ヲ爲スコトヲ拒ムトキハ告訴ヲ俟タスシテ其ノ拒否ニ因テ生シタル費用ノ負擔竝ニ三百「マルク」以下ノ科料ヲ課シ是ヲ納付セサルトキハ六週間以内ノ拘留ニ處ス

再度拒否ヲ爲ストキハ證言ヲ強要スルタメ拘留ヲ命ス但シ此拘留ハ開拓局長ノ受訴訴訟ノ終了期ヲ超ユルヲ得ス本項ニハ強制執行手續ノ拘留ニ關スル規定ヲ準用ス  
前記ノ裁決ニ對シテハ仲裁々判所ニ抗告スルコトヲ得

第二百三十九條 召喚ニ應セス（第二三〇條、第二三一條）又ハ證言ヲ拒否スル（第二三八條）場合ニ於ケル法律上ノ處分ハ所管開拓局長之ヲ行フ而シテ一般ニ許サレタル範圍ニ於テ再ヒ其ノ處分ヲ取消スコトヲ得

受託開拓局長又ハ受託裁判所モ右ト同様ノ權能ヲ有シ委託完結ノ後ト雖モ前項ニ掲クル處分ノ取消ヲ爲ス權能ヲ有ス

第二百四十條 各證人ハ別段ノ定メナキ限リ單獨ニ宣誓ヲ行フ  
當事者ハ宣誓ヲ爲ササルコトヲ得

第二百四十一條 宣誓ハ訊問後ニ於テ之ヲ爲ス多數ノ證人アルトキハ同時ニ宣誓セシムコトヲ得宣誓

ヲ爲スニハ證人カ良心ニ從ツテ眞實ヲ述ヘタルコト及何事ヲモ默秘セサリシ旨ヲ誓ハシム

第二百四十二條 左ニ掲クル者ハ宣誓セシメスシテ訊問ヲ行フ

一 訊問ノ時十六歳ニ達セサル者又ハ知能ノ發達不十分ナル爲若ハ低能ニシテ宣誓ノ本旨及ヒ意義ヲ完全ニ了解シ得サル者

二 刑法ノ規定ニ據リ證人トシテ宣誓ノ上訊問セラルル資格ナキ者

三 第二三三條第一號乃至第三號及第二三四條第一號及第二號ニ依リ證言ヲ拒否スル權利アル者ニシテ之ヲ行使セサルトキ但シ第二三四條第一號及第二號ニ掲ケタル者ニアリテハ證言拒否ノ權利アル事實ニ付キテ訊問サルトキニ限ル

四 訴訟ニ於テ當事者ノ一方ノ裁決ノ結果ニ法律上ノ利害關係ヲ有スル者及訴訟ニ關聯シタル請求權ノ委託ヲ受ケタル者（保證ノ義務ナキトキモ亦同シ）

開拓局長ハ第三號及第四號ニ掲クル者ニ對シ宣誓ヲ命スルコトヲ得

第二百四十三條 各證人ノ訊問ハ箇別的ニ且ツ後ニ訊問セラル可キ證人ヲ退席セシメテ之ヲ行フ  
證人ノ供述ニ矛盾アルトキハ之カ對質ヲ爲スコトヲ得

第二百四十四條 訊問ハ證人ノ氏名、年齢、宗派、身分又ハ職業及ヒ住所ノ質問ヲ以テ始ム而シテ必要ナル場合ニハ證人カ其ノ事件ニ關シテ信用サルル立場ニアルヤ否ヤ就中當事者トノ關係ニ付テ質



問ヲ爲ササル可カラス

第二百四十五條 開拓局長ハ訊問事項ニ付キテ證人ノ知悉スルところヲ詳細ニ供述セシメサル可カラ  
ス

證人ノ供述ヲ明確ニシ補足スル爲竝ニ證人ノ之ヲ知り得タル動機ヲ探究スル爲ニ必要ナルトキハ更  
ニ他ノ質問ヲ發ス可シ

第二百四十六條 當事者ハ訊問者ニ對シ證人ニ事件又ハ證人ノ關係ヲ明白ナラシムル上ニ有用ナリト  
認ムル質問ヲ爲スコトヲ請求スル權利ヲ有ス

開拓局長ハ證人ニ對シ直接質問スルコトヲ當事者ニ許スコトヲ得而シテ其ノ辯護士ニモ其ノ請求ア  
ルトキハ之ヲ許スコトヲ要ス

發問ノ適否ニ付キ疑義アルトキハ開拓局長之ヲ裁決ス

受訴開拓局長ニ屬スル右ノ權能ハ受託開拓局長若ハ受託裁判所亦之ヲ有ス

第二百四十七條 受訴開拓局長、受託開拓局長又ハ受託裁判所ハ其ノ裁量ヲ以テ證人ノ再訊問ヲ命ス  
ルコトヲ得

受託開拓局長又ハ受託裁判所カ訊問ヲ爲ス際當事者ノ申出テタル質問ヲ爲スコトヲ拒ミタルトキハ  
本件所管ノ開拓局長ハ右ノ質問ニ付キ證人ノ追加訊問ヲ命スルコトヲ得

再訊問若ハ補足的訊問ノ際ニハ訊問者タル開拓局長又ハ判事ハ證人ニ再度ノ宣誓ノ代リニ以前爲シ  
タル宣誓ヲ引用シテ其ノ供述ノ正確ナルコトヲ保證セシムルコトヲ得

第二百四十八條 各證人ハ手數料規程ニ從ツテ日當ヲ請求シ又ハ旅費及滞在費ノ代償ヲ請求スルコト  
ヲ得

#### 第四款 鑑定

第二百四十九條 鑑定人ニ依ル證據ニ關シテハ以下ノ條文竝ニ整理手續ニ關スル總則ニ於テ別段ノ規  
定ナキ限り人證ニ關スル規定ヲ準用ス

第二百五十條 立會ハシムヘキ鑑定人ノ選定及其ノ員數ノ決定ハ開拓局長之ヲ爲ス開拓局長ハ鑑定人  
ノ任命ヲ一人ニ限定スルコトヲ得又初メ任命シタル鑑定人ノ代リニ他ノ者ヲ任命スルコトヲ得

特定ノ鑑定人カ公任セラレ居ルトキハ特殊ノ事情ノ爲必要アルトキニ限り他ノ鑑定人ヲ選定スヘシ  
開拓局長ハ鑑定人トシテ訊問スルニ適當ナル者ヲ指定スヘキコトヲ當事者ニ催告スルコトヲ得

一定ノ者ヲ鑑定人トスルコトニ當事者ノ合意アル場合ニ於テモ開拓局長ニヨル鑑定人ノ指名ハ必ス  
シモ之ニ從ハシメラルモノニ在ラス

第二百五十一條 開拓局長ヲ忌避シ得ルト同様ノ理由ヲ以テ鑑定人ヲ忌避スルコトヲ得但シ鑑定人カ  
證人トシテ訊問セラレタルノ故ヲ以テ忌避ノ理由ト爲スコトヲ得ス



忌避ノ申請ハ開拓局ニ於テ鑑定人ノ訊問ヲ行フ場合ニハ其ノ訊問前ニ書面ニ依ル鑑定ニアリテハ鑑定書提出前ニ之ヲ爲スヘシ此ノ期限後ニ提起セラレタル忌避ノ申請ハ期限内ニ忌避ノ理由ヲ開陳スルヲ得サリシコトカ立證サルルトキニ限り之ヲ認ム忌避ノ申請ハ調書ニ記録スルコトニヨリテ之ヲ爲スコトヲ得

忌避ノ理由ハ之ヲ立證スルヲ要ス宣誓ニ代ルヘキ保證ハ當事者ニ之ヲ許サス

忌避ノ裁決ハ開避局長之ヲ爲シ豫メ當事者ノ意見ヲ聽取スルヲ要セス

忌避ヲ理由アリトスル決定ニ對シテハ上訴ヲ爲スコトヲ得ス忌避ヲ理由ナシトスル決定ニ對シテハ仲裁々判所ニ抗告スルコトヲ得

第二百五十二條 鑑定人トシテ指命セラレタル者ハ必要ナル鑑定ヲ爲ス爲ニ公ニ任命セラレタルトキ若ハ鑑定ヲ爲スニ必要ナル學術、技術、營業上ノ智識ヲ有シテ公然之ヲ職業トシ又ハ之ヲ職業トスルコトヲ公認セラレ若ハ認許サレタル者ハ其ノ指命ニ服セサル可カテス

土地開拓官廳若ハ裁判所ニ既ニ鑑定ヲ爲ス旨ヲ表明シタル者モ亦鑑定ヲ行フ義務ヲ有ス

第二百五十三條 鑑定人ハ證人カ證言ヲ拒ミ得ルト同一ノ理由ニ因リ鑑定ヲ拒ムコトヲ得開拓局長ハ又他ノ理由ヨリ鑑定人ニ鑑定ヲ爲ス義務ヲ免スルコトヲ得

官吏ヲ鑑定人トシテ訊問スルニ當リ官吏ノ監督官廳ニ於テ其ノ訊問カ公務上不都合アリト認ムルト

キハ之ヲ行フコトヲ得ス

裁判ノ判決ニ關與シタル者ハ其ノ判決事項ニ關スル問題ニ付鑑定人トシテ訊問ヲ爲スコトヲ得ス

第二百五十四條 鑑定ノ義務アル鑑定人カ出頭セス又ハ鑑定ヲ拒ミタルトキハ其ノ費用ヲ支出セシメ三百「マルク」以下ノ罰金ヲ課スヘシ重ネテ命ニ服セサルトキハ更ニ六百「マルク」以下ノ罰金ヲ課スコトヲ得

前項ノ決定ニ對シテハ之ヲ仲裁々判所ニ抗告スルコトヲ得

第二百五十五條 鑑定人ノ宣誓ハ鑑定前若ハ鑑定後ニ於テ爲スヘキモノニシテ鑑定人ハ公平ニ且ツ良心ニ從ツテ命セラレタル鑑定ヲ行フ可キコト若クハ行ヒタル旨ヲ宣誓セサル可カラス

鑑定人カ同一種類ノ鑑定ヲ爲スタメ一般的ニ宣誓ヲ爲シ居ルトキハ己ニ爲シタル宣誓ヲ引用スルヲ以テ足ル

第二百五十六條 書面ニ依ル鑑定ヲ命セラレタルトキハ鑑定人ハ署名シタル鑑定書ヲ開拓局長ニ提出セサル可カラス

開拓局長ハ鑑定書ヲ説明セシムル爲ニ鑑定人ノ出頭ヲ命スルコトヲ得

第二百五十七條 開拓局長ハ鑑定ヲ不充分ト認ムルトキハ同一鑑定人若ハ他ノ鑑定人ニ命シテ新ニ鑑定ヲ爲サシムルコトヲ得



鑑定ヲ爲シタル後ニ其ノ鑑定人カ忌避セラレタルトキハ開拓局長ハ他ノ鑑定人ニ鑑定ヲ命スルコトヲ得

第二百五十八條 鑑定人ハ現行法規ニ據リ日當、經費其ノ他ノ相當ノ報酬金ヲ請求スル權利ヲ有ス

第二百五十九條 觀察上特殊ノ専門知識ヲ必要トセシ如キ過去ノ事實又ハ状態ヲ證明スル爲特殊ノ専門家ヲ訊問スルトキニ限り人證ノ規定ヲ適用ス

第五款 書 證

第二百六十條 成規ノ方式ニ依ツテ公ノ官廳カ其ノ權限内ニ於テ作成シタル文書又ハ公ノ信用ヲ有スル者カ其ノ職權内ニ於テ作成シタル文書(公文書)ニシテ官廳又ハ認證人ノ面前ニ於テ爲サレタル陳述ニ關スルトキハ官廳又ハ認證人ニ依テ記録セラレタル事項ノ完全ナル證據ヲ成ス

事實カ誤マリ記録セラレタルトキハ其ノ證據ヲ舉クルコトヲ得

第二百六十一條 私人書ハ發行人之ニ署名シ又ハ裁判所若ハ公證人ニ認證セラレタル手記ヲ施セルトキニ限り發行人カ之ニ掲クル陳述ヲ爲シタルコトノ完全ナル證據ヲ成ス

第二百六十二條 官廳カ發行セル公文書ニシテ公ノ命令、處分又ハ裁決ヲ記載スルモノハ其レ等ノ内容ノ完全ナル證據ヲ爲ス

第二百六十三條 第二六〇條及第二六二條ニ指示スル以外ノ内容ヲ有スル公文書ハ夫レニ立證サルル

事實ノ完全ナル證據ヲ成ス

各聯邦法律ニ於テ之ヲ禁止若ハ制限セサル限り立證セラレタル事實ノ誤謬ヲ證據立ツルコトヲ得  
證書カ官廳又ハ公證人自身ノ認知ニ基カサルトキハ第一項ノ規定ハ各聯邦法律ニ依リ其ノ證書ノ證據力カ必スシモ直接認知ヲ必要トセサルコト明ラカナルトキニ之ヲ適用ス

第二百六十四條 抹消、削除、挿入其ノ他ノ外觀上ノ缺點カ其ノ文書證據力ノ全部又ハ一部ヲ消滅セシメ又ハ減殺スル程度ハ開拓局長ノ自由ナル意向ニ從ツテ之ヲ裁定ス

第二百六十五條 關係者若シ民法ノ規定ニ依リ文書ノ引渡又ハ提出ノ義務アルトキハ開拓局長ノ請求ニ應シテ文書ヲ提出ス可キ義務ヲ有ス又其ノ舉證ノ爲ニ自カラ關係ヲ有スル文書ニシテ所有スルモノノ提出ヲ爲ス義務ヲ有ス

第二百六十六條 開拓局長若シ文書ヲ以テ證明セントスル事實ヲ重大ナリト認ムルトキハ關係者カ其ノ文書ヲ所持スル旨ヲ自白スルトキ又ハ關係者カ訊問ニ關シテ陳述ヲ爲ササルトキニハ文書ノ提出ヲ命ス

第二百六十七條 關係者若シ其ノ文書ヲ所有スルコトヲ首肯セサルトキハ次ノ點ニツキ宣誓ヲ行ハサル可カラス

周到ナル穿鑿ヲ爲シタル結果其ノ文書ヲ所有シ居ラサルコトヲ確信スルコト、其ノ文書ヲ使用セシ



メサル意志ヲ以テ之ヲ紛失シタルモノニアラサルコト及其ノ文書ノ所在ヲモ知ラサルコト  
 但シ此ノ宣誓方式ハ事件ノ狀況ニ應シテ之ヲ變更スルコトヲ得共同訴訟人、法定代理人、十六歳以  
 上ノ未成年者、精神耗弱者、浪費者及常習暴飲者トシテ公權ヲ剝奪セラレタル成年者及ヒ一時後見  
 ニ付セラレ居ル成年者ニ宣誓ヲ爲サシムルニハ民事訴訟法第四七二條乃至第四七四條ノ規定ヲ準用  
 ス

公ノ官廳カ文書ヲ提出セサル可カラサルトキハ其ノ文書ノ保管ヲ委任セラレタル官吏右ノ宣誓ヲ爲  
 ス

第二百六十八條 關係者若シ文書ノ提出若ハ宣誓執行ノ命令ニ從ハスシテ其ノ文書ノ謄本ヲ差出シタ  
 ル場合ニハ其ノ謄本ヲ正本ト看做ス謄本ヲ差出ササルトキハ其ノ文書ノ性質及内容ニ關スル陳述ヲ  
 證據トシテ採用スルコトヲ得

第二百六十九條 文書カ第三者ニ所持サルトキハ之ヲ提出セシムル爲一定ノ期間ヲ定ム

第二百七十條 第三者ハ舉證者ノ相手方ト同一ノ理由ニ因リ文書ヲ提出スルノ義務ヲ有ス第三者ニ對  
 シテハ訴訟ノ方法ニヨツテ其ノ提出ヲ強要スルコトヲ得

第二百七十一條 文書ニ依リ立證ス可キ事實カ重大ニシテ申立カ前條ノ規定ニ適合スルトキハ文書提  
 出ノ爲ニ期間ヲ定ムルヲ要ス

第二百七十二條 關係者ノ主張ニ據リ文書カ公ノ官廳又ハ官吏ニ所持サルルコトヲ認メラルルトキハ

官廳又ハ官吏ニ依頼シテ之ヲ提出セシム

此ノ規定ハ當事者カ法律上ノ規定ニ從ヒ開拓局長ノ協力ヲ俟タスシテ作成シタル如キ文書ニハ之ヲ  
 適用セス

官廳又ハ官吏若シ第二六五條ニ基キ提出ノ義務ヲ負ハシメラル場合ニ文書ノ送付ヲ拒ムトキハ第二  
 六九條乃至第二七一條ノ規定ヲ進用ス

第二百七十三條 重大ナル障礙ノ爲又ハ文書カ重要ニシテ紛失又ハ毀損ノ虞アル爲受訴開拓局長ノ許  
 ニ文書ヲ提出シ得サルトキハ之ヲ他ノ開拓局長又ハ裁判所ニ提出スルコトヲ得

第二百七十四條 公文書ハ原本若ハ公文書タル條件ヲ具備スル認證謄本ヲ以テ之ヲ提出スルコトヲ得  
 但シ原本ヲ提出ス可キコト又ハ其ノ原本ノ提出ヲ妨クル事實ヲ開陳シ及之ヲ立證スルコトヲ命スル

コトヲ得此命令ニ違反スルトキハ開拓局長ハ自由ナル裁量ニヨリ其ノ認證謄本ニ如何ナル證據力ヲ  
 付與スヘキヤヲ決定ス

第二百七十五條 方式及内容ニ於テ公ノ官廳又ハ公ノ信用アル人ニ作成セラレタリト見ラルル文書ハ  
 之ヲ真正ナルモノト推定ス

開拓局長若シ其ノ文書ノ眞僞ニ疑ヲ有スルトキハ職權ヲ以テ之ヲ作成シタル官廳又ハ個人ノ證明ヲ



求ムルコトヲ得

第二百七十六條 外國官廳又ハ公ノ信用アル外國人ニ作成セラレタリト見ラルル文書ヲ詳細ナル證明  
ナクシテ眞正ナルモノト看做ス可キヤ否ヤハ其ノ場合ノ情況ニ據リ之ヲ決定ス  
右ノ文書ノ眞僞ノ證明ハ帝國領事又ハ公使ノ認證ヲ以テ足ルモノトス

第六款 宣誓履行ノ手續

第二百七十七條 宣誓ハ宣誓義務者自ラ之ヲ爲ササル可カラス

第二百七十八條 宣誓義務者若シ受訴開拓局長ノ許ニ出頭シ得サル支障アリ若ハ其ノ住居ヨリ甚シク  
遠隔ノ地ニアルモノハ他ノ開拓局又ハ裁判所ニ出頭シテ宣誓ヲ行フコトヲ得

第二百七十九條 開拓局長ハ宣誓ヲ爲ス前ニ宣誓義務者ニ適宜ノ方法ヲ以テ宣誓ノ意義ヲ指示セサル  
可カラス

第二百八十條 宣誓ヲ爲スニハ先ツ開拓局長又ハ判事ヨリ

「貴殿ハ此處ニ全知全能ノ神ニ誓フモノナリ」ト前提シ

宣誓義務者ニ於テ

「予ハ神明ニカケテ誓フ」(宣誓方式)

ト述ヘ宣誓者ハ宣誓ヲ爲ス際右手ヲ舉ケサル可カラス

多數人カ一齊ニ宣誓ヲ爲ストキハ各宣誓義務者ハ別々ニ前記ノ宣誓方式ヲトル可キモノトス

第二百八十一條 (削除)

第二百八十二條 文字ヲ書キ得ル啞者ハ宣誓方式ヲ含ム宣誓文ヲ筆寫シ之ニ署名スルコトニ依リ宣誓  
ヲ爲ス

文字ヲ書シ得サル啞者ハ通譯者ノ助ケニヨリ符牒ヲ以テ宣誓ヲ爲ス

第二百八十三條 法律上宣誓ニ代ヘテ他ノ誓約方式ヲ使用スルコトヲ許サレタル宗教團體ノ成員カ其  
ノ團體ノ誓約方式ニ從ツテ供述スルトキハ之ヲ宣誓ト同様ニ看做ス

第七款 證據保全

第二百八十四條 證據資料ノ消滅若ハ其ノ利用ヲ困難ナラシメラルル虞アリト認ムルトキハ證據保全  
ノ爲見證及ヒ證人竝ニ鑑定人ノ訊問ヲ行フ

第二百八十五條 證據保全ノ申請ハ開拓局長ニ之ヲ爲ス可キモノニシテ調書ニ記録セシメテ口頭ニ依  
リ陳述スルコトヲ得

第二百八十六條 前條ノ申請ニハ左記ノ事項ヲ包含セサル可カラス

一 證據調ヲ爲ス可キ事實ノ表示

二 訊問ス可キ證人及鑑定人ニ關スル證據資料ノ表示



三 證據資料カ消滅シ又ハ其ノ利用ヲ困難ナラシメラルル虞アリト爲ス理由ヲ表示シ且此ノ理由ヲ立證スルヲ要ス

第二百八十七條 證據調ハ第二八四條ノ條件ヲ具備セサルトキト雖相手方ニ或ル權利ヲ發生セシムル如キ物件若ハ工事ノ瑕疵カ確認サルルトキ又ハ問屋、運送取扱人、倉庫營業人及運送人ニ證明ノ義務アル如キ貨物ノ狀態カ確認サルルトキハ之ヲ請求スルコトヲ得

物件ノ取得者若シ讓渡人ニ其ノ瑕疵ヲ通告シ若クハ瑕疵ノ爲ニ其ノ物件ノ受領ヲ拒ミタルトキハ讓渡人ハ第一項ノ規程ニ從ヒ證據調ヲ申請スルコトヲ得依頼者カ工事ノ請負人ニ其ノ瑕疵ヲ通告シ又ハ瑕疵アルタメ工事ノ引渡ヲ拒ミタルトキハ工事ノ請負人モ同様ニ右ノ申請ヲ爲スコトヲ得

第二五八十八條 申請ニ關スル裁決ハ口頭審理ヲ經スシテ之ヲ爲スコトヲ得  
申請ニ許可ヲ與フル裁決ニハ證明ス可キ事實竝ニ訊問ス可キ證人及ヒ鑑定人ノ名稱ノ下ニ舉證事項ヲ表示スヘシ此ノ裁決ニ對シテハ異議ヲ申立ツルコトヲ得ス

第二百八十九條 證據調ハ一般ニ其ノ舉證事項ノ取調ニ適用サルル規定ニ從ツテ之ヲ爲ス  
證據調ニ關スル調書ハ開拓局ノ訴訟記録ト共ニ保管ス

第二百九十條 各當事者ハ其ノ訴訟ニ於テ證據審理ヲ利用スル權利ヲ有ス

第二百九十一條 申請者カ相手方ヲ表示セサルトキハ申請者ノ過失ナクシテ相手方ヲ表示スル能ハサ

ルコトヲ疏明スルトキニ限り其ノ申請ヲ許ス申請ヲ許可サルルトキハ不分明ナル相手方ノ爲證據調ノ際其ノ權利ヲ保護スル目的ヲ以テ代理人ヲ任定スルコトヲ得

#### 第四節 測量及地價ノ評價

第二百九十二條 土地整理ノ爲特ニ土地ノ測量及評價ヲ必要トスルトキハ開拓局長ハ其ノ測量ヲ委託スヘキ測量官ヲ選定ス開拓局長ハ一般ニ測量スヘキ土地ノ境界、部類及區域ヲ知ラシメ又ハ其ノ土地ノ中ノ各筆及所有關係ヲ知ラシムル爲此等ノ知識及經驗ヲ有スル者ヲ測量官ニ附シ且ツ當事者ノ申請アルトキハ之ニ對シテ宣誓ヲ爲サシム更ニ此測量官ニハ人夫及其ノ他ノ必需品ノ指示及供給ヲ爲ス

第二百九十三條 開拓局長ハ又接壤地々主トノ境界ノ正確ヲ期スル爲測量ヲ行フコトニツキ其等ノ地主ニ通告セサル可ラス而シテ其ノ境界ノ測量ニ立會フヤ否ヤハ地主ノ任意ニ委セサル可ラス  
(境界ノ測定ヲ行フ際ニハ測量官ヨリ地主ニ通告スルモノトス)

測量官ハ通告ヲ發シタルコト立會ヒタル者ノ氏名及其ノ立會者ノ陳述事項ヲ測量調書ニ記載スル義務ヲ有ス

第二百九十四條 土地ノ評價ヲ爲スニ當リテモ測量官ノ指揮ノ下ニ所定ノ等級順序ニ從ツテ之ヲ行ヒ其ノ結果ヲ調書ニ記入シ尙之ヨリ必要ナル事項ヲ抄出シテ測量表及評價表ニ轉載セサル可ラス



第二百九十五條 測量若クハ評價ノ際ニ測量官カ關與スヘキ特別ノ事情起ルトキハ開拓局長ハ書面ニ  
ヨル明確ナル指令ヲ以テ之ヲ測量官ニ委任セサル可カラス

第二百九十六條 測量官ハ前條ノ指令及一八七一年三月二日並ニ一八八五年八月二十六日發布ノ耕地  
(土地)測量規則ニ從ツテ評價ヲ爲ス義務ヲ有ス若シ測量中境界又ハ所有權ニ付當事者間ニ爭議ヲ生  
スルトキハ測量官ハ其ノ爭點ヲ測量調書ニ明白ニ記載スルト同時ニ地圖ニ記註ヲ爲ササル可カラス  
而シテ若シ更ニ詳細ナル指令若クハ訓令ヲ必要トスルトキハ之ヲ開拓局長ニ申請スルコトヲ要ス

第二百九十七條 地價評定ノ事務即チ地方別ニ定メラレタル一定ノ等級ニ從ツテ行ハルル農業地ノ評  
價事務カ調停ノ目的タル土地ノ個別的評價ニ關スルモノナルトキハ一般ニ其ノ事務ヲ委託サレタル  
モノ若クハ特ニ其ノ場合ニ限ツテ委任サルル二名ノ特定者ヲシテ之ヲ爲サシム

第二百九十八條 前條ノ事務ニ對シ同一郡内若ハ隣接郡内ニ於テ特定評價人カ委囑サレ居ルトキニモ  
當事者ハ其ノ特定者中ヨリ任意ニ選擇スルコトヲ得ルモノニシテ原告及被告ハ各一名ノ評價人ヲ選  
定スルモノナリ

第二百九十九條 前條ノ場合ニ該當セサルトキ又ハ當事者カ其ノ選定權ヲ拋棄スルトキハ開拓局長ニ  
於テ前條ノ評價人ヲ任命ス但シ當事者ハ第二五一條、第一六九條、第一七〇條、第一四三條及第二  
四九條ノ規定ニ依テ拒否セラレ又ハ無宣誓ノ儘訊問セラルルカ如キ評價人及其ノ他ノ鑑定人ヲ認諾

スルノ義務ナシ

第三百條 一旦任命セラレタル評價人ハ事件ノ進行中當事者ノ地位及利害ニ變化ヲ生スルト否トニ拘  
ラス又ハ他ノ關係者ノ參加ニヨツテ當事者ノ數ヲ増シ若クハ利害カ分散スルコトアルトモ其ノ事件  
ノ進行中生シタル總テノ評價ニ從事セシメラルルモノトス

第三百一條 評價人カ義務ヲ履行セス若クハ明ニ無能ナリト認メラルルトキニ限り當事者ノ請求又ハ  
開拓局自身ノ意志ニ依リ之ヲ解任スルコトヲ得

第三百二條 開拓局長ハ其ノ職權ニ從テ評價人ヲ指揮シ看過サレタル事情アルトキハ之ヲ注意シ若シ  
評價人ノ意見一致セサルトキハ之ニ裁決ヲ與フル等ノ點ニ於テ地價ノ評價ニ關與スルモノトス

第三百三條 地價評價ノ際ニ採用サルル等級ハ地價評價ノ決定ヲ行フ場合ト同様評價人及其ノ相談役  
立會ノ上見證ノ結果ニ從ヒ且ツ開拓局長ノ一般的裁量ニ依ツテ決定セラルルモノトス  
各等級ノ價值ノ評價及各等級相互ノ關係ノ決定モ亦開拓局長ノ行爲ニ屬ス

第三百四條 工作的營造物、山林、泥炭床其ノ他實際農業者ノ精知セサル特殊ノ知識ヲ要スル目的物  
ノ評價ニシテ夫レカ獨立ノ評價ナルトキハ開拓局長ニ指定サレタル斯種ノ事項ニ精通スル鑑定人ヲ  
シテ之ヲ行ハシム

第三百五條 測量簿、評價簿及地圖ハ之ヲ當事者ニ提示スルヲ要ス開拓局長ハ之ヲ一々各當事者ト共



ニ踏査シ必要ナル場合ニハ單ニ圖面ニ就キテノミナラス現地ニツキテ各當事者ニ其ノ所有狀態ヲ確  
メ且提示サレタル面積及評價ヲ當事者ニ示シテ目的物竝ニ其ノ中ニ存スル所有物及所有關係ニツキ  
テ彼等ノ陳述ヲ聽取セサル可カラス

第三百六條 非難ヲ生シタルトキハ直チニ之ヲ穿鑿シ若シ誤リアルトキハ之ヲ正ササル可カラス其ノ  
非難不當ナルトキハ之ヲ闡明シ關係者ヲシテ充分夫レヲ信セシムルヤウ努メサル可カラス

第三百七條 前條ノ方法ニヨリテ其ノ目的物ニ關スル意見ノ一致ヲ得ルコト能ハサルトキハ開拓局長  
ハ當事者双方ノ相反スル主張及其ノ理由ヲ聽取シテ其ノ反對意見ノ理由ヲ調査シ更ニ必要ナル場合  
ニハ他ノ鑑定人ヲシテ再審査ヲ爲サシメタル上第二一三條ニ從ツテ裁決ヲ下ササル可カラス

第三百八條 地價ノ評價ニ關シテ紛争ヲ生スルトキハ第二一五條ニ依リ開拓局長之ヲ裁決ス

遠隔ノ地ニアル官廳ニ依ルヨリ寧ロ農業ニ精通スル者ニヨリ現地ニツキ見證ヲ行フテ決定スルヲ可  
トスル如キ他ノ事件ニ於テモ第二一五條ニ從ヒ開拓局長之ヲ裁決スルコトヲ得

第三百九條 見證若クハ評價ヲ必要トスル如キ事件ニシテ地方事情ノ專門的調査、觀察判斷又ハ其ノ  
專門的推斷ヲ要スルモノ就中附屬草地ノ面積及收益力ヲ決定スル如キ事件ニ在リテモ各當事者（當  
事者多數ナルトキハ參加權ニ依ル多數決ヲ以テ）ハ其ノ場合ニ生スル問題ヲ第二一五條ニ依ル決議  
ニヨツテ裁決セラレンコトヲ請求スル權利ヲ有ス但シ當事者ノ一方其ノ決議ニ同意セサルトキハ所

轄開拓局長之ヲ裁決ス其ノ裁決ニ對シテハ抗告スルコトヲ得ス

第三百十條 地役權ノ解除、土地ノ分割及綜合ノ場合、工作的營造物、山林及泥炭床ノ評價ニ關シテ  
ハ各當事者ノ合意ヲ以テノミ第二一五條ニ從ツテ決議ヲ行フヘキモノトス

#### 第五節 調停案ノ作成及提示

第三百十一條 土地整理計畫ノ作成ニ要スル總テノ資料調ヒタルトキハ開拓局長ハ案ノ作成ニ着手セ  
サル可カラス此ノ場合所有地ノ相續權、土地附屬物、境界、參加權等ニ關シテ容易ニ決定シ難キ先  
決的問題アルトキハ開拓局長ハ其ノ紛議カ主要ナル調停ニ關スルヤ單ニ附帶的事項ニ關スルモノナ  
リヤヲ考査セサル可カラス後者ノ場合ニハ其ノ土地所有者ノ賠償ニ關スル案ヲ作成シ附帶事項ハ其  
ノ紛議ノ爲ニ着手シ得サル場合ニハ紛議ノ解決スルマテ之ヲ中止スルコトヲ得前者ノ場合ニハ開拓  
局長ハ少クモ耕地及牧草地ノ爲ニハ牧草地ノ分割ヲ中止スルコトニヨリテ其ノ調停ヲ實行シ得サル  
ヤ或ハ其ノ紛議カ總テ解決シタル上ニ於テ案ノ作成ニ着手シ得ルモノナリヤヲ考査スルヲ要ス之レ  
ハ多クノ場合例ヘハ全部ノ者ニアラスシテ一人若クハ少數者ノ間ニ相續地若クハ分割參加權ニ關ス  
ル紛議アルトキ又ハ境界若ハ附屬物ニ關スル紛争ニシテ大ナル目的物ナキカ或ハ單ニ夫レカ山林若  
ハ牧場ニ關係シ居ルトキニハサシタル面倒ナク又大ナル費用ヲ要セスシテ行フコトヲ得ヘシ

第三百十二條 係争物件カ調停ノ主要目的物ニ比シテ重要ナラサルカ又ハ一定ノ期間内ニ（本期間内



ニ紛議解決ノ見込ナキトキ、調停ヲ行フコトカ利益アリト認めラルルトキニモ案ノ作成ニ着手スルコトヲ得斯ノ如キ場合ニ或者ノ主張スル權利ニ反シテ案ヲ作成スルトキハ此ノ者ノ他ノ賠償ハ一般ニ現物若クハ地代ヲ以テ留保ス

第三百十三條 前條ノ如キ現物賠償ノ一般的留保ヲ爲スニ當リテハ現物賠償ニ充ツヘキ物件ハ充分其ノ種類、状態及大サヲ確定スルヲ要ス

第三百十四條 第三一二條ノ場合ニ於ケル留保ハ現物ノ留保ヲ爲スコトカ其ノ物件ノ現在ノ状態ニヨリ適當ナラスト認めラルルトキニノミ一時資金若クハ地代ヲ以テ代償スヘキモノトス但シ此ノ場合ニ於テモ紛議カ法律の効力アル解決ヲ見タル上ハ當事者ニ對シ調停案ヲ破壊スルコトナク又此案ニ基ク經濟的施設ニ損害ヲ及ホスコトナク現物賠償ヲ爲サレ得ルニ至リタル旨通告スルヲ要ス而シテ此通告ヲ發セラレタルトキハ右ノ者ニ現物ノ賠償ヲ爲サルヘキモノトス

第三百十五條 事件カ案ヲ作成スルニ至レルヤ否ヤハ開拓局長ノ裁量ニ依ツテ之ヲ定ムルモノトス

第三百十六條 開拓局長ハ案ノ作成ニ當リテハ周到公正ナル態度ヲ以テ之ニ臨マサル可カラス

第三百十七條 調停案ノ作成ニ當リテ開拓局長ハ當事者ノ希望ヲ顧慮スルヲ要スルモ法律上調停資料ノ選擇ヲ當事者ノ意志ニ從ハシメラルル外開拓局長ハ當事者ノ申立ニ拘束サルコトナク地方的事情、現行規程及調停目的ヨリ見テ最モ適當ナル調停案ヲ提出シ當事者カ自己ノ利益ノ爲ニスル非難

及動機ニ動カサルコトナキヲ要ス

第三百十八條 開拓局長ハ新ナル土地ノ割當ニ際シテハ特ニ地形ノ完全ト人道及畜道ニ依ル其ノ適當ナル連絡ヲ圖リ關係者ヲ満足セシメ又ハ當事者間ノ紛議ヲ和解若ハ裁決ニヨリテ芟除スル等ノ調停ヲ行フノミナラス調停ノ目的ヲ阻害シ又ハ困難ナラシムル如キ當事者間ノ協定ヲ許スコトナク斯ル場合ニ於テハ適當ナル他ノ協定ヲ爲サシムル様配慮セサルヘカラス

第三百十九條 案ニハ開拓局長ノ提案（恒久的關係ニ關スル）竝ニ其ノ提案ノ基本トナル原則ヲ表示スルヲ要ス右ノ提案ニハ各當事者ニ割當ラルヘキ賠償ヲ規定ニ從ツテ個別的ニ舉示セサルヘカラス  
第三一一條ノ場合及土地ノ割當ニ種々ナル方法ヲ採用シ得ル如キ場合若クハ主要案カ變更サルカ附帶事項ノ爲ニ破壊サルル虞アル場合ニハ土地協定ニ關スル案ハ一般ニ之ニ依ツテ單ニ農地所有者及村落定住者ノ所存地ヲ生セシムル方針ヲ以テ作成スルコトヲ得但シ附帶事項ハ一般ニ土地協定カ確定シタル後主要案ニ依リテ直チニ作成セサル可カラス

第三百二十條 恒久的關係ニ關スル物件ト看做スヘキモノハ畜道、道路、家畜水飲場、灌漑排水溝、洗羊河川及家畜飲料用河川トス

第三百二十一條 恒久的關係若クハ土地分割ニ關係ナク單ニ其ノ結果トシテ生スル物件ノ整理ハ規則上調停案ノ作成サルルマテ中止スヘキモノトス



土地整理實行ノ時期ニ關スル決定モ亦調停案ノ作成サルルマテ延期スルコトヲ得

第三百二十二條 作成セラレタル案ハ圖面及書類ニ依ルノミナラス現地ニツキテ當事者ニ説明セサルヘカラス案カ地方團體ノ共有權ニ關スルモノナルトキハ其ノ委託代理人ニ供覽スルコトヲ以テ足ル但シ其ノ案カ個人當業者ノ特別ノ權利ヲ對象トスル限りハ其ノ當事者全體ニ之ヲ提示セサルヘカラス

前項ノ提示及説明ヲ爲スニ當リテハ更ニ各人カ舊關係ニ對シテ自己ノ新關係カ如何ニ變化シ居ルヤヲ看取シ信憑シ得ルヤウ又其ノ案カ定メラレタル協定若クハ法律的规定ニ基クモノナルコトヲ詳ニセサル可カラス

第三百二十三條 案ニ對シテ異議ヲ唱フルモノアルトキハ細心ノ注意ヲ以テ之ヲ聽取シ且詮議スルヲ要シ其ノ異論ニシテ理由アルトキハ案ヲ更正スヘキ方法ヲ研究シテ提議シ異論若シ理由ヲ認メラレサルトキハ其ノ主張者ニ對シテ其ノ不當ナルコトヲ諭告セサル可カラス

第三百二十四條 前條ノ方法ニヨリテ穩便ナル協定ヲ得ラレサルトキハ開拓局長ハ其ノ爭點ニ關シ第 二一五條ノ規定ニ從ツテ裁決ヲ下ササルヘカラス而シテ開拓局長ハ其ノ事件ヲ一回ノ裁判手續ニヨツテ完全ニ終結セシムルヤウ少クモ他ニ調停契約締結ノ道ナキ程度ニ之ヲ終結セシムルヤウ努メサ ルヘカラス

開拓局長ハ若シ主要案作成ノ際ニ或ル物件カ除外サルルトキハ之ニ關シテ追加案若クハ追加提議ヲ當事者ニ提出シ主要案ト同様ニ之ニ關シテ説明ヲ爲シ出來得ル限り當事者ノ協定ニ努メ若シ協定成ラサルトキハ其ノ爭點ニ關シテ裁決ヲ下ササルヘカラス

第三百二十五條 和解調ヒタルトキハ開拓局長ハ之ニ關スル詳細ナル一定ノ文書ヲ作成セシメ且法律的效力ヲ生セシムルヤウ配慮スルト同時ニ夫レマテ中止セラレ居リシ他ノ總テノ附屬事件ヲ解決セシメ以テ其ノ事件ヲシテ契約ノ締結竝ニ其ノ執行ニ至ラシムルヤウ配慮セサルヘカラス

#### 第六節 假 處 分

第三百二十六條 開拓局長ハ開拓局ニ繫屬スル事件ニ於テ其ノ終局ノ解決迄調停目的物ノ占有權、管理權及利用權ヲ如何ニ處理スルヤノ點ニ關シテ爭ヲ生シタルトキハ之ニ對シテ假處分ヲ行フヲ要ス右ハ從來ノ所有關係、管理方法及利用方法ノ變更(目前ノ調停執行上又ハ舊施設ヨリ新施設ヘノ適當ナル變換ヲ圖ル準備上必要ナルモノ)竝ニ從來ノ所有關係及利用問題ニ關シテ生シタル紛爭ニ對シテモ適用ス調停中ノ一時的整理モ亦關與權ニ關スル紛爭カ完全ニ解決シ若クハ調停進捗スルニ伴ヒ再ヒ變更シ又ハ修正スルコトヲ得

第三百二十七條 第三二六條ニ依リ開拓局長ノ決定シタル假處分ニ對シテハ二週間以内ニ之ヲ仲裁々判所ニ抗告スルコトヲ得仲裁々判所ノ決定ハ之ヲ最終ノモノトス



第七節 調停手續中ノ懈怠處分

九〇

第三百二十八條 當事者カ開拓局長ノ指令ニ反シタル處置ヲ爲シ又ハ期日ニ出頭セサルトキハ之ニ對シテ懈怠處分ヲ行フ此ノ懈怠處分ハ召喚狀ニ次回ノ審理事項ヲ一般ニ告知シタルトキニノミ之ヲ行フコトヲ得ルモノニシテ前回ノ審理ノ通知書及次回ノ審理ニ關係ヲ有スル如キ證書ノ通知書ヲ發スル必要ナク召喚者ニ對シテ召喚期日前ニ整理地ノ附近ニ於テ本人自ラ又ハ訴訟代理人ニヨツテ見得ル如キ場所ニ其事情ヲ告示スルコトヲ以テ足ル

懈怠ヨリ生スル法律上ノ結果ハ之ヲ告知スルヲ要セス

第三百二十九條 當事者若シ第一期日ニ出頭セサルトキハ相反セル權利ハ相手方ヨリ訴ヘラレタル通リニ認容サルルモノト看做シ缺席者ハ爾後ノ訴訟手續ニ付開拓局ノ成規ノ處理ニ一任シタルモノト看做ス

第三百三十條 開拓局長ハ認容サレタリト認メラルル法律關係ニ基ツキ爾後調停案カ作成セラレテ提示サルルマテ其ノ事件ノ法律の處理ヲ繼續シ缺席ノママ處理ヲ行フ缺席者若シ調停案ニ對シテ異議ノ申立ヲ爲ストキハ開拓局長單獨ニテ之ヲ審査シ異議ノ申立ニ理由アリト認ムルトキハ案ノ更正ヲ爲シ理由ナシト認ムルトキハ後日ノ爲ニ其ノ旨ヲ闡明シ第二一三條以下ノ規定ニ依テ裁決ヲ下ス

第三百三十一條 當事者若シ命令ニ背戾シテ其ノ後ノ期日ニ出頭セス且ツ召喚公告ニ依ツテ此期日カ

測量竝ニ地價評定ノ發表及其ノ後ノ手續ニ關スルコトヲ明ラカナラシメラレ居ルトキハ其ノ缺席者ハ其ノ測量表及評價表ヲ正シキモノト認メタルモノト看做シ其ノ後ノ手續ニ關シテハ開拓局長ノ合法的處理ニ委ヌルモノト看做ス此ノ場合開拓局長ハ前條ニ規定セラルル所ニ從ツテ其ノ他ノ處理ヲ行フ

第三百三十二條 開拓局長ニ起草セラレタル調停案若クハ出席當事者ヨリ提出セラレタルモノニシテ開拓局長カ適當ナリト認メ召喚狀ニ之ヲ附記シタル提議ヲ發表スル爲ニ定メラレタル期日ニ缺席シタルトキハ其ノ者ハ右ノ案又ハ提議ヲ認容シタルモノト看做ス右ノ案又ハ提議ハ出席者ノ異論ノ討究若ハ解決ヲ爲シタル後決議ヲ以テ決定ヲ爲ス(第二一三條)

第三百三十三條 前數條ノ規程ハ當事者カ自己ノ訴訟代理人ニ何等ノ委任ヲ爲サス若クハ委任ニ不充分ノ點アリタル場合ニ於テモ之ヲ適用ス

第三百三十四條 團體員若ハ第五七條ニ依リ共同的利益アリト認メラルル權利ノ分有者カ皆缺席シタルトキニモ前數條ノ規定ヲ適用ス但シ少數ノ團體員若クハ權利分有者カ出頭シ他ノモノカ出頭セサルトキハ第六〇條第六一條ノ規定ヲ適用ス

第三百三十五條 調停手續カ繼續シテ行ハレサル場合即チ或手續ノ終リニ新期日ヲ定メタル場合ニハ以前ノ期日ニ出席セサリシ當事者ニモ新期日ニ關スル通牒ヲ發シテ之ヲ召喚セサル可カラス前期日

九一



ニ缺席シタル當事者カ此召喚ニ應シテ出頭シタルトキハ缺席中ニ行ハレタル審理ニ付説明スルヲ要ス  
缺席シタル當事者ハ自己ノ缺席ノ爲ニ生シタル經費ヲ負擔シ之ヲ相手方ニ賠償セサルヘカラス  
前項ノ規定ハ缺席當事者カ爾後ノ期日ニ(判決以前ノ)自カラ出頭スルトキニモ之ヲ適用ス

第三百三十六條 調停中ニ懈怠ヲ生シタルコト確定スルトキハ第二一三條ノ規定ヲ準用ス

懈怠ノ裁決ヲ受ケタル當事者カ天災其ノ他ノ避クヘカラサル事實ノ爲本人若クハ訴訟代理人期日ニ出頭シ得サリシコトヲ立證シ得ルトキハ之ニ對シテ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得

前項ノ異議ノ申立ハ裁決送達ノ日ヨリ二週間以内ニ之ヲ爲スヘキモノトス此ノ送達カ外國ニ於テ爲サルルトキ若クハ公示ヲ以テ行ハルルトキハ此ノ抗告ノ期限ハ裁決ノ場合又ハ口頭審理ヲ經スシテ言渡スコトヲ得ル追加的裁決ニ依ツテ之ヲ定ム異議ノ申立ハ開拓局ニ文書若クハ調書ニ記録セシメ口頭ヲ以テス其ノ文書若ハ調書ニハ左ノ事項ヲ掲クルヲ要ス

一 異議ノ申立ヲ爲サムトスル裁決ノ表示

二 其ノ裁決ニ異議ノ申立ヲ爲ス顛末

開拓局長ハ職權ヲ以テ其ノ抗告ノ性質カ合法的ナリヤ否ヤ及法律上ノ方式及期間内ニ申立テラレタルヤヲ調査セサルヘカラス

前項ノ要件ノ一ヲ缺如シタル抗告ハ之ヲ却下ス此ノ場合ニ於テハ豫メ口頭審理ヲ行フコトナクシテ

決定ヲ爲スコトヲ得而シテ却下ノ裁決ニ對シテハ更ニ仲裁々判所ニ抗告スルコトヲ得

抗告ヲ許容セラレタルトキハ異議ノ申立ヲ爲シタル當事者ニ關スル調停事項ハ懈怠發生以前ノ状態ニ復歸セシム

右ノ間ニ已ニ懈怠判決ノ實施進行シタルトキハ異議ノ申立ヲ爲シタル當事者ハ調停ノ主要案ヲ破壊スルコトナク又之ニ基キテ施設サレタル經濟的施設ニ損害ヲ加フルコトナクシテ與ヘラルル如キ性質ノ賠償ヲ受クルモノトス

### 第八節 調停ノ實施

第三百三十七條 調停ノ結果ハ當事者ノ合意ニヨリ若クハ開拓局長ニ依ツテ定メララルル時期ニ實施サルモノトス

第三百三十八條 契約ノ認可以前ニ於ケル調停ノ實施ハ規則上全當事者ノ承認アルトキニ之ヲ爲スコトヲ得但シ開拓局長ハ此ノ實施ヲ決定スルニ當リ其ノ實施カ裁決ニ對スル抗告ノ法律手段アルニ拘ラス行ハルモノナルコトヲ確定スル權能ヲ有ス

但シ前項ノ確定ヲ爲シ得ルハ其ノ事情ニ依リ次ノ事項カ明白ナル場合ニ限ル

(イ) 實施ヲ更ニ遅延スルトキハ當事者ノ一方ニ重大ナル損害ヲ及ホスヘキコト

(ロ) 實施期ヲ早ムル爲ニ相手方ニ生セシメララルル損害ニ對シテ代償ヲ支拂ヒ得ルコト



但シ開拓局長ハ如斯確定ニ依リ第二審ノ裁決前ニ實施ヲ爲ストキハ上級審ノ裁決ノ資料トシテ實施ノ結果トシテ生シタル状態カ重大ナル損害ヲ與ヘスシテ尙更正シ得ルヤ否ヤ及如何ナル程度ニ變更シ得ルヤヲ審議シ且ツ之ニ關スル意見書ヲ提出セサルヘカラス  
實施期ヲ普通以上ニ早メタル爲ニ損害ヲ蒙リタル者ハ夫ニヨリテ利益ヲ得タル者ヨリ賠償セラルヘキモノニシテ若シ第三一一條以下ノ場合ニ於テ土地ニ前記ノ損害ヲ蒙ルトキハ同條ノ規定ニ依リ現物ヲ以テ賠償セラル

第三百三十九條 調停ノ實施ハ單ニ各當事者ニ支拂ハルヘキ賠償金ノ交付及土地協定ニ於ケル境界ノ最終的劃定ヲ意味スルノミナラス調停ノ結果必要ナラシメタル地租臺帳及土地登記簿ヘノ登録ヲ促シ更ニ直接的當事者間ニ於テ尙ホ整理セラルヘキ他ノ一切ノ物件ヲ處理シ竝ニ他ノ關係人ノ要求ヲ規定ニ從ツテ解決スルコトヲ意味スルモノナリ

尙主タル調停處分ニ漏レタル道路、畜道、水利等ニ關スル附帶的事項モ亦處理スルヲ要シ若シ和解調ハサルトキハ裁決ニ依リ之レヲ解決スヘシ

第三百四十條 開拓局長ハ調停訴訟ノ審理ニ當リテハ未解決ノ點ヲ進ンテ處理スルヤウ努ムヘキモノニシテ當事者ヨリ主張サルルコトヲ放擲セサルヘキハ勿論更ニ總テノ附帶事件ヲ解決シ其ノ爲ニ必要ナル陳述及申立ヲ爲サシムルヤウ配慮セサルヘカラス

第三百四十一條 共有地ノ分割若クハ整理ニアリテハ協定土地ノ世襲的使用權若クハ所有權ハ契約認可以前ニ終局的確定ヲ見タル調停案ノ實施ト同時ニ取得者ニ讓渡セラル

第三百四十二條 實施セラレタル終局的調停案ニ基キ縣廳ハ職權ヲ以テ地租ノ改訂ヲ命セサルヘカラス

第三百四十三條 土地登記簿ノ訂正ハ所有權者若クハ物上權利者ノ請求アルトキハ契約認可前ト雖調停案及地租臺帳ノ改訂ニ基キテ之ヲ行フ

右ノ申請ハ開拓局長ニ之ヲ爲ス開拓局長ハ訂正方ヲ土地登記所ニ囑託ス  
土地登記簿ノ登記事項ニハ案ノ交付證明書ニ基キ契約認可前ニ訂正ヲ爲シタル旨ヲ附記セサルヘカラス

第三百四十四條 開拓局長ノ囑託狀ニハ左記ノ書類ヲ添付スルヲ要ス

- 一 開拓局長ノ發行スル調停案交付證明書但シ其ノ證明書ニハ次ノ各項ヲ具備セサルヘカラス
  - (イ) 調停案カ確定セラレ且ツ實施セラレタル證明
  - (ロ) 調停訴訟記録ニ於テ其ノ權利ヲ認メラレタル所有權者若クハ協定ニ依ツテ世襲的使用權ヲ付與サレタル者ノ氏名
  - (ハ) 賠償其ノ位置及面積竝ニ其ノ賠償地ニヨツテ代償セラルル土地又ハ權利ヲ表示シ更ニ必要ナ



ル場合ニハ土地登記簿ノ第二及第三欄ニ登録サレタル負擔竝ニ債務ノ欄ニ今後其ノ負擔竝ニ債務ヲ負フヘキ賠償地ニ記入シ得ル如キ方法ヲ採ル

二 更正サレタル地租臺帳ノ抄本、此抄本ニ於テ問題ノ土地カ調停案添附證明書ニ指示セル土地ト同一ノモノナルコトヲ地籍局ヨリ證明スルモノナリ

第三百四十五條 各當事者カ調停ニ依ツテ取得スル代償ハ調停ニ依テ放棄セシメラレタル土地又ハ調停ニ依テ剝奪セラレタル權利ノ對價ナルヲ以テ當事者ノ權能、負擔及其ノ他ノ法律關係ニ關シテハ其ノ代リニ與ヘラレタル土地若クハ權利ノ性質ヲ有スルモノトス

依テ調停ニヨツテ取得サルル土地ハ抵當、土地債務其ノ他ノ物上債務及定嗣相續地關係竝ニ世襲地關係ノ爲ニ放棄セラレタル土地ノ代償トシテ賦與サルルモノナリ

第三百四十六條 地代若クハ一時資金ニ對シテ土地若クハ特權カ讓渡サルルトキモ其ノ地代又ハ資金ハ土地若クハ特權ヲ代償スルモノナリ地代ニ對シテ土地カ讓渡サルルトキハ其ノ土地(土地ノ一部)ニ對スル地代ハ其ノ土地ノ主要部分ノ所有主ノ爲ニ他ノ物上負擔ヨリモ先順位ヲ以テ登記シ主要ナル土地ノ欄ニ記入スルヲ要ス

一八九一年七月七日ノ地代農地創設獎勵法(法令全集二七九頁)ニ依リ設定サレタル地代銀行地代ハ本地代ニ先ンセラル

前項ノ物上負擔ニ屬セス一時資金ニ對シテ讓渡サルルトキハ其ノ土地(土地ノ一部)ニ第一抵當權ヲ設定セサル可カラス其ノ土地カ定嗣相續地、信託遺贈地、相續世襲地、世襲地若ハ貸付組合ニ屬スルモノナルトキハ各關係者ニ對シテ此債權ノ歸屬スルコトヲ登記シ若シ讓渡セラレタル土地ヲ擔保トナセル物上債權者、抵當權者、土地債權者若ハ地代債權者ニ對シテ此ノ債權ノ抵當權ヲ登記セサル可カラス

開拓局長ハ職權ヲ以テ右ノ登記ヲ命ス可キ義務ヲ有ス

第三百四十七條 開拓局長ハ登記ヲ後ラスコトニ依リ既ニ權利ヲ與ヘラレタル土地ニ紛糾ヲ生セシメサル爲當事者ノ合意若ハ法律上ノ裁決ニヨリ一時資金ニ依ツテ賠償ヲ爲スコトカ確定サルル時ハ直チニ之ヲ所轄土地登記所ニ通知シテ土地登記簿ニ假登記ヲ爲スコトヲ命セサル可カラス此假登記ヲ濟ストキハ一時資金ヲ以テ代償セラレタル附屬地ハ最早其ノ後登記セラルル債權者ニ對シテ擔保ト爲スコトヲ得サルモノトス

第三百四十八條 一時資金ニ對シテ附屬土地若ハ權利カ讓渡サルルトキハ所管開拓局長ハ抵當權者及地代債權者竝ニ地代、賦課金又ハ類似ノ繼續的給付ニ關シテ土地登記簿ニ登記サレ居ル者ニ此ノ協定ヲ通告スルヲ要ス

第三百四十九條 左ノ場合ニハ前條ノ通告ヲ發スルヲ要セス



- 一 施設費ニ對シテ資本賠償ヲ必要トスルトキ
- 二 更ニ登記サレタル負債ノ額若ハ資本賠償ノ額ヲ顧慮スルコトナク優先的登記ヲ爲サレタル資本額ヲ返却スル爲又ハ權利アル土地ノ實質ニ對シテ資本賠償ヲ行フトキ  
其ノ資本賠償カ債權者及物上權利者ヲ保障スル方法ヲ以テ行ハルルヤ否ヤ及其ノ保障程度ハ第一二條第二節ノ内第一〇及第一一號ノ規定ヲ除キ開拓局長一人ノ裁量ニ依テ之ヲ審査スヘシ
- 三 資本ノ賠償額カ五百「マルク」ヲ超過セサルトキ
- 四 最近ノ施肥狀態及改良工事ニ對シテ賠償金ヲ支拂フトキ
- 五 地代銀行設立ニ關スル法律ニ依リ權利者ニ對シ
  - (イ) 義務者ヨリ十「ペニヒ」以下ノ地代若ハ地代割ニ對シテ支拂ハルヘキ資本賠償ノ場合
  - (ロ) 地代銀行ヨリ地代債權ノ券面額ノ超過額ニ對シテ支拂ハルヘキ資本賠償ノ場合
- 第三、四、五號ニ掲クル賠償金ハ權利者カ同時ニ土地登記簿ニ所有權者トシテ登記セラレ居ルトキハ自由處分ニ依リテ之ヲ受取り特ニ之カ定嗣相續地、信託遺贈地、永代借地ニ支拂ハルルトキモ監査ヲ受クルコトナシ

第三百五十條 通告(第三四八條)ハ權利地ノ土地登記簿ニ登記サレ居ル債權者及ヒ物上權利者ニ對シテノミ行フモノトス未タ登記ヲ爲ササル相續人、新債權者又ハ權利承繼人ニ對シテハ調査竝ニ通知

ヲ爲スヲ要セス但シ登記ヲ爲シタル債權者カ死亡スルカ其ノ所在不明ナルカ又ハ其ノ者カ債權ノ所有者ニアラサルトキハ公告ヲ以テ通告ニ代ヘサル可ラスコノ場合容易ニ其ノ時ノ債權所有者ノ調査及特別ノ通告ヲ爲シ得ルトキハ開拓局長ハ隨意ニ公告ノ代リニ此方法ヲ採ルコトヲ得

第三百五十一條 通告(第三四八條)ハ一般ニ調停契約ノ認可後直チニ之ヲ行フモノトス

但シ契約認可前ニ調停ノ實施ヲ爲ストキ又ハ主タル當事者ヨリ之ヲ申請サルルトキハ契約認可前ト雖モ通告ヲ爲スコトヲ得

之ニ反シ左記ノ場合ニハ當事者ノ請求ニ依リ通告ヲ爲ササルコトヲ得

- 一 賠償資金ヲ直チニ支拂ハス義務ヲ負フ土地ノ登記ニ依リテ保證サルルトキ
  - 二 義務者カ賠償金ノ支拂ニ重キヲ置カス依然登記所ノ債權者及物上權利者ニ其ノ額ニ對スル擔保ヲ入レ置カントスル意志ヲ有スルコト明白ナルトキ
  - 三 現金カ開拓局長ノ處分ニ委託セラレ若ハ擔保提供ヲ爲サルルトキ
- 開拓局長ハ第一號及第二號ノ場合ニ於テ適當ナル土地ノ登記ヲ爲サシムル爲ニ配慮セサル可カラス但シ開拓局長ハ通告廢止ノ理由トナル事情ノ如何ニ依リ其ノ事由ヲ立證ス可キ一定ノ期間ヲ定メ此期間内ニ立證スルコト能ハサルトキハ當事者ニ通告ヲ發セシメサル可カラス

第三百五十二條 債權者及物上權利者(第三四八條)ハ債務者ニ割當テタル賠償金ヲ土地讓渡ノ爲減殺



セラレタル保障ヲ回復スル爲若ハ最初ニ登記セラレタル資金額ノ物上權利者ニ對スル債務ノ返却ニ充ツ可キコトヲ債務者ニ請求スルコトヲ得

第三百五十三條 債務者カ前條ノ何レヲモ履行スルコトヲ得サルカ若ハ之ヲ欲セサルトキハ抵當權者土地債權者又ハ地代債權者ハ期日滿了前ト雖モ資金返濟ノ催告ヲ爲スコトヲ得

第三百五十四條 債權者及物上權利者カ第三五二條及第三五三條ニ依リ付與セラレタル權利ハ通告ノ送達ヲ受ケタルトキヨリ六週間以内ニ之ヲ行使スルヲ要ス

第三百五十五條 前條ノ者カ前條ノ期間内ニ其ノ權利ヲ行使スルトキハ所有者若ハ義務者ヨリ支拂ハルヘキ金額ニ對シ該金額、讓渡シタル附屬地、若ハ放棄シタル權利ニ依ツテ保證サレ得ル程度ニ於テ此等ノ土地若ハ右ノ權利ハ該事件ノ解決ヲ見ルマテ留保セラルルモノトス

但シ新所有者若ハ義務者ハ常ニ前項ノ金額ヲ開拓局長ノ下ニ供託シ若ハ保證積立ヲ爲スコトニ依リテ總テノ拘束ヨリ開放サルルコトヲ得

第三百五十六條 前條ノ權利者若シ法定ノ期間内ニ其ノ權利ヲ行使セサルトキハ讓渡シタル土地若ハ放棄シタル權利ニ對スル彼等ノ權利ハ消滅ス

第三百五十七條 定嗣相續地及信託遺贈地ニアリテハ其ノ領主若ハ承繼者ハ現金ニ對スル附屬土地ノ讓渡若ハ地代ノ解除ニ異議ヲ申立ツルコトヲ得ス但シ資金カ定嗣相續地又ハ信託遺贈地ニ投下サレ

若ハ第一ニ登記サレ居ル債權者ノ債務ノ辨濟ニ充テラレンコトヲ請求スルコトヲ得

前項ノ規定ハ再買權利者ニモ適用サルルモノニシテ再買權利者ハ資金ノ保證積立若ハ永續的土地改良又ハ新タナル附屬土地ノ購入ニ使用スルコトヲ請求スルコトヲ得

義務者ハ右ノ義務ヲ履行スルノ責ヲ有ス但シ現金ヲ供託シ又ハ保證積立ヲ爲シテ其ノ代表的義務ヨリ免除セラルルコトヲ得

第三百五十八條 領主、定嗣相續地承繼人、信託遺贈地承繼人及再買權利者ニ對シテハ其等ノ者カ調停案ニ關シテ知悉スルヤ否ヤニ拘ラス資本賠償ニ關スル特別ノ通告ヲ爲スヲ要セス

第三百五十九條 定嗣相續地、占有者及信託遺贈地占有者カ協定金、賠償金又ハ調停費用ノ實際的支出額ハ公證手續ヲ履行スル開拓局長ノ證明書ニ依テ證明サルモノトス而シテ管轄裁判所ハ領主、定嗣相續地又ハ信託遺贈地承繼者ノ承認ナキ場合ニモ前記ノ證明書ニ基キテ請求サレタル土地登記簿ノ登記ヲ爲サシムル權限及義務ヲ有ス

尙此ノ證明セラレタル金額ヲ其ノ土地ニ對スル貸付金トシテ容認スルヤ又ハ其ノ代リニ將來遺產地分割ノ際ニ於ケル賠償ノ要求ヲ土地登記簿ニ登録スルコトニヨリ彼ノ自由世襲地及自由遺產地ニ留保セントスルヤ否ヤハ土地所有者ノ自由トス

土地所有者カ賠償金並ニ調停費等ノ支出ヲ直チニ證明スルコトヲ得サルトキハ土地登記簿ニ登記シ



タル金額ニ對シ假リニ追テ此支出金額ハ證明ヲ要スル旨ヲ記載セサル可カラス  
右ノ假記載ハ開拓局長ノ土地登記簿ニ於ケル支出證明ニヨツテ抹消サルモノトス

曾テ登記サレ居ル債務者ノ權利ハ右ノ如キ主要土地ノ差押ニヨツテ變更サルコトナシ

第三百六十條 開拓局長ハ土地占有者ヲシテ規定通りニ現金ヲ支出セシムルヤウ督勵スル權利及義務  
ヲ有シ更ニ提出サレタル證據若ハ審査ノ際正當ナル申立ニ基キ支出ニ關スル證明書ヲ占有者交付ス  
ルモノトス

總テノ有權者及其ノ他ノ物上權利者ハ調停ニ參加セサル者ト雖右ノ規定ニ準據シテ開拓局長ノ證明  
ヲ受クル權利ヲ有ス但シ此ノ權利ハ土地登記簿ノ登記後二箇年以内ニ於テ開拓局長其ノ旨ヲ届出テ  
サルトキハ消滅スルモノトス

第三百六十一條 裁判所ハ開拓局長ヨリ合法的支出ナル旨立證サレタル賠償資金ノ支出ヲ調査スル權  
利及義務ヲ有セス右ノ證明ニ基キテ請求セラレタル登記ハ土地登記簿ソノモノニ疑義アル場合ノ外  
拒否スルコトヲ得ス

第三百六十二條 地主ト小作人ノ關係竝ニ所有權者ト用益者トノ關係ノ整理モ亦調停實施事務ニ屬ス  
第三百六十三條 當事者ヨリ署名サル可キ調書ニハ調停ノ實施ニ關シテモ記載スルヲ要シ一般ニ其ノ  
調停カ如何ニシテ實施サレタルヤ及右ノ如キ總テノ附帶事項カ處理セラレタルコト及之ニ關シテ開

拓局長ノ裁決ヲ得ル見込アル旨ヲ記載スルヲ要ス

#### 第九節 契約書ノ作成

第三百六十四條 調停事件ニ關シテ圓滿ナル協調ヲ遂ケ又ハ事件ノ本質的事項ニ關スル裁決ヲ見且ツ  
附帶事項カ解決セラルルトキハ其合意及裁決ニ應シテ直チニ契約書ヲ起草セサル可カラス尙或事項  
カ上級審ニ繫屬シ且其ノ事項カ單ニ賠償ノ判決ヲ下サルル如キ物件ニ關係スルトキ若ハ第三一二條  
乃至第三一五條ニ詳細ニ規定サルル如ク紛議ノ解決ヲ俟タスシテ調停案ヲ作成シ得ル如キ場合ヲ生  
スルトキハ其ノ事件ノ終結以前ト雖モ契約書ノ作成ニ着手スルコトヲ得但シ此場合ニハ契約書ニ其  
ノ作成ヲ急ク事情ヲ附記スルヲ要ス

第三百六十五條 契約書ニハ主要ナル目的事項及附隨事項ニ關スル調停ノ結果ヲ確實明瞭ニ掲クルヲ  
要シ就中當事者双方ノ所有地ノ新境界ヲ精確ニ記シ相手方ノ所有地ノ上ニ保持サルル總テノ繼續的  
權利及調停ノ結果相手方ニ支拂フヘキ繼續的及一時の一切ノ給付竝ニ調停ノ結果國稅教會稅及教區  
稅ニ關シテ改正ヲ要スル點及町村稅其ノ他組合關係ノ變更スヘキ點ヲ明確ニ記載セサル可カラス  
第三百六十六條 當事者カ主要事件ノ調停ニ際シテ之ト密接ナル關係ヲ有セス又主要事件ノ調停ヲ助  
成スル如キ性質ヲモ有セサル附帶事項ニ關シ合意ヲ遂クルコトアルモ右ノ枝葉ノ協定ハ之ヲ却下シ  
認可ノ範圍ヲ他ノ契約事項ニ限局スルコトヲ得



第三百六十七條 開拓局長若シ當事者間ニ於ケル協定ノ或點ヲ不適當ナリト認メ且當事者間ニ他ノ的確ナル合意ヲ遂ケシメ得ラレサルトキハ開拓局長ハ之レニ修正ヲ加ヘスシテ主要物件若ハ他ノ附帶事項ニ關スル協定ヲ維持シ得ルヤ否ヤ維持シ得ルトセハ如何ナル程度ニ維持シ得ルヤ若ハ開拓局長ニ於テ必要ナリト認ムル修正意見カ協定ノ主要物件若ハ其ノ特殊ノ點ト兩立シ得サルモノナルヤ及ヒ此修正ニ關シテ當事者ノ他ノ協調ヲ得ラルルヤ若シ之ヲ得ラルルトセハ如何ナル方法ニ依ル可キヤ等ヲ考査セサル可カラス右ノ場合ニ於テハ認可セラレサル點ニ關シ或他ノ協調手段ヲ見出シ得ルモノナル以上斯ル協定ハ維持シ得サルモノトス而シテ現物若ハ一時資金又ハ地代ニヨル他ノ協調カ可能ナルヤ否ヤハ開拓局長ノ裁量ニ任ス

第三百六十八條 契約書ノ署名ハ判事ノ資格ヲ有スル司法官又ハ公證人ノ面前ニ於ケルト同一ノ效力ヲ以テ第五條ニ依リ土地開拓局長若ハ總裁ヨリ特ニ之ノ目的ニ任命セラレタル國家官吏又ハ市町村公吏ノ面前ニ於テ之ヲ爲スコトヲ得

第三百六十九條 開拓局長ハ契約書ノ合法的署名ニ對シテ配慮シ當事者ニ(特ニ當事者カ農民ナル時)契約書ノ内容ヲ説明スルノミナラス開拓局長カ直接契約書ノ起草者タラサルトキハ契約書ノ用語ノ明確性及當事者ノ身分證明書ヲ審査セサル可カラス若シ豫期ニ反スル表示事項アルコトヲ發見スルトキハ之ヲ訂正スルヲ要シ其ノ顛末ヲ契約書ノ完結手續ニ關スル調書ニ記入セサル可カラス

第三百七十條 公文書ノ信用ヲ存スル證書ヲ發行シ得ル公ノ官廳ノ署名ハ開拓官廳ノ裁判所若ハ公證人的認諾ヲ要セス

第三百七十一條 契約書ニ何等指摘ス可キ瑕疵ナク若ハ指摘サレタル瑕疵カ除去サレ更ニ適當ナル完結手續ヲ終ルトキハ認可ヲ與フ

第三百七十二條 署名ヲ了シ且認可セラレタル契約書ハ裁判所ノ認證ヲ經タル文書ト同様ノ效力ヲ存ススカル過程ヲ經タル契約書ハ別ニ之ヲ裁判官ニ届出ツルヲ要セス其ノ契約書ニ基キテ強制執行ヲ命スルコトヲ得

第三百七十三條 第三七一條ニ依リ認可セラレタル契約書ニ依テ調停訴訟手續ハ完結ヲ告グルモノトス而シテ開拓局長ハ事件ニ關係セシメラレタル當事者ハ此ノ契約書ニ定メラルル物件ニ關シ異議ヲ申立テ又ハ本調停ニヨツテ付與セラレンコトヲ冀ヒシ權利ニ關シテ追加的請求ヲ爲シテ再審理ヲ求ムルコトヲ得サル旨ヲ各當事者ニ知ラシムル義務ヲ有ス仍テ各當事者ハ普通法ニ依ツテ決定サレ又ハ此ノ契約書ニ明白ニ留保サルモノ以上ニ其ノ所有權ノ制限ヲ受クルコトナシ而シテ又他人ニ讓渡セラレサル一切ノ土地及從物ハ從前ノ所有者ニ歸屬セシメラル他ノ關係人ノ所有權ノ上ニ設定セラレタリシ舊地上權ハ必然的地役權若ハ明ニ留保セラレタルモノヲ除ク外前掲ノ原則ニ依リ消滅セシメラルモノトス



第三百七十四條 契約書カ認可セラルトキハ縣廳ハ其ノ契約書ニ基キ地租臺帳ニ調停案ノ追加的修正箇所ヲ記入セシムルヲ要ス

第三百七十五條 開拓局長ハ管轄土地登記所ニ契約書ノ正本ヲ交付シテ所要ノ登記ヲ爲サシムヘシ  
 第三四三條乃至第三四四條ニ依リ契約ノ認可前ニ土地登記簿ノ更正ヲ爲シタルトキハ契約ノ認可アリタルコト竝ニ其ノ契約書ニ現ハレタル調停案ノ修正點ハ開拓局長ノ請求ニ依リ之ヲ土地登記簿ニ記入スヘキモノトス

第三百七十六條 地代銀行年金及國有地償却年金ハ一八五〇年三月二日發布ノ地代銀行設立ニ關スル法律(法令全書一一二頁)ノ適用範圍ニ於テハ其ノ規定ニ依リ之ヲ登記ス此ノ規定ハ從來ノ之ニ相當スル規定ニ代ヘ「ハンノバー」州ニ對シテモ之ヲ適用ス一八九一年七月七日發布ノ地代農地設定獎勵ニ關スル法律第六條第六號(法令全書二七九頁)及一八九六年七月八日發布ノ地代農地竝ニ植民地ノ一子相續權ニ關スル法律第二三條第三號ノ規定ハ之レヲ存置ス  
 更ニ調停官廳ヨリ認可セラレタル契約書ノ内容ハ次ニ掲クル場合ニ限り土地登記簿ニ登記スヘキモノトス

- 一 土地登記簿ニ登記セル事實關係若ハ法律關係カ解消又ハ更正サルルトキ
- 二 土地所有權ニ關聯スル權利ニ對シ現金若ハ地代債券ニテ支拂ハルル賠償額五百「マルク」以上ナ

ルトキ

三 之ヲ設定スルニ當リ土地登記簿ニ登記スルヲ要スル如キ權利ヲ新ニ土地ノ上ニ設定サルルトキ  
 第三百七十七條 調停官廳ノ請求ニ基キ第三七六條ノ規定外ノ登記ヲ爲サレタルトキハ調停官廳ハ土地登記所ニ其ノ抹消ヲ求ムルコトヲ得所有權者ノ申請アルトキハ調停官廳ハ抹消ノ請求ヲ爲ササル可カラス抹消ハ總テ無料ヲ以テ之ヲ行フ

第三百七十八條 或ル官廳カ法律上ノ規定ニ因リ土地登記所ニ登記ヲ請求スル權限アルトキハ其ノ官廳ノ請求ニ基キテ登記ヲ行フ

第三百七十九條 土地登記簿ニヨリ請求ヲ受ケタル登記ニ支障アリト認メラルトキハ土地登記所ハ之ヲ開拓局長ニ通牒シテ其ノ解決ヲ同局長ニ受託セサル可カラス調停官廳ヨリ其ノ職權内ニ於テ登記若ハ抹消ヲ適當ナリト立證サレタルモノニシテ登記ニ支障アリト看做サルルハ調停官廳ニ於テ關知セサル土地登記簿ノ變更ニ基ク事項ニ限ラル

第三百八十條 裁判所ハ契約カ土地登記簿ニ登記サルル所有者以外ノ者ト締結セラレタルトキト雖モ認可ノ際ニ土地開拓局總裁ヨリ若ハ物上負擔ノ償却ノ際ニ開拓局長ヨリ未登記所有者ノ資格カ一八五〇年三月二日ノ償却法第一〇九條ニ依リ完備セシメラルヘキコトヲ立證サルルトキハ認可セラレタル契約ノ登記ヲ拒否スルコトヲ得ス



第三百八十一條 調停ノ際ニ於ケル土地登記簿ノ所要ノ控除及記入竝ニ權利アル土地ノ土地登記簿ニ於ケル償却濟ノ給付ノ控除及債務ヲ負ヘル土地ニ於ケル其ノ抹消ハ賠償資本ノ法規的償却及支出ノ爲ニ遅延セラルヘキモノニアラス償却金ヲ遅延シ又ハ必要ナル證明書ヲ缺如セルモノト雖モ認可セラレタル契約ニ基キ即時之ヲ行フヲ要ス仍テ當事者ハ之ニ關シテ別ニ協定ヲ爲スカ賠償ヲ受ク可キ當事者ハ其ノ權利ニ基キテ異議ノ申立ヲ爲スヲ要ス之ニ反シテ延滞金ト同時ニ賠償金ヲ課セラレタル土地ノ欄ニ優先的特權ヲ附シテ登記スルヲ要ス讓渡サレタル土地又ハ償却セラレタル給付其ノモカ定嗣相續地若ハ世襲地トシテノ性質上若ハ其ノ他ノ制限ヲ受ケタル所有權ノ對象ナリシ場合ニハ此ノ延滞金ノ登記ニ際シ如上ノ制限ヲ附記セサル可カラス若シ此等ノ土地若ハ給付カ他ノ債務地ノ從前ノ從物ナリシ場合ニハ右ノ從屬性ヲ附記シ且ツ占有者カ此ノ土地ノ登記簿ノ示スコトヲ處分スル資格アル旨ヲ記入ス可シ此ノ場合定嗣相續地權利者ノ之ニ對スル申請等ヲ要セス

前項ノ登記ハ債務者カ既ニ賠償資金ヲ支拂ヒタリシトキニモ之ヲ爲スヲ要シ且ツ單ナル假登記ヲ以テ濟ス可キモノニアラス何トナレハ支拂ヒヲ受ケタル者ノ法律的使用カ證明サレサル限り其ノ支拂ハ債權者及其ノ他ノ物上權利者ノ權利ヲ侵害スルモノニ非サルヲ以テナリ但シ債務者ハ賠償資金ノ登記ニ際シ已ニ支拂ヒタル金ヲ假登記ノ形式ニテ登記セシムルコトヲ得更ニ土地占有者カ償却資金ノ法律的使用ヲ證明スルトキハ特ニ開拓局長ノ之ニ關スル證明書ニ基キ登記セラレタル留保條件ハ

之ヲ抹消ス

第三百八十二條 開拓局長ハ自己ノ裁決及上級審ノ裁決ニ關シ竝ニ調停官廳ノ調停ニ依リテ署名セラレタル契約若ハ單ニ調停官廳ニ認可セラレタル契約ニ關シ強制執行ヲ行フ權限ヲ有ス

第三百八十三條 調停ノ實施ヲ完全ニ終ルトキハ認可濟契約書及附屬圖面ノ正本ヲ實施處分ニ關スル認證謄本ト共ニ郡ニ送付スヘシ郡長ハ之ヲ郡ノ文書課ニ保管ス

第三百八十四條 當事者ノ請求アルトキハ郡ノ文書課ニ保管スヘキ圖面ノ正本ハ市町村長若ハ私領區長官ニ交付スルコトヲ得若シ後者カ關係地方ニ居住セサルトキハ其ノ事件ニ最モ關係アル當事者ニ交付スルコトヲ得此ノ圖面ハ各當事者ノ閱覽ニ供スヘキモノトス

第三百八十五條 一件書類即チ原圖及全記録ハ土地開拓局ノ文書課ニ保管ス

第三百八十六條 各當事者ハ實費ヲ以テ總テノ調停審理地圖測量書ノ認證謄本又ハ抄本ノ下附ヲ請求スルコトヲ得

第十節 調停手續ノ終結後ニ於ケル共同事件ノ代表及管理

第三百八十七條 人道、畜道、溝渠、水飼場、粘土採取地、砂取場、石灰採取地、泥炭石坑、石灰坑及採石場等ノ如キ調停訴訟ニ依リテ決定セラレタル共同事項ニ對シテハ調停訴訟終結後ト雖モ左ノ規定ニ據リ開拓局長ヨリ第三者ニ對スル全當事者ノ代表竝ニ管理方法ヲ規定スルコトヲ得



其ノ規定ハ申請ニ依リ之ヲ爲ス

左ノ場合ニハ特ニ其ノ規定ヲ中止ス

- 一 別ニ代表若ハ管理方法ヲ規定シアルトキ
  - 二 各當事者自身若ハ其ノ各自ノ代理人ヲ立會ハシムルニ法外ナル時間若ハ費用ヲ要セサルトキ
- 第三百八十八條 代表及管理ハ第三九五條ニ規定スル場合ノ外市町村長ニ委託ス

一八八七年四月二日發布ノ法律ニ依リ代表權ヲ委託サレタル當事者ノ團體ハ訴訟ヲ起シ又ハ訴訟セラルルコトヲ得

第三百八十九條 審理ノ結果申請ノ不當ナルコトヲ認ムルトキハ開拓局長ハ直チニ之ヲ却下セサル可カラス

然ラサルトキハ適當ナル方法ヲ以テ裁決前ニ其ノ申請ヲ告示スルヲ要ス其ノ告示ヲ爲スニハ當該町村内ニ其ノ地方ノ慣例ニ依ル廣告ヲ爲シ若ハ當該地方ノ指定新聞ニ一回ノ公告ヲ行フモノトス  
 公告ハ異議アルモノニ異議ノ申立ヲ爲サシムルコトヲ目的トシテ行ハルルモノニシテ異議ヲ申立テントスルモノハ一定期間内ニ開拓局長ニ宛テ之ヲ爲スヘシ  
 此ノ期間ノ經過後關係町村長ハ提出セラレタル異議ニ關スル説明ヲ求ムヘシ開拓局長ハ其ノ異議ヲ吟味シ異議ノ申立ナキ場合ニ於テモ必要ナル論究ヲ行フコトヲ得

第三百九十條 委託セラレタル代表者ハ開拓局長ノ認可ヲ受ケ調停手續ニ依リ創定セラレタル共同財産ヲ處理スル權限ヲ有ス

開拓局長ハ第三八九條ニ依リ爲シタル公告カ所要ノ實物處分ニ及ハサリシトキハ之ヲ當事者ニ告知スヘシ此ノ告知ニハ第三八九條ノ規定ヲ準用ス

不當ナル異議ヲ却下シタル上認可ノ裁決ヲ行フモノトス但其シノ處理カ國家的若ハ地方警察的ニ有害ナリト認めラレ若ハ第三者ノ權利カ對立シ居ルトキハ認可ノ申請ヲ拒否ス

第三百九十一條 共同財産ニ關スル處分ニ依リ現金ノ賠償ヲ決定サルルトキハ開拓局長ハ單ニ登記濟債權者及ヒ其ノ他ノ物上權利者ノ利益ノ爲ニ必要ナル支拂ヲ規定スルノミナラス賠償金ノ配當ヲモ按配セサル可カラス

前記ノ配當ヲ爲スニ多額ノ經費ヲ要スルカ又ハ其ノ他ノ理由ニヨリ其ノ配當ヲ不適當ト認ムルトキハ之ヲ爲ササルコトヲ得コノ場合ニハ全當事者ノ爲メニ別途ノ使用方法ヲ定ムルカ又ハ代表者ニ其ノ賠償金ノ監理ヲ委託スルカ又ハ紛争ノ爲ニ當事者ノ負擔トナレル共同支出ノ辨償ニ當テシムルコトヲ得

第三百九十二條 市町村長代表權ヲ委任サレタルトキハ市町村長ハ此ノ點ニ關シテ地方自治體監督官廳ノ監督ヲ受ク市町村長カ管理權ヲ委任セラレタルトキハ行政、國家ノ監督竝ニ人民ニ屬スル法律



手段ニ關シ市町村ニ適用サルル規定ヲ準用ス

管理者ハ特ニ債務者ヲシテ共同設備ノ維持上必要ナル勞務ヲ履行セシムルコトニ務ム可シ  
調停訴訟手續ノ際費用ノ分擔割合ヲ定メラレサルトキハ各當事者ハ其ノ持分權ノ割合ニ從ヒテ維持  
費ヲ負擔セサル可カラス契約書ニ持分權ノ割合ヲ明示セサルトキハ當事者ハ調停ノ際指定セラレタ  
ル各自ノ協定地ノ地租純收入ノ割合ニ應シテ負擔スルヲ要ス更ニ細分セラレタル土地ニ對スル割當  
額モ前項ノ割合ニ從ヒ細分協定地占有者ヨリ之ヲ支出ス  
當事者カ共同的ニ維持ヲ爲スカ又ハ各當事者カ共同施設中自己ノ土地ノ隣接部若ハ或一定ノ部分ヲ  
維持スル定メナルトキハ個々ノ當事者ニ其ノ維持義務履行ノ催告ヲ爲スニ及ハス地方的慣例ニ從ヒ  
公告ノ方法ニヨル公開的催告ヲ爲セハ足ル

第三百九十三條 第三八七條並ニ第三八九條第二項、第三九〇條第二項及第三九一條第二項ノ場合ニ  
於テハ開拓局長ハ理由ヲ附シテ裁決ヲ下ササル可カラスコノ裁決ニハ第二一三條第一節第三號ヲ準  
用ス

代表者ハ管理ヲ委任スル裁決ニハ契約書並ニ代表者ハ管理セラルル共同事項ニ從ヒ關係土地ノ代表  
者若ハ管理者ノ氏名及其ノ土地占有者ノ氏名ヲ明示スルヲ要ス

實物處分ノ認可ニ關スル裁決ニハ認可セラルル處分及其ノ處分物件ヲ精確ニ表示シ並ニ若シ共有地  
ノ處分ヲ爲サムトスルトキハ契約書及地租臺帳ニ依リ其ノ共有地ヲ表示スルヲ要ス而シテ此ノ裁決  
ニ於テハ當事者ニ給付サルル賠償ヲ引渡ス可キヤ及ヒ之ヲ誰ニ引渡ス可キヤ及ヒ賠償金ヲ供託ス可  
キヤニ付キテ決定セサル可カラス

第三百九十四條 共有地カ土地登記簿ニ特別ノ欄ヲ有セス又ハ各關係地ノ登記簿ニ持分權ヲ記載サレ  
サルトキハ讓渡ノ場合ニ在リテハ取得者ニ對スル土地登記簿ノ設定ヲ爲スニツキ關係地ノ欄ニ之ヲ  
記入スルコトヲ要セス

前項ノ讓渡ハ其ノ賣却若クハ交換ノ爲ニ物上權利者ニ損害ヲ及ホササルコト若ハ賠償金(第三九一  
條)ヲ支出サルル旨開拓局長ヨリ證明シタルトキニ初メテ之ヲ爲スコトヲ得

第三百九十五條 共有地カ多數ノ市町村ニ跨ルカ多數ノ市町村並ニ私領地ニ跨ルトキハ其ノ代表及ヒ  
管理ハ前掲ノ規定ニ依リ關係市町村長若ハ私領區長官ノ一人ニ委任スルコトヲ得  
代表セラル可キ全體ノ利益カ市町村(私領區)ノ利益又ハ市町村長(私領區長官)ノ利害ト對立スルト  
キ又ハ種々ナル利害特ニ代表セラルル種々ナル團體ノ利害カ相對立スルトキ又ハ其ノ他ノ理由ニ因  
リ特別ノ代表者若クハ特別管理者ヲ任命スルコトヲ適當ト認ムルトキハ開拓局長ハ地方自治體監督  
官廳ノ合意ヲ得タル上前記ノ權利ヲ有スル市町村長(私領區長官)ノ代リニ特別代表者若ハ特別管理  
者ヲ指名スルコトヲ得



第三百九十六條 開拓局長ノ裁決(第三九三條)ニ對シテハ二週間以内ニ之ヲ仲裁々判所ニ不服ノ申立テヲ爲スコトヲ得

第三百九十七條 開拓局長ハ代表者若クハ管理者ニ對スル實費ノ辨償並ニ相當ノ慰勞金ヲ定ムルコトヲ得

第三百九十八條 第三八七條乃至第三九七條及第四三五條ノ規定ハ已ニ完結セラレタル調停ニモ之ヲ適用ス

### 第三編 仲裁々判官廳ニ對スル訴訟手續

第三百九十九條 仲裁々判所ノ裁判長及其ノ構成員ハ左記各號ノ場合ニ於テハ法律上裁判ヲ行フコトヲ得ス

- 一 其ノ事件ノ當事者タルトキ又ハ當事者ノ一方ト共同權利者、共同義務者若クハ償還義務者タル關係ヲ有スルトキ
- 二 其ノ事件カ妻若クハ曾テ妻タリシ者ニ關係スル事件ナルトキ
- 三 直系ノ親族、姻戚若ハ養子關係者又ハ三親等内若ハ二親等内ノ姻戚關係アル者ノ事件ナルトキ及曾テ前項ノ姻戚關係アリタル者ノ事件ナルトキ

四 當事者ノ訴訟代理人若クハ保佐人トシテ任命セラレタル事件若クハ當事者ノ法律的代表者トシテ出頭スル權限ヲ有スル如キ事件若クハ曾テ斯ル權限ヲ有セシ如キ事件ナルトキ

五 證人又ハ鑑定人トシテ訊問ヲ受ケタル事件ナルトキ

六 當該事件ノ前審若クハ仲裁手續ニ於テ不服ヲ申立テラレタル判決ノ言渡ニ關與シタルトキ

第四百條 仲裁々判所ノ裁判長及ヒ其ノ構成員カ法律上其ノ職務ノ執行ヨリ排除サルルトキ並ニ偏頗ノ虞アルトキハ之ヲ忌避スルコトヲ得

裁判官ノ公平ナル態度ヲ疑フニ足ル充分ナル理由アルトキハ偏頗ノ虞アルモノトシテ之ヲ忌避ス總テノ當事者ハ如何ナル場合ニ於テモ忌避ノ權利ヲ有スルモノトス

第四百一條 當事者若シ知悉セル忌避ノ理由ヲ主張セスシテ審理ヲ受ケ若クハ申立ヲ爲シタルトキハ偏頗ノ虞アリトシテ仲裁々判所裁判長及ヒ其ノ構成員ヲ忌避スルコトヲ得ス

第四百二條 忌避ノ申請ハ忌避セントスル裁判長若ハ裁判所構成員ノ所屬スル裁判所ニ爲スヘキモノニシテ此ノ申請ハ調書ニ採録セシムルコトトシテ前項ノ裁判所ニ口頭ヲ以テ爲スコトヲ得

忌避ノ理由ハ之ヲ確證スルヲ要シ當事者ハ宣誓ニ代ルヘキ保證ヲ爲スコトヲ得ス前項ノ確證ヲ爲ス爲ニハ忌避セラレタル裁判長若クハ裁判所構成員ノ證言ヲ引用スルコトヲ得

忌避セラレタル裁判長若クハ忌避セラレタル裁判所構成員ハ職務上忌避ノ理由ニ關シテ意思表示ヲ



爲ササルヘカラス

當事者カ審理ヲ受ケ又ハ申立ヲ爲シタル裁判長若ハ構成員ヲ偏頗ノ虞アリトシテ忌避スルニハ當事者ハ其ノ後ニ至ツテ忌避ノ理由ヲ生シタルコト若クハ其ノ後ニ初メテ之ヲ覺知シタルコトヲ確證スルヲ要ス

第四百三條 忌避ノ申請ニ付テハ被忌避者ノ屬スル仲裁々判所之ヲ裁決シ若シ仲裁々判所裁判長カ忌避セラルルトキハ高等土地開拓局之ヲ裁決ス其ノ申請ヲ理由アリト爲ス裁決ニ對シテハ上訴スルコトヲ得ス仲裁々判所裁判長若クハ其ノ構成員ニ對スル忌避ノ申請カ理由ナシト宣告セラルルトキハ其ノ申請ヲ拒否セラレタル當事者ハ二週間以内ニ高等土地開拓局ニ抗告スルコトヲ得忌避ニ關スル審理ハ之レヲ公開セス

構成員カ法律的ニ排除セラレ又ハ忌避セラレタル仲裁々判所若シ其ノ構成員ヲ缺ク爲ニ裁決不能トナリタルトキハ高等土地開拓局管轄仲裁々判所ヲ指定ス

第四百四條 仲裁々判所ノ忌避セラレタル裁判長及忌避セラレタル構成員ハ忌避申請ノ裁決前ニアリテハ猶豫スヘカラサル事項ニ限り處理スルヲ要ス

第四百五條 忌避申請ノ裁決ヲ下スヘキ仲裁々判所ハ當事者ヨリ其ノ申請ナキ場合ニ於テモ裁判長若ハ他ノ裁判所構成員ヨリ忌避ノ理由トナル事情ヲ申立ツルトキ又ハ他ノ事由ニ依リ法律上裁判長若

ハ裁判所構成員カ排除セラルル疑アルトキニモ之ヲ裁決セサルヘカラス

此ノ裁決ヲ爲スニハ豫メ當事者ノ審問ヲ爲スヲ要セス

第四百六條 第三九九條乃至第四〇五條ノ規定ハ書記ニ對シテモ之ヲ準用ス  
其ノ裁決ハ當該書記ノ所屬スル仲裁々判所之ヲ行フ

第四百七條(甲) 高等土地開拓局ノ職員ニ對シテハ左記ノ規定ヲ適用ス

本人若ハ其ノ直系ノ親族及姻族又ハ三親等内ノ傍系親族及姻族關係ニアル者カ當該訴訟事件ニ關係ヲ有スルトキハ其ノ職員ハ其ノ事件ノ合議及表決ニ參加スルコトヲ得ス同様ニ私的關係ニ於テ其ノ事件ニ意見ヲ述ヘ若ハ支配人、委託者トシテ又ハ其ノ他ノ私的關係ニ於テ其ノ事件ニ關係ヲ有セシコトアル職員ハ當該事件ノ合議及表決ニ參加スルコトヲ得ス

第四百七條(乙) 仲裁々判所長及高等土地開拓局長ハ委員會ヲ任命シ審理事件ノ指導監督ヲ爲シ且事件ノ進捗ヲ圖ラサルヘカラス而シテ裁決ノ準備ヲ爲シ其ノ裁決ノ實施ニ意ヲ用ヒサルヘカラス仲裁々判所長及高等土地開拓局長ハ外ニ對シテハ其ノ官廳ヲ代表シ其ノ官廳ノ名ニ於テ他ノ官廳及私人ト商議シ文書ノ交換ヲ爲シ及當該官廳ノ名ヲ以テスル文書ニ署名ヲ行フ

第四百八條 開拓局長ノ裁決ニ對シテハ二週間以内ニ仲裁々判所ニ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得

第二一四條ノ場合ニハ仲裁々判所ノ裁決ハ終局的效力ヲ有スルモノトス



第四百九條 仲裁々判所ノ裁決ニシテ終局的効力ヲ有セサルモノニ對シテハ當事者ハ二週間以内ニ高等土地開拓局ニ再抗告ヲ爲スコトヲ得

第四百十條 抗告及再抗告ハ其ノ異議アル裁決ヲ下サレタル裁判官廳ニ提起スヘキモノトス之ヲ提出セラレタル裁判長若ハ局長ハ夫レカ抗告期間内ニ提出セラレタルヤ否ヤヲ檢討スルヲ要ス

若シ期間ヲ經過シタル抗告及再抗告ハ其ノ理由ヲ附シタル判決ヲ以テ直チニ之ヲ却下ス此ノ判決ニ於テ抗告者カ裁決ヲ下シタル裁判所(若ハ開拓局)ニ二週間以内ニ抗告ヲ爲シ得ヘカリシコト及然ラサルトキニハ抗告權ヲ失フモノナルコトヲ抗告人ニ知ラシムルヲ要ス

期間内ニ抗告セラレタル抗告ニシテ被抗告人ヲ有スルトキハ先ツ被抗告人ニ抗告狀及附屬書類ヲ送付シ被抗告人ヨリハ二週間以内ニ反對陳述書ヲ提出セシム被抗告人ハ抗告期間ノ經過シタルトキト雖抗告及再抗告ニ應スルコトヲ得

抗告人ニハ反對陳述書ノ膽本ヲ交付ス而シテ切迫セル事件ニアラサルトキハ抗告ノ理由ヲ更ニ詳細ニ説明セシメ竝ニ反對陳述ヲ爲サシムル爲規則上二週間ヲ超エサル相當ノ猶豫期間ヲ付與スルコトヲ得之ニ關シテハ抗告又ハ再抗告ヲ裁決スル權限ヲ有スル官廳ノ通牒ニ依リ審議ヲ行フモノトス抗告若ハ再抗告カ本條第一項ノ規定ニ反シ抗告若ハ再抗告ノ裁決權ヲ有スル官廳ニ提起セラレルトキハ之ヲ提起セラレタル官廳ヨリ原裁決ヲ下シタル官廳ニ交付シ必要ナル處理ヲ行ハシム

第四百十一條 第二一五條ノ場合ニハ抗告提起ノ權限ハ開拓局長ニモ屬シ再抗告ヲ提起スルノ權限ハ公益ノ爲仲裁々判所長ニモ屬ス

開拓局長若ハ仲裁々判所長カ右ノ權限ヲ行使セムトスルトキハ之ヲ委員會ニ即時通告ス可シ此ノ場合ニハ判決ノ送達ハ一時之ヲ延期ス但シ其ノ延期ハ三日以上ニ亘ルヲ得ス判決ノ送達ニハ公益ノ爲ニ抗告若ハ再抗告ヲ提起スル旨ノ追記ヲ附スルヲ要ス送達ニ此ノ追記ヲ爲ササルトキハ抗告若ハ再抗告ヲ撤回シタルモノト看做ス

抗告及再抗告ノ理由ハ之ヲ當事者ニ通告シ二週間以内ニ之ニ對スル文書ニ依ル意思表示ヲ爲サシム此期間滿了スルトキハ其ノ抗告ニ裁決ヲ下ス權限ヲ有スル官廳ノ審理ヲ開始セラル

第四百十二條 抗告、再抗告ノ提起期間及委員會ニ依ル裁決ノ申請期間ハ失權的ナルモノニシテ送達ヲ以テ始マル期間ノ計算ニ付テハ民事訴訟法ノ規定ヲ準用ス

抗告及再抗告ヲ提起セラレタル官廳ハ期間ノ懈怠カ已ムヲ得サルニ出テタルトキハ其ノ抗告及再抗告ニ關シ原狀ノ回復ヲ許容スルコトヲ得

第四百十三條 抗告及再抗告ノ提起、委員會ニ依ル裁決、申請ノ提起ハ停止的効力ヲ有ス但シ處分、決定及裁決ニ對シテ抗告、再抗告若ハ委員會ニ依ル裁決ノ申請ヲ提起セラレタルトキト雖之ヲ遅延



スルトキハ共同團體ニ損害ヲ與フル虞アル場合ニ限り官廳ノ裁量ニ依リ之ヲ實施スルコトヲ得但シ  
第四三一條ノ規定ハ之ヲ除外ス

第四百十四條 仲裁々判所長ハ第四一三條ノ規定ニ準シ猶豫スルコトヲ得サル場合若ハ事實關係及ヒ  
法律關係明瞭ナルトキニハ其ノ官廳ノ名ヲ以テ處分ヲ命シ及決定ヲ與フル權限ヲ有ス但シ開拓局長  
ノ判決ノ抗告ヲ提起セラレタル變更ハ委員會ノ立會ニ依リテノミ行ヒ得ルモノトス

前項ト同一ノ權限ハ高等土地開拓局總裁モ亦之ヲ有ス但シ再抗告ヲ提起セラレタル仲裁々判所ノ判  
決ノ變更ハ委員會ノ立會ニ依リテノミ行ヒ得ルモノトス

前記ノ規定ニ依リ處分及決定ヲ爲ストキハ當事者ノ申立ヲ採用セサル限り其ノ當事者ニ二週間以内  
ニ委員會ニ依ル裁決ヲ申請シ又ハ抗告若ハ再抗告ヲ提起シ得ルモノナルコトヲ知ラシムルヲ要ス

此ノ裁決ノ申請アリタルトキハ先ツ第一ニ其ノ裁決ヲ行ハサルヘカラス當事者ノ一人カ裁決ノ申請  
ヲ爲シ他ノ一人カ抗告又ハ再抗告ヲ提起シタルトキハ裁決ノ申請ノミヲ許容ス裁決ノ申請モナク抗  
告若クハ再抗告ノ提起モナキトキハ其ノ處分又ハ決定ハ最終裁決ト看做ス委員會ノ裁決ニ關スル申  
請ニ對シテハ第四一二條及第四一三條ノ規定ヲ準用ス

裁判長ハ裁判所ノ名ニ於テ執行セル總テノ處分及決定ニ關シ委員會ニ事後通告ヲ爲ササルヘカラス  
第四百十五條 裁判所ノ審理ニハ委員會ノ同意ヲ得テ専門的國家官吏若ハ市町村吏員ヲ評議權ヲ以テ

參加セシムルコトヲ得

第四百十六條 法律ニ明確ニ口頭審理ヲ規定セサル限り裁判所ハ前審ニ於テ審理セラレタル一件書類  
ニ依リ其ノ判決ヲ爲ス

仲裁々判所ハ當事者ノ申請アルトキハ判決前ニ口頭審理ヲ行ハサルヘカラス

裁判所ハ法律ニ明示セラレサル他ノ事件ニアリテモ事實ヲ説明セシムルタメ當事者若クハ其ノ代理  
權ヲ委任セラレタル代理人ヲ口頭審理ニ呼出ス權限ヲ有ス

第四百十七條 當事者ノ一人ノミカ口頭審理ノ執行ヲ請求スルトキ又ハ官廳力之ヲ必要ト認ムルトキ  
ハ出席ノ有無ニ拘ラス審理ノ狀況ニ應シ裁決ヲ爲スヘキ旨ヲ戒示シテ當事者ヲ口頭審理ニ呼出スヘ  
シ

本官廳ハ事件ノ顛末ヲ説明セシムル爲當事者自身ノ出頭ヲ命スルコトヲ得

當事者ハ特ニ催告ヲ受ケストモ期日前ニ文書ヲ以テ事件ノ説明ヲ爲シ又ハ補足ヲ爲スコトヲ得斯カ  
ル陳述書ハ其ノ謄本ヲ相手方ニ送付スルヲ要ス之ヲ口頭審理ノ期日迄ニ送付シ得サルトキハ審理ノ  
際ニ前記陳述ノ要領ヲ開示スルヲ要ス

第四百十八條 口頭審理ニ當リテハ當事者及其ノ全權ヲ委任シタル代理人ヲ訊問ス

當事者及其ノ代理人ハ裁判所ノ裁量ニヨリ他ノ當事者ノ防禦權ヲ侵害セス若クハ審理上支障ナシト



認めらるる限り事實上ノ申立若クハ法律上ノ申立ヲ補足又ハ修正シ及其ノ提議ヲ變更スルコトヲ得  
當事者及其ノ代理人ハ總テノ證據資料ヲ提示スルヲ要シ前審ニ於テ提出セサリシ證據書類アルトキ  
ハ之ヲ提示セサルヘカラス而シテ又證人ノ喚問ヲモ申請スルコトヲ得

右ノ場合裁判所長ハ事件ノ真相ヲ明ニシ當事者ヲシテ有用ナル申立ヲ爲サシムルコトニ務ムヘシ  
裁判所長ハ裁判所構成員ニ質問ヲ爲スコトヲ許スコトヲ得

質問ハ裁判所ニ於テ適當ナリト認ムルトキニ行フモノトス

第四百十九條 口頭審理ハ公開シテ之ヲ行フ

裁判所ニ於テ公ノ秩序ヲ害シ風妃ヲ紊ル虞レアリト認ムルトキハ公開ヲ禁止シ之ヲ公示ス

公開審理ニアリテモ賛否ヲ表示シ不快ノ感ヲ起サシメ其ノ他審理ノ妨害ヲ爲ス傍聽人アルトキハ裁  
判長ハ之ヲ退席セシムルコトヲ得

裁判所長カ秩序維持ノ爲發シタル命令ニ服從セサル當事者、證人及ヒ鑑定人アルトキハ裁判官ノ決  
議ヲ以テ退廷ヲ命スルコトヲ得審理ニ參加セル者カ任意ニ退廷シタルトキモ亦之ニ準ス

第四百二十條 當事者ハ其ノ委託ス可キ代理人ヲ選擇スルニ羈束ヲ受クルコトナシ

裁判所ハ辯護士ニ非スシテ代理人タルコトヲ營業トスル者ノ代理ヲ拒否スルコトヲ得其ノ命令ニハ  
不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

當時者ノ代理人タル權能ヲ有スル市町村長ハ其ノ市町村ノ代理行爲ヲ爲スニ特別ノ委任ヲ受クル必  
要ナシ

第四百二十一條 口頭審理ニ關シテハ宣誓セル書記若クハ裁判所ノ構成員ヲシテ記録ヲ作ラムシヘシ

記録ニハ審理ノ重要ナル經過ヲ網羅スルヲ要ス記録ニハ裁判長及ヒ書記ノ署名ヲ要ス

第四百二十二條 裁判所若クハ裁判長ハ(裁判所ノ名ヲ以テ)必要ナル場合ニハ口頭審理ノ期日前ト雖  
現場ノ調査ヲ命シ證人及鑑定人ヲ召喚シテ宣誓ノ上訊問シ又ハ必要ト認ムル證據ヲ廣ク蒐集スル權  
限ヲ有ス

第四百二十三條 裁判所ハ其ノ構成員ヲシテ證據ヲ蒐集セシメ必要ナル場合ニハ他ノ官廳ニ委託シテ  
證據蒐集ヲ爲スコトヲ得裁判所ハ口頭審理ニ於テ證據調ヲ行フヘキコトヲ命スルコトヲ得

此ノ證據調ハ宣誓ヲ爲セル書記若ハ當該裁判所ヨリ義務ヲ負ハサレタル書記ノ立會ノ下ニ行ハルヘ  
キモノニシテ當事者ニモ召喚狀ヲ發ス

第四百二十四條 證人又ハ鑑定人トシテ訊問セラル可キ義務竝ニ命令ニ違背シタルトキニ科セラルヘ  
キ刑罰ニ關シテハ民事訴訟法ノ規定ヲ準用ス但シ命令ニ違背シタル場合ニ科セラルル罰金ハ一五〇  
「マルク」ヲ超ユルコトヲ得ス

鑑定人ノ刑罰若クハ其ノ義務ノ解除ヲ宣スル裁判所ノ決定ニ對シテハ當事者ハ二週間以内ニ之ヲ高



等土地開拓局ニ抗告スルコトヲ得

第四百二十五條 裁判所ハ審理及證據ニヨリテ得タル自由ナル信念ニ從ヒテ決定ヲ下ササルヘカラス  
當事者カ闕席スルカ若クハ供述ヲ爲ササルトキハ相手方ヨリ提示サレタル事實ヲ事實トシテ認容ス  
ルコトヲ得

第四百二十六條 訴訟手續及ヒ訴訟費用ニ關スル抗告ニ關シテハ主要事件ノ繫屬スル裁判所ノ上級審  
ニ於テ終局的判決ヲ爲ス

第四百二十七條 仲裁々判所ノ裁決カ其ノ權限ヲ超ヘ若クハ已存ノ權利ヲ侵害シ又ハ仲裁々判所ヨリ  
其ノ權限内ニ於テ發セラレタル命令ニ抵觸スルトキハ土地開拓局總裁ハ仲裁々判所ノ確定的裁決ニ  
對シテ抗告ヲ爲シ其ノ執行ヲ一時停止セシムルコトヲ得此ノ抗告ハ高等土地開拓局ニ爲スヘキモノ  
トス仲裁々判所ハ高等開拓局ノ訴訟手續ニ於テ自己ノ權利ヲ保障スルタメ特別代理人ヲ選任スル權  
限ヲ有ス

#### 第四編 強制執行

第四百二十八條甲 土地開拓局總裁及土地開拓局長ハ土地開拓官廳ヨリ發シタル命令及裁決ヲ強制手  
段ニ依リ執行スル權限ヲ有ス開拓局長ハ調停裁判ニ於テ締結セラレタル契約ノ實施ニ對シテモ同様

ノ權限ヲ有ス

土地開拓官廳ノ強制執行手續ニ對スル權限ハ調停終結シタル後ニモ保有セラル

第四百二十八條乙 裁決處分ノ執行ハ行政上ノ強制執行手續ノ方法ニ依リ之ヲ爲ス右ノ執行ハ第一審  
ノ決定ヲ爲シタル裁判所ノ裁判長其ノ裁判所ノ名ニ於テ行フ前項ノ裁判長ノ處分ニ對スル抗告ハ之  
ヲ其ノ局ニ於テ裁決スル局ノ裁決ニ對スル抗告ハ二週間以内ニ上級裁判所ニ提起ス可シ  
後者ノ判決ハ終局的ニシテ不服ヲ唱フルヲ得ス

第四百二十九條 金錢徵收ヲ目的トスル執行ハ一八九九年十一月十五日ノ金錢徵收ニ關スル行政處分  
規則(法令全書五四五頁)ニ依リ之ヲ行フモノトス

第四百三十條 行爲又ハ不行爲ヲ強制スル爲ニハ次ノ如キ強制手段ヲ用フ

- 一 裁判所ハ若シ之ヲ爲シ得ルトキハ強制スヘキ行爲ヲ第三者ヲシテ代リテ履行セシメ豫メ定メラ  
レタル經費ハ之ヲ義務者ヨリ強制的ニ徵收ス
- 二 強制スヘキ行爲カ第三者ニ依リテ履行シ得ラレサルカ又ハ義務者カ第三者ニヨリ履行ノ爲ニ生  
スル經費ヲ負擔スルコト能ハサルコトノ確認セララルカ又ハ不行爲ヲ強制セントスルトキハ左ノ  
通り罰金ヲ課ス

(イ) 開拓局長ニ依リ一五〇〇「マルク」以下ノ罰金



(ロ) 土地開拓局總裁ニ依リ三〇〇〇「マルク」以下ノ罰金

同時ニ罰金ノ支拂能力ナキトキ其ノ代リニ科セラルル拘留期間ハ刑法第二八條及第二九條ノ規定ニ從ツテ定ム拘留ノ最長期間ハイニ在リテハ二週間ロニ在リテハ四週間ヲ超ユルコトヲ得ス

第三者ニヨル執行(第一號)竝ニ刑罰ノ決定(第二號)ハ常ニ豫メ其豫告ヲ文書ヲ以テ警告スルヲ要ス而シテ行爲ヲ強制スル場合ニハ豫告書ニ執行期限ヲ記載セサルヘカラス

三 直接的強制執行ハ之ヲ爲スニ非サレハ命令ヲ執行スルコト能ハサルトキニ限り適用スヘキモノトス

第四百三十一條 強制執行ノ豫告ニ對シテハ其ノ實施命令ニ對スルト同様ノ法律手段アリ此ノ法律手段ハ特ニ前以テ異議ヲ申立テラレサル限り同時ニ命令ニモ準用セラルルモノトス

強制手段ノ決定及執行ニ對シテハ單ニ監督上ヨリ二週間以内ニ異議ノ申立テヲ爲スコトヲ得

第四三〇條第二項第二號ニ依リ罰金ノ代リトシテ課セラレタル拘留刑ハ命令豫告及決定ニ對スル異議ノ申立期間ヲ經過シタルトキニ初メテ執行スヘキモノトス

### 第五編 訴訟費用制度

#### 第一章 費用ノ支辨義務

第四百三十二條 物上負擔ノ解除ニ關スル訴訟費用ハ權利者ト債務者ト折半シテ之ヲ負擔ス

權利者若ハ債務者多數ナル場合ハ解除セラルル物上負擔及ヒ反對給付ノ額ニ比例シテ更ニ前項ノ負擔費用ヲ分擔ス

第四百三十三條(甲) 共有地ノ分割及ヒ役權解除ノ場合ノ調停費用ハ各當事者ニ於テ其ノ調停ノタメ獲得シタル利益ノ割合ニ應シテ支辨ス前項ノ受益ノ程度不分明ナルトキハ開拓局長ノ認定ニ依リ之ヲ

決定ス受益ノ程度ヲ知り難キトキハ其ノ代リニ持分權ノ價值ヲ費用分擔ノ基礎トス

調停ニ依リ何等ノ利害ヲ享受セサル者ハ調停費用ニ對シテモ負擔ヲ負フコトナシ

一方的山林役權ノ解除ノ際義務ヲ負ハセラレタル山林ノ測量及ヒ評價ヲ必要トスルトキハ費用概算額中測量及評價ニ關スル部分ハ持分權ノ價值ニ從ヒ全關係者ニ分擔セシム

第四百三十三條(乙) 土地交換ノ費用ハ利害關係人ニ於テ其持分權ノ價值ノ割合ヲ以テ分擔セシム

土地交換ニ依リ全然利益ヲ受ケサルカ極メテ微細ナル利益シカ享受セサル關係人ニ對シテハ其費用ノ全部又ハ一部ノ支辨ヲ免除シ他ノ關係人ニ於テ之ヲ負擔ス

第四百三十四條 訴訟ノ進行中ニ發生シタル中間的問題ノ處理上第三者ヲ關與セシムルトキハ之カ爲

ニ第三者カ利益ヲ受ケタルトキニ限り其受益程度ニヨリ調停費用ヲ分擔セシム然ラサル場合ニハ調停處分中ニ事件ニ關與セシメラルル第三者ニハ費用ヲ負擔セシメサルコトヲ得



第四百三十五條 調停訴訟ニヨリ設定セラレタル共同事件ノ代表竝ニ管理ヲ整理スル爲ニ要シタル費用ハ調停ノ完結後ニ生シタルモノニ限り第三九二條ニ掲ケタル出資基準ニ依リ當事者ノ負擔トナル但シ

一 却下セラレタル當事者個人ノ申請、異議若ハ抗告ニヨリテ生シタル費用ハ其ノ當事者一人ノ負擔トス

二 第三八七條乃至第三九八條ニ依リ關係セシメラレタル公ノ官廳ノ申請カ却下セラルルカ又ハ其他ノ原因ニヨリ無効ニ歸シタルトキ其ノ申請ノタメニ要シタル費用ハ他ノ當事者ノ負擔トナラス 開拓局長ハ官廳ノ申請ナキトキ相當ノ費用ヲ前納スルコトヲ訴訟手續開始ノ條件ト爲スコトヲ得 第四百三十六條 個人當事者ノ權利伸張ノタメ要シタル費用ハ訴訟費用ニ關スル一般原則ニ依リ敗訴者ノ負擔トス

第四百三十七條 當事者ハ召喚ニ應スル爲ノ旅費宿泊料及期日懈怠ニ依リテ生シタル費用ノ辨償ヲ要求スルコトヲ得ス又當事者ハ相互ニ其ノ代理人辯護士及保佐人ニ支拂フ可キ手数料及ヒ實費ヲ要求スルコトヲ得ス

第三者カ第四三四條ニ依リ調停費用ヲ負擔スル義務ヲ有セサルトキハ自分自身ニ對シテハ之ヲ要求スルコトヲ得サルモ委任代理人ニ對シテ(彼カ當事者ナラサルトキ)旅費及宿泊料ノ辨償ヲ要求スル

コトヲ得辨償額ハ代理人ノ個人的關係ニ從ツテ定メラルヘキナルモ代理人若シ授權者自身ニ對シテ其個人的關係ニヨリ僅少ナル額ヲ要求スル如キ場合ニハ其額ニ應シテ辨償額ヲ定ム

第六七條(ロ)ハニ於テ當事者ノ内ヨリ選任セラレタル代理人ハ其旅費、宿泊料及ヒ期日懈怠ニ依リ生シタル費用ヲ授權者ニ請求スルコトヲ得

第四百三十八條 費用ノ負擔義務ニ關スル當事者間ノ紛爭ハ主要事件ニ關スル訴訟事項ニ屬セシム其他整理費用ニ關スル總テノ訴訟及抗告ハ當事者カ開拓局長及ヒ土地開拓局總裁ノ確定裁決ニ對シテ不服アルトキハ主務省ノ決定ヲ仰クヘキモノトス

### 第二章 費用ノ算定及ヒ徴收

第四百三十九條 當事者ハ一八七五年十月一日以前ニ一八三六年四月二十五日發布ノ費用規則ニ依リ徴收サレタル費用ノ代リニ以下規定スルトコロノ(第四四〇條乃至第四四五條)要旨ニ依リ割増額ヲ支拂ハサル可カラス

何人モ右ノ割増額ノ支拂ヲ免除サルコトナシ但シ教會牧師教會事務員及ヒ學校カ當事者ナルトキハ自由處分ヲ爲シ得ル財産及ヒ收入ヨリ教會及學校ヲ維持スル爲ニ必要ナル支出ヲ控除シタル後尙支拂ヒ得ルトキ及ヒ此ノ財産若ハ收入カ教會職員若ハ學校職員ノ職務上ノ用益權ニ屬セサルトキニ



限リ其分擔額ヲ支拂ハサル可カラス

第四百四十條 割増額ハ次ノ原則ニ依リ調停費用(一般的整理費)ノ代リニ支拂ハルルモノナリ

一 物上負擔ヲ地代年金ニ變更スルトキ竝ニ物上負擔及ヒ確定的共有地ノ分割地代農地ノ地代ヲ銷却スルトキハ給付及ヒ反對給付ノ年額一「マルク」毎ニ左記ノ率ニ從ツテ徴收ス

(イ) 價額一五〇「マルク」以下ハ〇・五〇「マルク」ヲ加ヘ

(ロ) 一五〇「マルク」以上一五〇〇「マルク」以下ハ〇・三五「マルク」ヲ加ヘ

(ハ) 一五〇〇「マルク」以上ノモノニ對シテハ〇・二〇「マルク」ヲ加フ

二 一方的又ハ相互的地役權ノ廢棄(地役權ノ解除)ニ當リテ廢棄セラルル總テノ權利及反對給付ノ年額一「マルク」毎ニ次ノ基準ニヨリテ徴收ス

(1) 廢棄カ地代又ハ一時資金ヲ以テスル賠償ニ依リ行ハルルトキ又ハ相殺勘定ニ依リ相互ノ權利

若ハ義務カ廢棄サルトキハ

(イ) 價額一五〇「マルク」迄ハ一・五〇「マルク」ヲ加ヘ

(ロ) 一五〇「マルク」以上一五〇〇「マルク」迄ハ一・二五「マルク」ヲ加ヘ

(ハ) 一五〇〇「マルク」以上ノモノニ對シテハ一・〇〇「マルク」ヲ加フ

(2) 廢棄カ土地ノ協定ニヨリ行ハルルトキハ

(イ) 價額一五〇「マルク」迄ハ一・五〇「マルク」ヲ加ヘ

(ロ) 一五〇「マルク」以上一五〇〇「マルク」迄ハ一・七五「マルク」ヲ加ヘ

(ハ) 一五〇〇「マルク」以上ノモノニ對シテハ一・五〇「マルク」ヲ加フ

(2)ノ廢棄カ物上負擔ノ廢棄ナルトキハ第一號ノ基準ニヨリテ算定シ徴收ス

二 同時ニ地益權竝ニ共同利用權ノ賠償或ハ廢棄ヲ行フト否トニ不拘土地整理(特別耕地整理)竝ニ

共有地ノ分割ヲ爲ス際「一八二一年六月七日ノ共有地分割規則、一八六七年五月十三日ノ命令(法

令全書七一六頁以下)一八六九年四月五日ノ法律(法令全書五一四頁以下)一八七二年四月二日ノ

法律(法令全書三二九頁以下)一八七六年八月十七日ノ法律(法令全書三七七頁以下)一八八五年五

月二十三日ノ法律(法令全書一四三頁)一八八五年五月二十四日ノ法律(法令全書一五六頁)一九二

〇年九月二十一日ノ換地規則(法令全書四五三頁)」及地代農地ヲ設立スル際ニハ換地併合若ハ分

割サルル面積ノ一「ヘクタール」毎ニ十二「マルク」ヲ徴收ス

地代銀行地代ノ引受カ地代農地ノ設定ニ關聯スルトキハ單ニ本項ノ割増額ヲ徴收スヘキモノニシ

テ第一號ノ歩合金ヲ徴收スルコトナシ

四 爾餘ノ總テノ主要事件及附帶事件竝ニ當該局長ニヨリ作成セラレサル調停契約書ノ認可ノ場合

ニハ開拓局長ハ實際ニ費消サレタル費用ヲ考慮シテ割増額ヲ定ム(第四六〇條、第四四六條)



五 當事者ノ懈怠ニ依リ期日カ無効トナリ又ハ全然當事者ノ不都合ニヨリ法律上必要ナル訴訟手續ノ實施處分ヲ遲滯セシメラレタル爲ニ生シタル費用ニ對シテモ前項ノ規程ヲ適用ス

六 次ノ場合ニハ同様ノ方法ヲ以テ徵收スヘキ割増額ヲ定ム  
(イ) 割増額ノ確定ニ對シテ年額カ基準トナルトキニ(第一號及第二號)割増額及 Bogen ノ比較ニヨリテ調停完了シタル爲メ又ハ其ノ他ノ理由ニヨリ特別ニ年金ヲ評價シ又ハ決定セサリシ場合  
(ロ) 訴訟取下ヲ爲シタル爲メ又ハ他ノ理由ニ因リ既ニ着手シタル訴訟手續ヲ中止シタルタメ調停事項ヲ實施スルニ到ラサリシ場合

(ハ) 「シユレスウイツヒ、ホルシユタイン」州ニ於テ物上負擔ヲ年額地代ニ代ヘ又ハ物上負擔及確定的共有地分割地代ヲ銷却スルトキ

第四百四十一條 前條ニ於テ定メラレタル割増額測定ノ基準トナル年額若ハ面積ヲ決定スルニ當リテハ半「マルク」若ハ半「ヘクタール」以下ノ部分ハ切捨テ其レ以上ノ部分ハ切上ケヲ爲ス年額價額ハ一「マルク」地面ハ一「ヘクタール」ニ滿ツルモノヲ以テ算入ス可キ最小限度トス

第四百四〇條第一號乃至第三號ニ定ムル割増額ノ徵收ハ夫レニ關スル調停ニ對シテ規範トナルモノナレトモ割増額ヲ變更スルノ已ムナキ事情アルトキハ土地開拓官廳ハ第四百四〇條第一號乃至第二號ノ割増額ヲ一倍半ニ引上ケ若ハ四分ノ一ニ引下クルコトヲ得而シテ同條第三號ノ割増額ハ一「ヘクタ

ール」ニ對シニ七「マルク」ニ迄引上ケ若ハ三「マルク」ニ迄引下クルコトヲ得  
斯ル引上ケ若ハ引下ケハ特ニ次ノ如キ場合ニ適用スヘキモノトス

一 前條第三號ニ掲ケタル調停ニアリテ其土地ノ價額及收益カ異常ニ過大ナルカ又ハ過小ナルトキ  
二 事件ノ性質ニヨリ調停ニ要スル勞務カ異常ニ過大又ハ過小ナルトキ

第四百四十二條 左ノ場合ニハ特ニ第四百四〇條第四號ノ規程ニ依ツテ算定サルル割増額ヲ徵收ス

一 訴訟手續ノ法規的實施ソノモノニ不必要ニシテ提出者ノ特別ノ利益及目的ニ基ク如キ全關係人若ハ個別的關係人ノ提議又ハ申請ノ解決ノ場合

二 契約者ノ認可及實施ニヨリ訴訟手續完結シタル後若ハ法律的裁決又ハ和解等ニヨリ紛争ヲ解決シルタ後ニ提起セラレタル動議ノ解決ノ場合

第四百四十三條 訴訟中紛争ヲ生シ開拓局長ニ訴訟サルルトキハ其紛争ニ對スル手數ノ多少及之カ爲ニ費消サレタル實際費用ヲ考慮シテ開拓局長ヨリ定メラルル割増額ヲ徵收ス

此ノ第四百四三條ニ定ムル紛争ニ對スル特殊ノ割増額ハ如何ナル場合ニモ其訴訟提起ノ際ニ其ノ當事者ハ其ノ紛争ヲ解決スル爲ニハ本案ニ定ムル特別割増額ヲ徵收セラル可キコトヲ明ラカニ注意セラレタルトキニミ當該當事者ニ課スルコトヲ得ルモノナリ

第四百四十四條 抗告及再抗告ノ裁決ニ對スル訴訟費用ハ徵收セス又當事者ハ當事者ノ支出シタル經



費ニ對シ代償ヲ請求スルコトヲ得ス

但シ申請若ハ理由ナキ抗告ノ爲ニ生シタル訴訟經費ハ申請ヲ爲シ若ハ抗告ヲ提起シタル者ニ負擔セシムルコトヲ得

第四百四十五條 土地整理附帶事件若ハ紛争ヨリ生スル費用ニ對シテ徵收セララルル割増額ヲ決定スル爲實際ニ費消サレタル經費ヲ算定スルヲ要シ而モ其ノ實費ノ算定カ總經費額ノ分解及分割ニヨツテノミ爲シ得ラルルカ若ハ割増額ノ按分ヲ爲ス必要アルトキハ開拓局長ハ其ノ公正ナル裁量ニヨリ其ノ都度ノ事情ニ應シテ之ヲ分解分割又ハ按分スルヲ要ス

第四百四十六條 割増額ヲ決定スル爲(第四四〇條第四、五六號、第四四一條第一、第二號及第四四二條)實費ヲ測定スル必要アルトキハ開拓局長及書記官ノ勞務ニ對スル經費ハ之ニ要シタル時間ニ從ツテ定ム雇員、臨時的開拓局長及書記官ノ報酬ニ對シテモ亦同シ(第四六〇條乃至第四六三條)而シテ開拓局長ニ對シテハ九「マルク」書記官ニ對シテハ四、五「マルク」ノ日當、農地測量員ニ對シテハ其ノ部門ニ於テ特ニ定メラルル兩者ノ中間ニ相當スル日當ヲ算定ノ基礎トス

第四百四十七條 當事者ハ次ノ如ク土地整理費ヲ輕減セラル

一 當事者ハ整理官廳若ハ其ノ代理者ニ依ル審理、其ノ他其ノ委託若ハ請求ニ依ツテ行ハルル審理並ニ上級官廳ニ於ケル審理ニ關シ又ハ土地登記簿及裁判所其ノ他ノ官廳ノ書類ヨリノ照會ニ關シ

テハ第四四〇條以下ニ規定スル割増額及立替金以外開拓局長及上級裁判所又ハ委託若ハ囑託セラレタル裁判所其ノ他ノ官廳ヨリ何等ノ手数料及報酬ヲ負擔セシメララルコトナシ

二 前號ノ特典ハ土地整理ニ基ク土地登記簿ノ登記及ヒ抹消ノ際ニモ之ヲ適用ス

三 前二號ノ規程ハ管ニ土地整理ノ主タル物件ニ關スル訴訟提起及實施又ハ之ニ關聯スル審理送達通知及報告ニ適用スルノミナラス其ノ附帶事項若ハ之レニ關スル土地整理官廳ノ命令及督促ニ關スル中間審理即チ境界ノ改正、資格ノ訂正、代理權ノ委任、土地整理ニ關スル公賣(一八二一年六月七日ノ共存地分割規則第一〇七條)等ニ對シテモ之ヲ適用ス

四 裁判所又ハ他ノ官廳ニ對シテ書類及土地登記簿ニ關スル通牒及證明ヲ請求スルニ當リテモ斯ル證明書提出ノ爲ニ當事者ニ課セラレタル負擔ニツキ開拓局長ノ指命ヲ以テ證明サルルトキハ手数料ヲ免除スルコトヲ得

第四百四十八條 印紙稅ハ土地開拓局及其ノ代理者ニヨリ其ノ委任又ハ囑託ニヨリ他ノ官廳ヨリ行ハルル審理並ニ高等裁判所ニ於ケル審理ニシテ土地整理ノ主タル物件並ニ其ノ附帶事項ニ關スルモノ及之ニ關聯シ當事者ノ請求ニヨリ他ノ官廳ヨリ作成サレタル一切ノ文書ニ關スルモノハ之ヲ免除ス但シ此ノ場合ニハ他ノ官廳ニ作成サルル文書ニ關シテハ當事者カ斯ル文書ノ提出ノ爲ニ土地整理官廳若ハ其ノ代理者ヨリ課セラレタル負擔ヲ證明スルヲ要ス



第四百四十九條 前條(第四四七條及第四四八條)ト同様ノ特典ハ政府ニ讓渡セラレタル土地管理ニ關シ政府ヨリ土地整理ヲ行フトキニモ當事者ニ適用スルコトヲ得但シ此ノ場合ニ於テモ政府ノ關係者以外ノ當事者ハ開拓局長及立會鑑定人ノ日當手數料及旅費ヲ政府ノ定メタル範圍内ニ於テ負擔スルヲ要ス

第四百五十條 當事者カ土地開拓官廳ノ仲裁ヲ俟タスシテ締結シタル協約ノ法律手續ヲ爲ストキモ其ノ行爲ニ對シ及認可ヲ受クル爲ニスル開拓局長ヘノ一件書類ノ送達ニ對シテ第四四七條及第四四八條ノ規定ヲ適用ス

第四百五十一條 豫納金ノ納付義務費用割増額ノ終局確定竝ニ徵收、豫納金竝ニ終局確定費用ノ保證ニ關シテハ左記ノ原則ヲ適用ス

- 一 土地整理若ハ其ノ附帶事件ノ法律的实施ノ際ニ徵收サル可キ割増額ノ支拂ニ當ツル爲當事者ノ支拂能力ヲ考慮シ事件ノ繼續期間ヲ推定シテ訴訟手續開始ノ際ニ各當事者ニ豫納金ノ定期支拂ヲ請求スルコトヲ得
- 二 審理中紛争ヲ生シタル爲増加セシメラルル割増額ニ充ツル爲(第四四三條)竝ニ特別ノ申請及追加申請ノ解決ノ爲ニ課セララルル割増額(第四四二條第一號及第二號)ニ充ツル爲ニハ其ノ紛争ヲ惹起シタル者若ハ特別申請及追加申請ヲ提起シタル者ヨリ推定の割増額ニ相當スル豫納金ヲ徵收ス

ルコトヲ得

三 費用ノ確定的決定及取立ハ訴訟手續終了ノ際ニ行ハルルモノニシテ若シ紛議ヲ生シタルトキハ之ニ關スル裁判終了ノ際ニ之ヲ行フ

貧困ナル當事者ニ對シテハ割増額ノ確定後ト雖モ其ノ納付ヲ猶豫スルコトヲ得

四 土地ノ占有者ハ其ノ占有期間中ニ決定セラレタル費用若ハ納付期ニ到達セル定期豫納金ヲ支拂フ義務ヲ有ス但シ前占有者ノ手ニ於テ解決セラレタル紛争費用ニ對シテハ責ヲ負ハス

五 強制競賣若ハ強制管理ニ因ル強制執行ノ方法ニヨリ土地整理ニ關係セル土地ヨリ債務ノ取立ヲ行フ者ニ對シテハ強制管理ノ期間中又ハ競落前ニ決定シタル費用若ハ支拂期ニ達セル定期豫納金ハ公課ト同等ノ性質ヲ有ス

六 前記第五號ノ占有權取得ノ場合ヲ除キ土地占有者ハ總テ前占有者ニ付テ決定セル費用及支拂期ニ達セル定期豫納金ヲ支拂フ義務ヲ有ス

但シ左記ノモノハ此ノ限りニアラス

- (イ) 前占有者ノ手ニヨツテ解決シタル紛争ノ經費
- (ロ) 前占有者ノ時代ニ終了シタル土地整理費

本條ニ於テハ支拂ハル可キ費用割増額ノ決定前及告示前ニアリテハ土地整理ヲ終結シタルモノト看



做サス

一三八

第四百五十二條 農林大臣ハ土地開拓局總裁ノ申請アルトキハ國家ノ補助ヲ要スル如キ私領地及町村ニ對シ特別ノ許可ヲ與ヘテ土地整理ヲ容易ナラシメ其ノ土地ノ分割及整理ニ關スル開拓局長ノ提議ヲ審理シ土地整理費用ヲ全部若ハ一部免除スルコトヲ得

農林大臣ハ前項ノ費用免除ノ額ニ依ツテ定メラレタル一定ノ限度内ニ於テ此ノ權能ヲ土地開拓官廳ニ委託スルコトヲ得

第四百五十三條 開拓局長ハ當事者ノ誤レル審理ヨリ生シタル手数料ヲ廢棄スル權限ヲ有シ又當事者カ事情不案内ノ爲若ハ無智文盲ノ爲ニ爲シタル申請ヲ却下スルトキ其ノ手数料ヲ免除スルノ權限ヲ有ス

第四百五十四條 強制的費用ノ取立特ニ其ノ土地登記簿ノ登記ハ行政上ノ強制執行手續ニ依リ之ヲ爲ス

費用ノ徵收ニ關スル不動産物件ノ強制競賣ニ對シテハ其ノ配偶者若ハ卑屬又ハ卑屬ノ配偶者ノ關與スルコトヲ許サス

第四百五十五條 開拓局長、書記官、測量官、司法官、證人、鑑定人又ハ運送費受取人ニ對シ國庫ヨリ支拂ヒタル額カ獨逸國裁判費用法第七九條又ハ普魯西聯邦裁判費用法第一一二條ニ依リ實費トシ

テ徵收ス可ク決定セラレタル額ヲ超過シタルトキハ其ノ超過額ハ行政上ノ強制執行手續ニ依リテ回收スルコトヲ得

第四百五十六條 徵收スヘキ費用ノ計算ヲ誤リタルトキハ當該訴訟ノ法律的若クハ終局的判決ノ翌曆年度内ニ支拂義務者ニ對シテ訂正シタル費用額ヲ通告シタルトキニ限り之ヲ追徵スルコトヲ得

第四百五十七條 執達吏ニ對スル獨逸手數料規則ハ獨逸訴訟法ノ規定ニ準シテ行ハルル土地整理官廳繫屬事件ノ送達ニ對シテモ之ヲ適用ス

第四百五十八條 執達吏ニ辨濟セラルル立替金ニハ必要ナル印紙代ヲモ含ム

第四百五十九條 執達吏ノ送達書類ニハ印紙ヲ要セス

### 第三章 職員ノ給與、鑑定人及證人ニ對スル報酬

第四百六十條 技術家(農務委員)ヨリ任命サレタル常任開拓局長ハ俸給及ヒ恩給權ヲ賦與セラレ判事補及參事官ヨリ任命セラレタル常任開拓局長ハ一定ノ月給ヲ受ク

常任開拓局長ノ定員及其ノ支給俸給額ハ國家豫算案ニ依リテ之ヲ定ム

未タ組織的ニ任命セラレサル農務委員即チ農務委員補ニシテ開拓局長ノ職ヲ執ラシメラルル者ハ臨時開拓局長同様其ノ執務期間四・五「マルク」乃至九「マルク」ノ日當ヲ受ク而シテ其ノ日當額ハ土地

一三九



開拓局總裁之ヲ定ム

此ノ開拓局長ノ勞務ハ一日ノ執務時間ヲ七時間ト假定シ費消時間數ニヨツテ計算スヘキモノトス  
前記ノ臨時開拓局長カ外勤及此レカ爲ノ旅行ヲ爲ストキハ之ニ要スル時間ヲ顧慮スルコトナク毎日  
一日分ノ日當額ヲ支給セラレ之レヲ超ユルコトナシ

第四百六十一條 開拓局長ハ事件促進ノ爲ニ書記及會計助手ヲ宣誓セシメタル上採用シ且ツ使用スル  
コトヲ得書記及會計助手ノ勞務ニ對シテハ未タ組織的ニ任命セラレサル臨時開拓局長ト同様ノ方法  
ニ依リ七時間ノ執務ニ對シテ五「マルク」乃至六「マルク」ノ日當ヲ給ス但シ詳細ニ關シテハ土地開拓  
官廳ニ於テ別ニ規程ヲ設ク

第四百六十二條 出張旅費ノ給與ニ關シテハ一九一〇年七月二十六日ノ官吏ノ旅費ニ關スル法律ノ規  
定(法令全書一五〇頁)ヲ準用ス

第四百六十三條 (原書ニ缺ク)

第四百六十四條 代書料、使丁使用料、小包運送人手當、郵便費、包裝費其ノ他其ノ事件ノ爲ニ費消  
サレタル立替金ハ特別ノ計算方法ニ基キ開拓局長ニ辨償セラル  
代書料ノ支辨ハ農林大臣ノ定ムル規定ニ依ル

使丁使用料、小包運送人手當及包裝費ニ對シテハ土地開拓局總裁ニ於テ特別ノ支辨率ヲ定メ開拓局

長ヲシテ特ニ證明ヲ要スル實費額ノ算定ノ代リニ此ノ率ニヨツテ計算セシムルコトヲ得

第四百六十五條 國家官吏及市町村吏員カ開拓局長ノ職務ヲ執ルトキハ公務代理執行ニ關スル規則ニ

依リ單ニ外務勤務ニ對シテノミ日當及旅費ヲ支給セラル

國家及町村ノ雇員及事務員ニ開拓局長ノ職務ヲ委任スルトキハ土地開拓局總裁ハ他ノ臨時開拓局長  
ニ適用スル原則ニ準シ其ノ居住地ニ於ケル執務ニ對シテモ日當ヲ給スルコトヲ得但シ外勤ニ對シテ  
ハ臨時開拓局長ト同様旅費及旅行手當ノミヲ給與セラル

第四百六十六條 官吏ニモアラヌ又其ノ行爲ニ對シテ特別ノ報酬ヲ定メラレタル技術家ニモアラサル  
鑑定人ハ第四六〇條及ヒ第四六二條ニ依リ未タ組織的ニ任命セラレサル開拓局長及臨時的開拓局長  
ト同様日當、旅行手當及ヒ旅費ヲ支給セラル

但シ其ノ居住地ニ於テ期日ニ出頭スルトキハ平生一日分ノ日當ヲ受ク

官吏トシテ其ノ事件ニ關與スヘキ義務ヲ有スル鑑定人ハ一般的ニ定メラレタル報酬ヲ支給セラル  
宣誓濟ノ書記ノ職ヲ兼ネサル通譯及證人ニ對スル給與ニ付テハ民事訴訟法ニ定ムル規定ヲ準用ス

第四百六十七條 土地開拓官廳ニ使用セラルル土地測量者ハ現行ノ特別規定特ニ土地測量條例ニ據リ  
報酬ヲ受ク土地開拓官廳ニ專屬シテ常務ニ服スル測量官吏ニ對シテハ農林大臣ニ於テ大藏大臣ノ同  
意ヲ得テ前記ノ條例外ノ報酬額ヲ定ムルコトヲ得



附錄

普魯西ニ於ケル土地開拓官廳ニ關スル法律



附 錄

普魯西ニ於ケル土地開拓官廳ニ關スル法律

法令全書一〇九頁

一九一九年六月三日發布

普魯西憲法制定會議ハ下記ノ法律ヲ制定シ茲ニ之ヲ公布ス

第一章 官廳及其ノ權限

第一條

- (一) 特別委員會及ヒ總括委員會ハ本法施行ノトキヨリ開拓局及ヒ土地開拓局ノ名稱ヲ用フ
- (二) 特別委員會及ヒ總括委員會ノ事務ハ本法ノ細則ニヨリ開拓局長及ヒ土地開拓局總裁ニ於テ獨立ノ土地整理官廳トシテ全責任ヲ以テ裁決ス但シ左記ノモノハ此ノ限ニ在ラス
  - (1) 法律ニ依リ委員會ノ審理若ハ個人ノ決議的關與ヲ規定スル事件
  - (2) 仲裁々判所(第四項)及普通裁判所(第五項)ニ移スヘキ事件
- (三) 土地開拓局總裁ニハ其ノ指示ニ基キテ事件ニ關與スル上席參事官及ヒ顧問竝ニ助手ヲ附ス而シテ上席參事官ハ土地開拓局總裁ヲ代理ス農林大臣ハ特別ノ場合ニ於テハ別ノ代理者ヲ任命スルコトヲ得



- (四) 紛議アルトキハ本法ノ細則ニ依リ第一審ニ於テ開拓局長第二三條ノ場合ノ當事者ノ關與セル紛議ニアリテハ第二審ニ於テ仲裁々判所(第三條)第三審ニ於テ高等土地開拓局之ヲ裁決ス
- (五) 土地整理手續以外ニ他ノ訴訟物件タリ得ル如キ法律關係ニシテ當然普通裁判所ニ繫屬スヘキ紛争ノ裁決ニツキテ從來土地整理官廳ノ有セシ權限ハ之ヲ廢棄ス
- (六) 郡調停官廳ハ之ヲ廢ス

第二條

- (一) 高等土地開拓裁判所ハ爾今高等土地開拓局ト稱シ農林大臣ニ從屬セシム其ノ所在地ヲ伯林トシ局長一名ト五名以上ノ構成員ヲ以テ組織シ何レモ農事鑑定人ノ資格ヲ有スルヲ要シ其ノ過半数ハ判事タル資格ヲ有セサル可カラス是等ノ構成員ハ一八五一年五月七日發布ノ判事ノ服務違反罪及強制的轉任竝ニ休職ニ關スル法律(法令全書二一八頁)及一八五六年三月二十六日發布ノ判事其ノ他ノ服務違反罪ニ關スル法律ノ改正法(法令全書二〇一頁)ノ適用ヲ受ク高等土地開拓局ノ組織竝ニ指揮ニ對スル司法大臣ノ關與ハ之ヲ廢ス
- (二) 農林大臣ハ臨時ニ必要ナル場合ニハ高等土地開拓局ニ其ノ構成員タル資格ヲ有スル助手ヲ置クコトヲ得助手ハ就任中ハ常任構成員ト同一ノ權限竝ニ義務ヲ有スレトモ多數決ニヨル裁決ニ加ハルコトヲ得ス又懲戒事件ノ裁決ニ參與スルヲ得ス

- (三) 高等土地開拓局ハ局長及五名以上ノ構成員ノ立會ノ上裁決ヲ爲スモノニシテ其ノ裁決ハ多數決ニ依リ決ス可否同數ナルトキハ局長之ヲ決ス

第三條

- (一) (土地開拓官廳法第一四條ノ第一項ニ同シ)
- (二) (土地開拓官廳法第一四條ノ第二項ニ同シ)

第四條

(土地開拓官廳法第一五條ニ同シ)  
但シ括弧内ノ(第一四條第一項)ハ(第三條第一項)トナル

第五條

- (一) (土地開拓官廳法第一六條第一項ニ同シ)
- (二) (土地開拓官廳法第一六條第二項ニ同シ)

第六條

(一) 裁判構成員及ヒ其ノ代理人ハ仲裁々判所ノ裁判長ニヨリ宣誓セシメラル是等ノ職員ハ其ノ性質上一八五一年五月七日發布ノ判事等ノ服務違反罪ニ關スル法律(法令全書二一八頁)及ヒ一八五六年三月二十六日發布ノ判事等ノ服務違反罪ニ關スル法律上ノ改正法(法令全書二〇一頁)ノ規定ニ



服スヘシ

(二) 懲戒裁判所ハ高等土地開拓局ニシテ此總裁ハ檢事ノ代表者ヲ任命ス  
第七條

(一) 裁判構成員及ヒ其ノ代理人ハ四等官吏ニ適用スヘキ現行規則ニ依リ日當及旅費ヲ支給セラレ  
(二) 仲裁々判所ノ收入ハ總テ國庫ニ繰入レ其ノ支出ハ國庫ノ負擔トス

第八條

農林大臣ハ地域ヲ定メテ開拓局ヲ設置シ其ノ所在地ヲ指定シ其ノ局長ヲ任命ス

第九條

開拓局長ハ本法ニ依リ他ノ官廳ニ委託セサル限り一切ノ事件ヲ掌理シ此等ノ事件ニ關スル申請ハ一  
切開拓局長ニ對シテ爲スヘキモノトス

第十條

(一) 土地開拓局總裁ハ單純ナル事件若ハ其ノ一部ノ掌理ヲ他ノ國家官吏若ハ市町村吏ニ其ノ上司ノ  
同意ヲ得テ委託スルコトヲ得右ノ官吏ハ受託事件ノ掌理ニ當リテハ開拓局長ト同一ナル權限及ヒ  
義務ヲ有ス

(二) (土地開拓官廳法第六條ニ同シ)

第十一條

(一) (土地開拓官廳法第七條第一項ニ同シ)

(二) (土地開拓官廳法第七條第二項ニ同シ)

(三) (土地開拓官廳法第七條第三項ニ同シ)

第十二條 (土地開拓官廳法第八條ニ同シ)

但シ「第二一三條乃至第二一五條、第三九三條第一項ノ場合」ハ「第二〇條乃至第二三條」トナル

第十三條

(一) (土地開拓官廳法第二六條第一項ニ同シ但シ「第五條」トアルハ「第一〇條」トナル)

(二) (土地開拓官廳法第二六條第二項ニ同シ)

(三) (土地開拓官廳法第二六條第三項ニ同シ)

(四) (土地開拓官廳法第二六條第四項ニ同シ)

但シ末尾ノ「ニ屬スル」ヲ「ト認ムル」トナス

第十四條

(一) 開拓局長ニハ國家警察並ニ地方警察ニ關スル權限ナシ

(二) 土地整理ニ關係シタル社團及公法營造物ノ財産ニ關スル土地整理官廳ノ從來ノ上級監督權ハ之



ヲ廢棄ス

第十五條 (土地開拓官廳第一三條ニ同シ)

第十六條 (一) (土地開拓官廳第一二條第一項ニ同シ)

第一

(イ)(ロ)(ハ)

第二

一〇九八七六五四三二一

(土地開拓官廳法第一二條第一項ノ右以下ノ全文ニ同シ)

(二) (土地開拓官廳法第一二條第二項(即チ同案ノ末尾ノ項)ニ同シ)

第二章 訴訟手續

第十七條

(一) 本法ニ別段ノ規定ナキ限り開拓局長ノ訴訟手續ニ付テハ土地整理法ヲ仲裁々判所及高等土地開拓局ノ訴訟手續ニ付テハ土地管理法並ニ一般的土地管理事件ノ處理ニ關シテ公布セラレタル其ノ他ノ法律上ノ規定ヲ準用ス尙是等ノ法律ニヨリ事件ノ經過及訴訟手續ヲ規定セラレサルモノアルトキハ農林大臣之ヲ決定ス

(二) 開拓局長カ排除セラレ正當ナル事由ニヨリテ忌避セラレ若ハ一時的故障ヲ生シタルトキハ土地開拓局總裁ハ其ノ代理者ヲ任命ス

第十八條 開拓局長ノ受訴訴訟手續ニ於テ書記カ審理ニ立會タルトキハ第一〇條第二項ノ場合ヲ除キ調書ニ當事者ノ署名ヲ要セス

第十九條

(一) 訴訟代理人及其ノ代表者中ヨリ大中小ノ關係土地所有者ノ各一人以上ノ者ヲ指定シ此等ノ訴訟代理人ト共ニ開拓局長ハ重要ナル共同事件特ニ評價等級並ニ評價々額ノ決定、道路網及渠溝網ノ設計並ニ土地整理案作製ノ基礎トナルヘキ原則ヲ討議スルヲ要ス



(二) 測量及土地開拓ニ從事スル測量官吏ハ此等ノ審理ニ立會評議ニ加ハラシメラル

第二十條 土地整理訴訟手續ニヨツテ生セシメラル共同事件ニ關スル一八八七年四月二日發布ノ法律第一條竝ニ第三條第二項、第四條第三項及第五條第二項(法令全書一〇五頁)ノ場合ニハ開拓局長ハ理由ヲ附シタル裁決ヲ言渡ササルヘカラス尙第二一條第一項第二號ヲ準用ス開拓局長ノ裁決ニ對シテ異議アルトキハ二週間以内ニ之ヲ仲裁々判所ニ抗告スヘシ

第二十一條

- (一) (土地開拓官廳法第二一二條第一項ニ同シ)
- (二) (土地開拓官廳法第二一二條第二項ニ同シ)

第二十二條

- (一) (「第二七條第二號」ヲ「第一條第五項」ト改メ「第二一三條第一項第二號」ヲ「第二一條第一項第二號」ト改ムル外全文土地開拓官廳法ノ第二一四條第一項ニ同シ)
- (二) (土地開拓官廳法第二一四條第二項ニ同シ)

第二十三條

- (一) 換地訴訟ニ於テ地形ニ關シ又ハ從來ノ規定ニ依リ仲裁々判手續ニ附サレタリシカ如キ事件ニ關シ又ハ共同施設ノ整理ノ際ニ生スル紛争ニ就テハ開拓局長ハ當事者ヨリ選任シタル共同訴訟代理

人(第一九條第一項)ヲ立會ハシメテ裁決ス此ノ場合有效ナル裁決ヲ下スニハ開拓局長ト共ニ少クトモ三名ノ構成員ノ出席アルコトヲ要ス可同數ナルトキハ開拓局長之ヲ決ス尙此ノ場合ニハ第二一條第二號ヲ準用ス

- (二) (土地開拓官廳法第二一五條第二項ニ同シ)
- (三) (土地開拓官廳法第二一五條第三項ニ同シ但シ「第一八一條第二項」ヲ「第一九條第二項」ト改ム)
- (四) (土地開拓官廳法第二一五條第四項ニ同シ)

第二十四條

- (一) 前數條ノ裁決ニ(第二一條乃至第二三條)ニ對シテ異議アルトキハ二週間以内ニ仲裁々判所ニ抗告スヘシ第二三條第一項ノ場合ニハ開拓局長モ亦其ノ權利ヲ有ス仲裁々判所ハ若シ當事者ノ請求アルトキハ其ノ裁決前ニ口頭審理ヲ行ハサルヘカラス
- (二) 仲裁々判所ノ裁判長及其ノ構成員ノ除斥及忌避ニ付テハ土地管理法第六一條及第六二條ノ規定ヲ準用ス

(三) 第二二條ノ場合ニハ仲裁々判所ノ裁決ヲ最終審トナス

(四) 高等土地開拓局ハ土地管理法第一二六條ノ場合ニ於テハ高等行政裁判所ニ代ルモノトス

第二十五條 仲裁々判所ノ裁決若シ最終審ナラサルトキハ之ニ對シテ二週間以内ニ高等土地開拓局ニ



再抗告ヲ爲スコトヲ得

第二十六條 裁判所構成法第一七九條、第一八〇條及一八八〇年二月十八日(法令全書五九頁)並ニ一八九九年九月二十二日(法令全書二八四頁)發布ノ土地整理事件ノ訴訟手續ニ關スル法律第一〇一條ニ依リ開拓局長ノ裁決シタル罰金刑ニ對スル抗告ニ付キテハ仲裁々判所之カ最終裁決ヲ爲ス

第二十七條 開拓局長ノ決定シタル假處分(一八三四年六月三十日發布(法令全書九六頁)ノ共有地分割事件其ノ他ノ訴訟規則第三六條及一八四四年十一月二十二日發布(法令全書一九頁)ノ土地整理官廳ノ訴訟手續並ニ審級順序ニ關スル規則第五條)ニ對シテハ二週間以内ニ仲裁々判所ニ抗告スルコトヲ得仲裁々判所ノ裁決ハ之ヲ最終審トス

第二十八條 土地開拓官廳ヨリ言渡サレタル命令及裁決ノ實施ニ當リテハ一般土地管理官廳ニ適用サルル現金納付ニ關スル規定並ニ行爲若ハ不行爲ノ強制ニ關スル規定ヲ準用ス前項ノ場合ニ於テ開拓局長ハ郡長ト同様ノ權能ヲ有ス土地整理訴訟手續ニ於テ締結セラレタル協約ノ實施ノ際ニモ亦同シ

### 第三章 費用

#### 第二十九條

- (一) 土地整理事件ニ對シテ別ニ訴訟費用規則ヲ制定スルマテ左ノ規定ヲ適用ス
- (二) 抗告及再抗告ノ裁決ニ對シテハ訴訟費用ヲ徵收セス又當事者ハ自己ノ立替金ニ對シテ賠償ヲ求

ムルコトヲ得ス

- (三) 但シ申請ニ因リ又ハ不當ナル抗告ノタメ生シタル訴訟手續上ノ立替金ハ申請ヲ爲シ又ハ抗告ヲ提起シタル者ニ負擔セシムルコトヲ得

- (四) 一八七五年六月二十四日ノ土地整理事件ノ訴訟費用ニ關スル法律(法令全書三九五頁)ノ規定ハ之ヲ存置ス

但シ開拓局長ニ於テ其ノ費用ヲ指示シ及徵收スルモノトス

### 第四章 特殊ノ地域ニ對スル規定

#### 第三十條

- (一) 一九〇四年八月四日ノ「ウイースバーデン」縣ニ於ケル整理等ノ訴訟手續ニ關スル規定ノ改正法(法令全書一九一頁)ノ適用地域ニ於テハ仲裁々判所ハ先ツ左ノモノニ裁決ヲ行フ

- 一 一九〇四年八月四日ノ法律第六條ニ依ル執行宣言ニ付開拓局長ノ爲シタル判決ニ對スル抗告
- 二 一九〇四年八月四日ノ法律第一二條ニ依ル實施ニ對スル抗告

- (二) 前項ノ場合ニ於テ仲裁々判所ノ判決ハ之ヲ最終審トス

第三十一條 一八四二年六月三十日ノ共有地分割及耕地整理事件ノ訴訟手續ニ關スル「ハンノーヴァ」法ノ適用地域ニ於テハ仲裁々判所ハ次ノ如キ權能ヲ有ス



- (一) 一八四二年六月三十日ノ「ハンノーヴァー」州訴訟手續法第六五條ニ依ル訴訟手續ノ適否ニ關スル裁決、此ノ裁決ニ對シテ異議アルトキハ當事者ハ裁決ノ送達アリテヨリ四週間以内ニ農林大臣ニ抗告スルコトヲ得
- (二) 一八三三年七月二十三日ノ「ハンノーヴァー」州賠償規則第三一五條乃至第三一七條ニ依リ賠償委員會ノ決定的指令ニ對スル抗告ノ裁決、此ノ裁決ニ對スル再抗告ハ高等土地開拓局ニ於テ裁決ス

第五章 附則及經過規定

第三十二條

- (一) 總務委員會ノ委員長及委員ニ適用シタル一八五一年五月七日ノ裁判官等ノ服務違反罪ニ關スル法律(法令全書二一八頁)ノ規定ハ之ヲ廢棄ス
- (二) 本法實施ノトキニ於テ滿六十歳ニ達セル總務委員會及高等土地開拓裁判所ノ首長及構成員ハ引續キ服務スル能力ナシトノ證明ヲ要セスシテ一時的休職ヲ爲スコトヲ得休職後五年間ハ在職中ノ俸給額及住宅料ヲ支給セラル比ノ場合俸給ノ減額スルコトナシ
- (三) 前項ニ掲クル一時休職後五箇年ヲ經過スルトキハ退職セシメ前項ノ休職給ノ四分ノ三ニ該當スル恩給ヲ支給ス

- (四) 第二項ノ官吏ノ遺族ニ對スル寡婦及孤兒扶助料トシテハ本人ノ恩給料ノ四分ノ三額ヲ支給ス
- (五) 兼職ノ機會ヲ失ヒタルモノ若ハ執務費トシテ特ニ支給ヲ受ケタリシモノカ之ヲ要セサルニ至ルト共ニ自然其ノ支給ヲ斷タレタルモノハ之ヲ收入ノ減額ト看做サス

第三十三條

- (一) 此法律ハ一九一九年十月一日ヨリ效力ヲ生ス但シ政府ハ其ノ全部若ハ一部ノ章程ヲ此期日前ニ於テ實施スルコトヲ得其ノ施行ハ所轄大臣之ヲ行フ
- (二) 此法律實施ノ際繫屬セル訴訟ハ舊規程ニヨリ解決ス此ノ場合ニハ仲裁々判所總務委員會ニ代ツテ之ヲ處理ス



(四) (註)

此二段ノ中ノ第一ノ段ニ於テハ...

...

...

(一)

...

(二)

...

...



